

下野市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査  
結果報告書

平成31年3月  
下野市



## 目次

はじめに.....	1
1 調査実施の概要.....	3
2 報告書を見るにあたっての注意点.....	4
第1章 就学前児童調査結果.....	5
1 お子さんご家族の状況について.....	7
2 子どもの育ちをめぐる環境について.....	11
3 お子さんの保護者の就労状況について.....	15
4 お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について.....	21
5 保育園探しについて.....	33
6 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	35
7 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	40
8 お子さんの病気の際の対応について.....	46
9 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	49
10 小学校入学後の過ごし方について.....	57
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	64
12 子育て全般について.....	66
第2章 小学生児童調査結果.....	71
1 お子さんご家族の状況について.....	73
2 お子さんの保護者の就労状況について.....	76
3 お子さんの放課後の過ごし方について.....	82
4 子育て全般について.....	92
第3章 自由回答.....	97
第4章 調査結果のとりまとめ.....	101
第5章 使用した調査票.....	113
1 就学前児童調査.....	115
2 小学生児童調査.....	125



はじめに



## 1 調査実施の概要

### (1) 調査の目的

市町村においては、子ども・子育て支援法において国が示す基本指針に即して5年を一期とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を定める事とされており、その計画の中では、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びにそれに対応する提供体制の確保の内容及び実施時期について定める事とされています。

現在、本市においても平成27年度を始期とする下野市子ども・子育て支援事業計画（子育て応援 しもつけっ子プラン）を基に事業を実施していますが、この計画期間が平成31（2019）年度に終了する事から、新たに平成32（2020）年度を始期とした第2期下野市子ども・子育て支援事業計画の策定が必要となります。

本調査は、現在の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の利用状況と今後の利用希望等を把握し、子ども・子育てを取り巻く環境について課題の整理等を行いつつ、第2期計画の策定を行うために必要となる基礎資料を得る事を目的に実施しました。

### (2) 実施概要

#### ① 調査対象・方法等

就学前児童保護者	調査対象者	下野市内在住の就学前児童を持つ保護者
	調査件数	1,400件（住民基本台帳より無作為抽出）
	調査方法	往復郵送による配布回収・留置記入方式

小学生児童保護者	調査対象者	下野市内在住の小学生児童を持つ保護者
	調査件数	600件（市内各小学校の児童数に応じて、住民基本台帳より無作為抽出）
	調査方法	学校を通じて配布回収・留置記入方式

#### ② 調査概要

家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、育児休業の現状・利用意向など

#### ③ 調査期間

平成30年11月末発送・12月25日締切り

### (3) 回収結果

	配布件数	回収件数	回収率
就学前児童保護者	1,400件	940件	67.1%
小学生児童保護者	600件	553件	92.2%
総計	2,000件	1,493件	74.7%

## 2 報告書をみるにあたっての注意点

- 図表中の「n」は、その設問の有効回答者数を示しています。
- 図表中の「N」は、その設問の回答総数を示しています。
- 文中・図表中の「SA」は、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）です。
- 文中・図表中の「MA」は、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）です。
- 文中・図表中の「数量回答」は、日数や時間を数値記入で回答したものです。
- 構成比（％）の数値については小数2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100％に合致しない場合があります。また、複数回答は構成割合が対象者に対する割合となっているため、合計が100％になりません。（回答総数Nを母数とする場合の合計は100％です）
- 図表中「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または、回答の判別が困難なものです。
- 就学前児童の年齢・小学生の学年定義は、ニーズ調査において誕生日の年月を回答しているため、下表の年齢・学年区分により集計を行いました。

年齢表記	調査時年齢	回答生年月
0歳	0～1歳	平成29(2017)年4月以降
1歳	1～2歳	平成28(2016)年4月～平成29(2017)年3月
2歳	2～3歳	平成27(2015)年4月～平成28(2016)年3月
3歳	3～4歳	平成26(2014)年4月～平成27(2015)年3月
4歳	4～5歳	平成25(2013)年4月～平成26(2014)年3月
5歳	5～6歳	平成24(2012)年4月～平成25(2013)年3月

学年表記	調査時年齢	回答生年月
小学1年生	6～7歳	平成23(2011)年4月～平成24(2012)年3月
小学2年生	7～8歳	平成22(2010)年4月～平成23(2011)年3月
小学3年生	8～9歳	平成21(2009)年4月～平成22(2010)年3月
小学4年生	9～10歳	平成20(2008)年4月～平成21(2009)年3月
小学5年生	10～11歳	平成19(2007)年4月～平成20(2008)年3月
小学6年生	11～12歳	平成18(2006)年4月～平成19(2007)年3月

- 本文・図表中の「前回調査」とは、平成25年に実施した「下野市子育て支援ニーズ調査」（配布数2,000件、回収率76.7％）のことを指します。
- 就学前児童保護者調査結果の回収件数は940件で、有効件数は928件となります。
- 小学生児童保護者調査結果の回収件数は553件で、有効件数は550件となります。



## 第 1 章

# 就学前児童調査結果

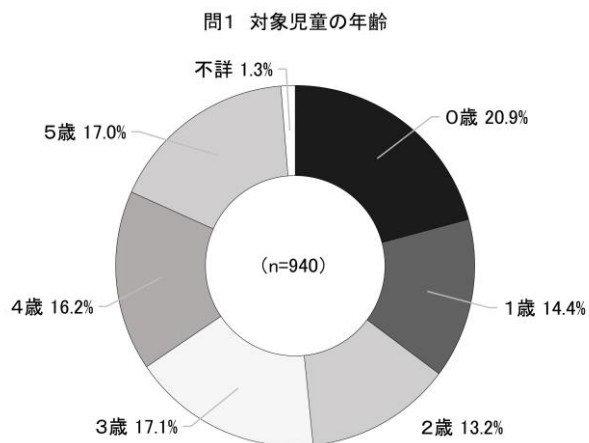


## 1 お子さんとご家族の状況について

### 問1 お子さんの生年月をご記入ください。(数量回答)

年齢は「0歳」(20.9%)の割合が最も多く、次いで「3歳」(17.1%)、「5歳」(17.0%)となっています。また、「2歳」(13.2%)が最も少ない割合となっています。

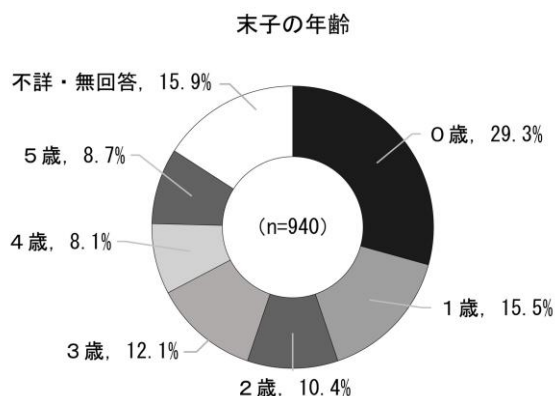
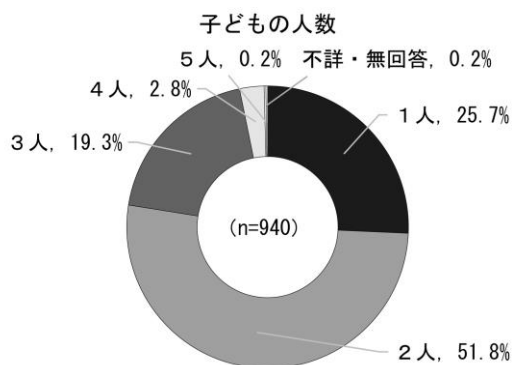
【年齢(基準日:平成30年4月1日)】



### 問1-1 宛名のお子さんを含めて子どもは何人ですか。また、末子の方の生年月をご記入ください。(数量回答)

子どもの人数は「2人」(51.8%)が半数を占めており、「1人」(25.7%)、「3人」(19.3%)となっています。

末子の年齢は、「0歳」(29.3%)の割合が最も多くなっています。

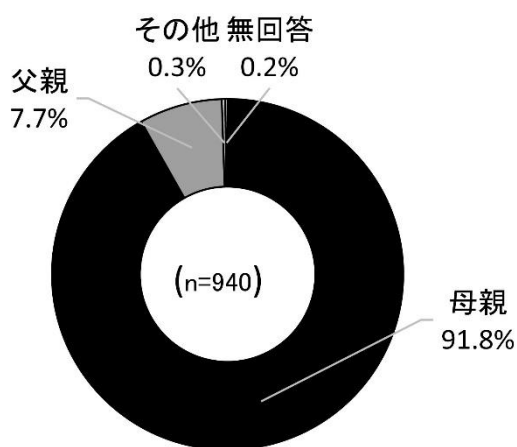


問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。  
(SA)

---

調査回答者は、「母親」(91.8%) となっています。

---

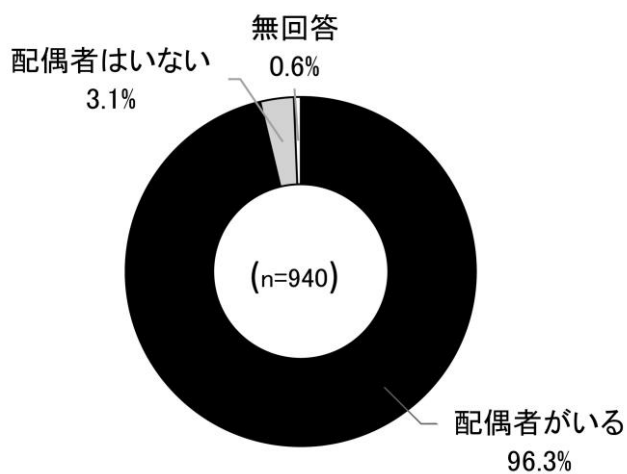


問3 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(SA)

---

「配偶者がいる」(96.3%) となっています。

---



問4 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（SA）

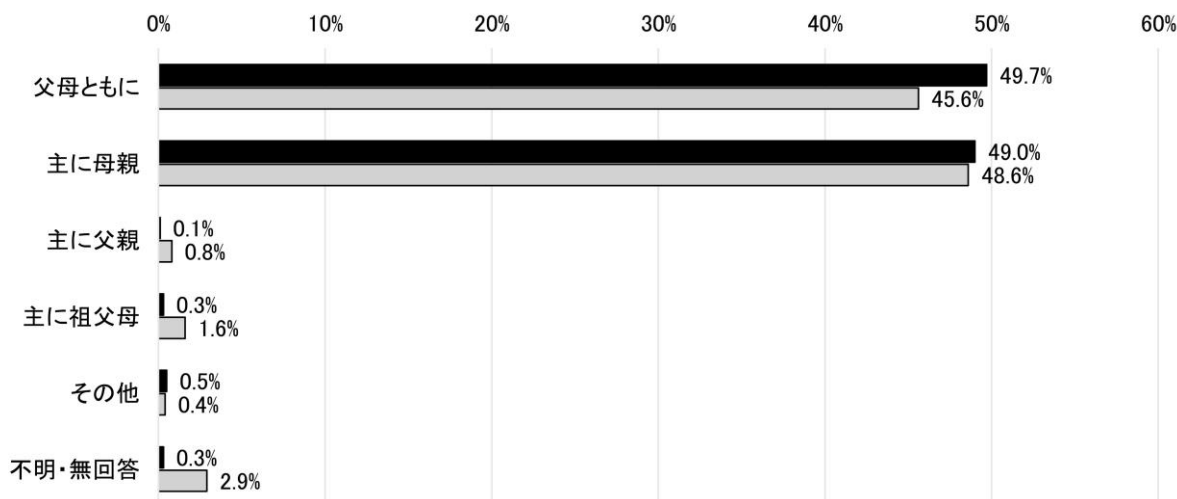
主に子育てを行っている方は、「父母ともに」（49.7%）と「主に母親」（49.0%）で大半を占めています。

前回調査と比較して、回答の傾向に変化はありません。

児童の年齢別では、3歳児の保護者が「父母ともに」の割合がやや高く（60.2%）なっています。

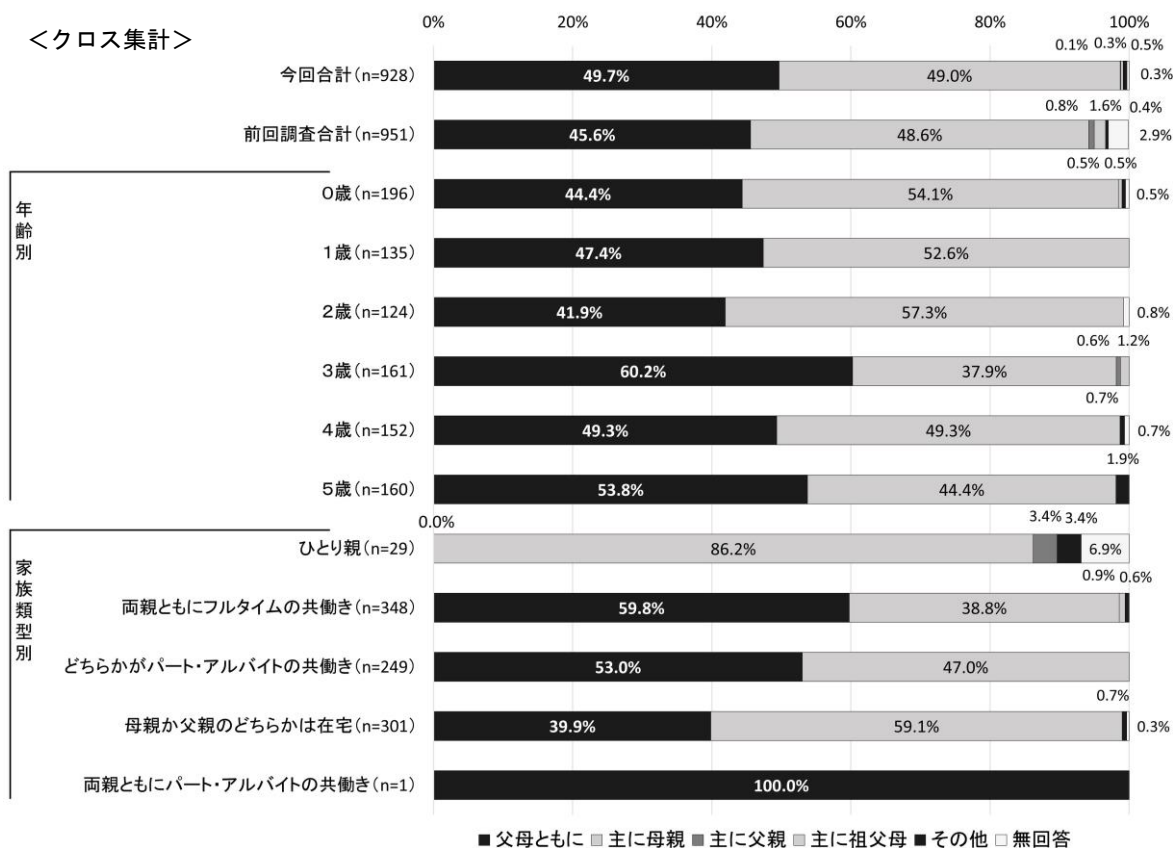
家族類型別では、両親ともにフルタイムの共働き家族が「父母ともに」の割合がやや高く（59.8%）なっています。

■ 主に子育てを行っている方（就学前児童保護者）



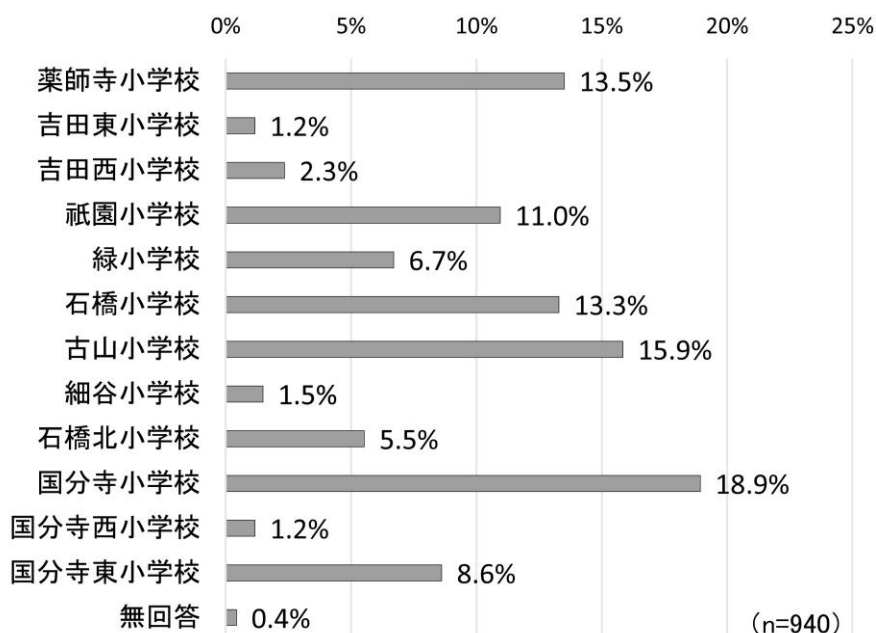
■ 今回 (n=928) □ 前回調査 (n=951)

<クロス集計>



問5 お住まいの小学校区はどちらですか。(SA)

居住している小学校区は、「国分寺小学校」(18.9%)が最も多く、次いで「古山小学校」(15.9%)、「薬師寺小学校」(13.5%)となっています。



学校名	通学区域
薬師寺小学校	下原、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、日生団地、成田、町田上、町田下、谷地賀上、谷地賀下（箕輪地区を除く）、下文狭、東田中、西田中、地久目喜、仁良川上、仁良川下の各自治会区域
吉田東小学校	本吉田北、本吉田南、塚越、磯部、川島、上吉田、三王山、鯉沼、谷地賀下（箕輪地区に限る）の各自治会区域
吉田西小学校	絹板、絹板台、台坪山、的場、上坪山、東根、西坪山の各自治会区域
祇園小学校	祇園町、西区、自治医大職員住宅の各自治会区域、祇園一丁目から祇園五丁目までの区域、医大前一丁目から医大前四丁目までの区域
緑小学校	緑一丁目から緑六丁目、烏ヶ森一丁目、二丁目、小金井上町（JR宇都宮線東側）
石橋小学校	石橋上町、寿町、石町、旭町、本町、栄町、上大領、中大領、東前原、下大領、入の谷、下石橋、富士見町、ゲンゼ、ビレッジハウスの各自治会区域
古山小学校	下古山、通古山、下長田、石橋上町、第2雇用団地の各自治会区域
細谷小学校	上台、細谷、橋本の各自治会区域
石橋北小学校	上古山、上原、若林の各自治会区域
国分寺小学校	駅前、仲町、小金井上町（JR宇都宮線西側）、関根井、小金井北、笹原、箕輪、川東、泉町、鈴苅町、川北、川南、下町の各自治会区域
国分寺西小学校	川西、南国分、国分1、国分2、国分3、紫の各自治会区域
国分寺東小学校	柴南1、柴南2、柴南3、柴南4、柴南5、柴南6、あづま町、旭ヶ丘、日出町、柴北1、柴北2、柴北3、柴北4、丸野町、駅東の各自治会区域

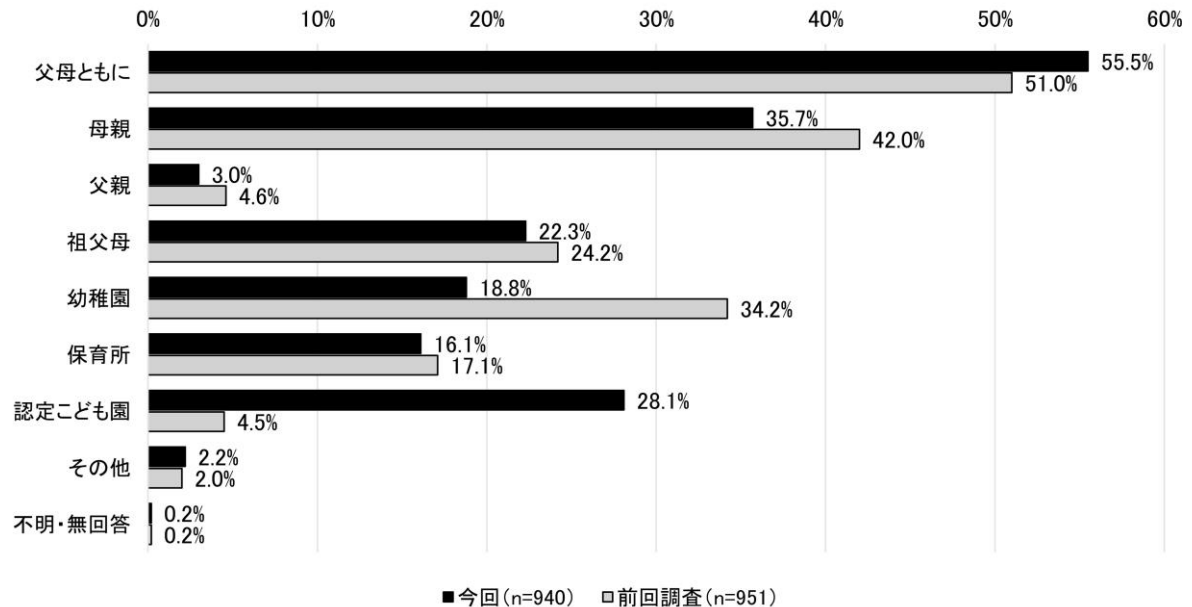
## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### 問6 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。(MA)

日常的に子育てに関わっている方(施設含む)は、「父母ともに」(55.5%)が最も多く、次いで「母親」(35.7%)、「認定こども園」(28.1%)、「祖父母」(22.3%)となっています。

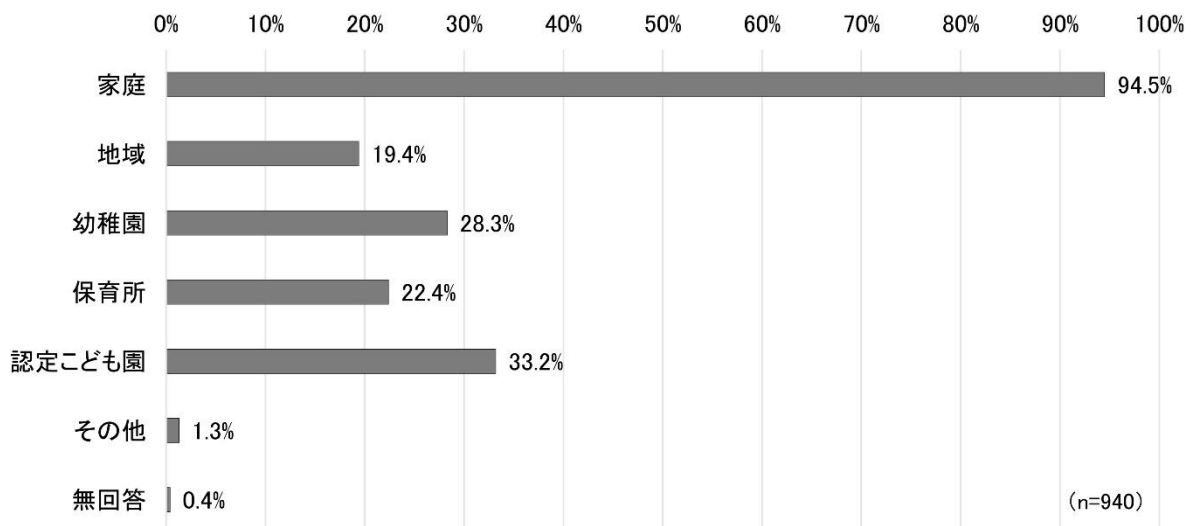
前回調査に比べ、幼稚園が15.4ポイント減り、認定こども園が23.6ポイント増えています。

#### ■ 日常的に子育てに関わっている方(施設含む・就学前児童保護者)



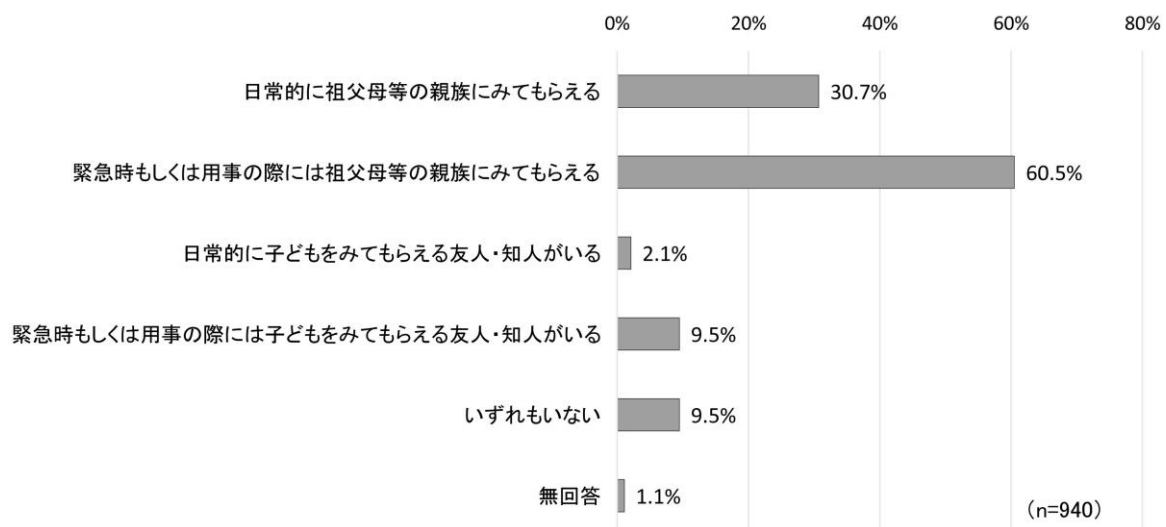
### 問7 お子さんの子育て(教育を含む)にもっとも影響すると思われる環境は何だと思いますか。(MA)

子育てに影響を与える環境は、「家庭」(94.5%)が最も多く、次いで「認定こども園」(33.2%)、「幼稚園」(28.3%)、「保育所」(22.4%)となっています。



問8 日ごろ、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(MA)

主な協力者の状況は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(60.5%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(30.7%)となっています。

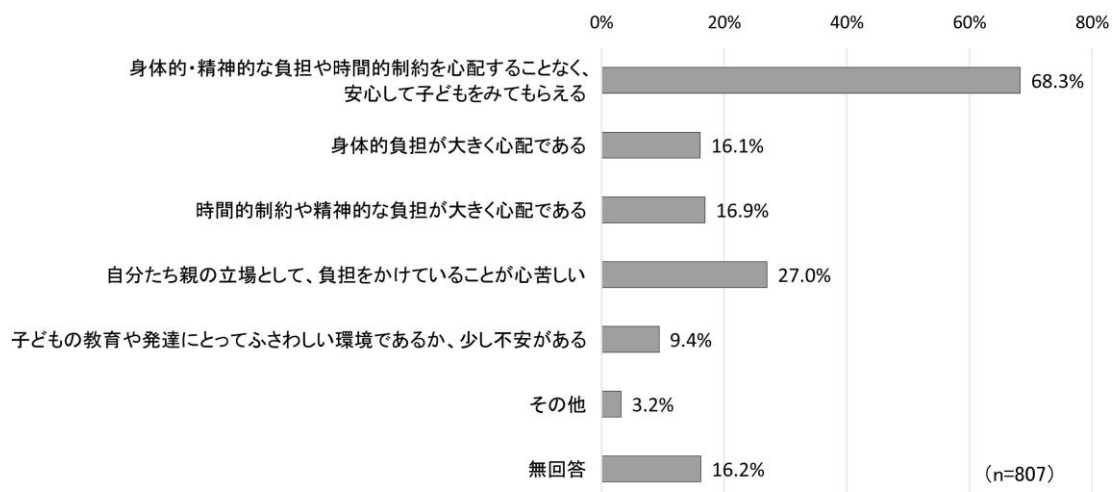




問 8-1 問 8 で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答された方に伺います。お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(MA)

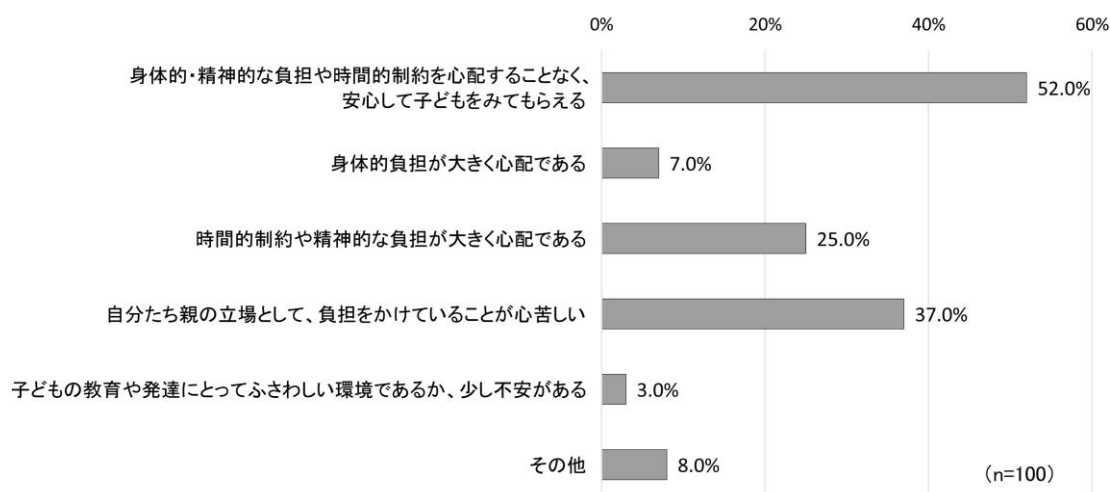
### ① 祖父母等の親族にみてもらえる方

祖父母等の親族に子どもをみってもらうことに対しては「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(68.3%)が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(27.0%)となっています。



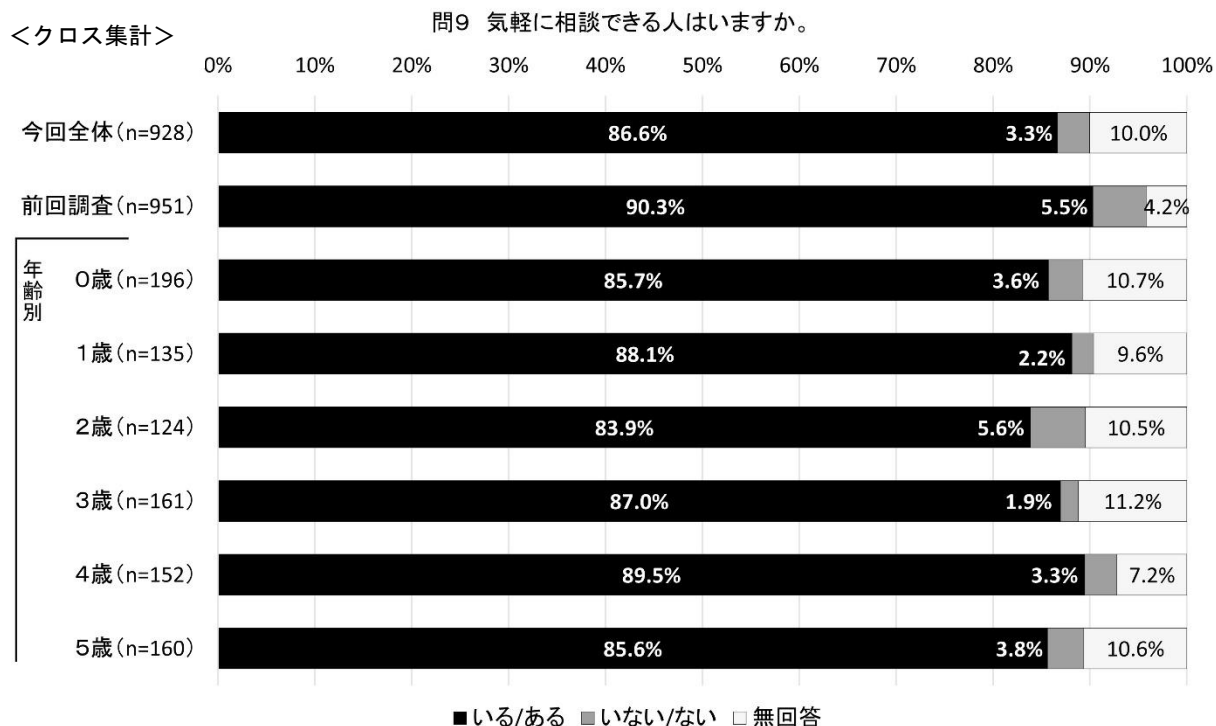
### ② 友人・知人にみてもらえる方

友人・知人に子どもをみってもらうことに対しては「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(52.0%)が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(37.0%)となっています。



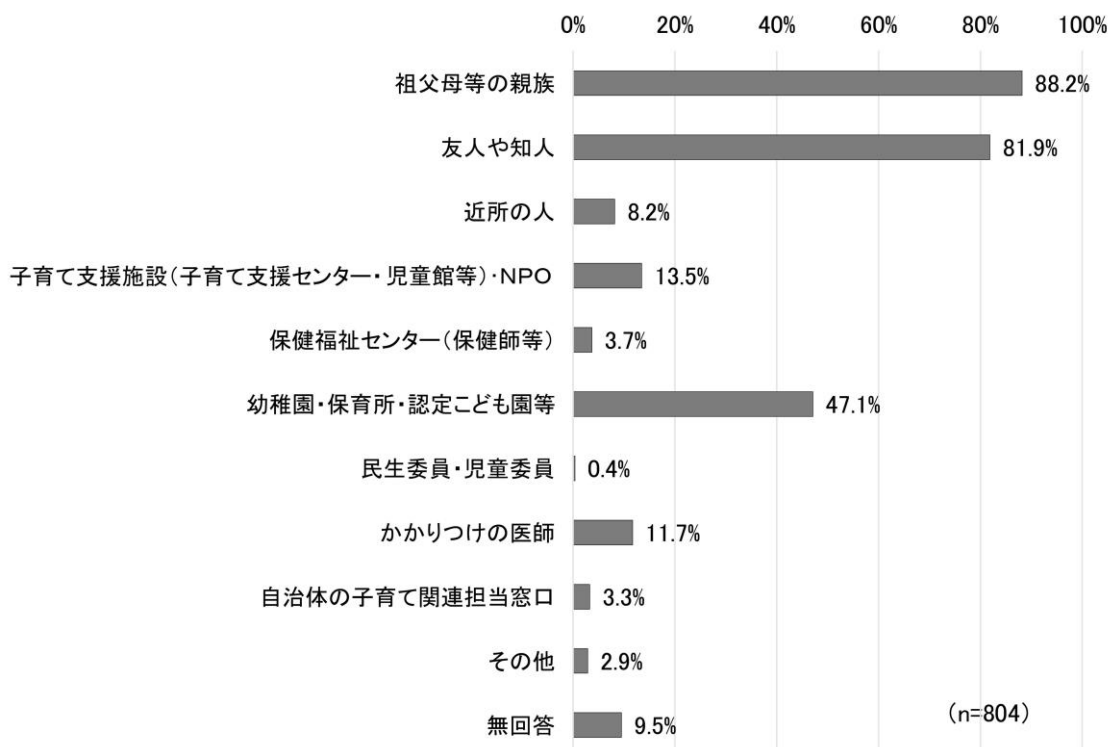
問 9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。(SA)

気軽に相談できる人の有無は、ほとんどの方が「いる/ある」(86.6%)と答えています。前回調査と回答の傾向に変化はありません。子どもの年齢別では、いずれの年齢でも「いる/ある」が8割以上を占めています。



問 9-1 問 9 で「いる/ある」と回答された方へ伺います。気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。(MA)

相談できる相手としては「祖父母等の親族」(88.2%)が最も多く、次いで「友人や知人」(81.9%)、「幼稚園・保育所・認定こども園等」(47.1%)となっています。



### 3 お子さんの保護者の就労状況について

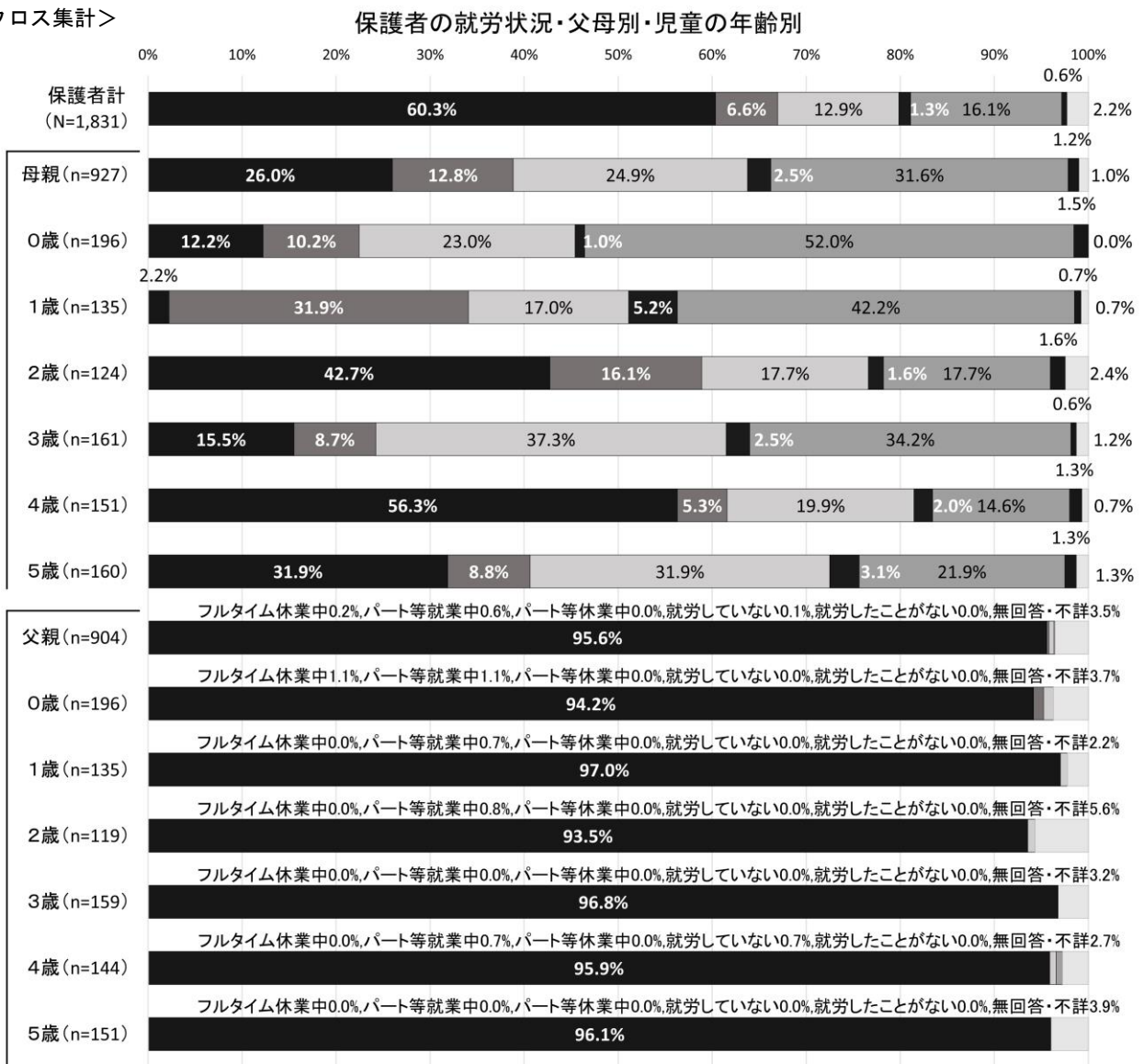
#### 問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）を伺います。（SA）

母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」（31.6%）が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（26.0%）、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（24.9%）となっています。

父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（95.6%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（0.6%）、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（0.2%）となっています。

「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は、1歳児の母親が最も多く、31.9%となっています。

<クロス集計>

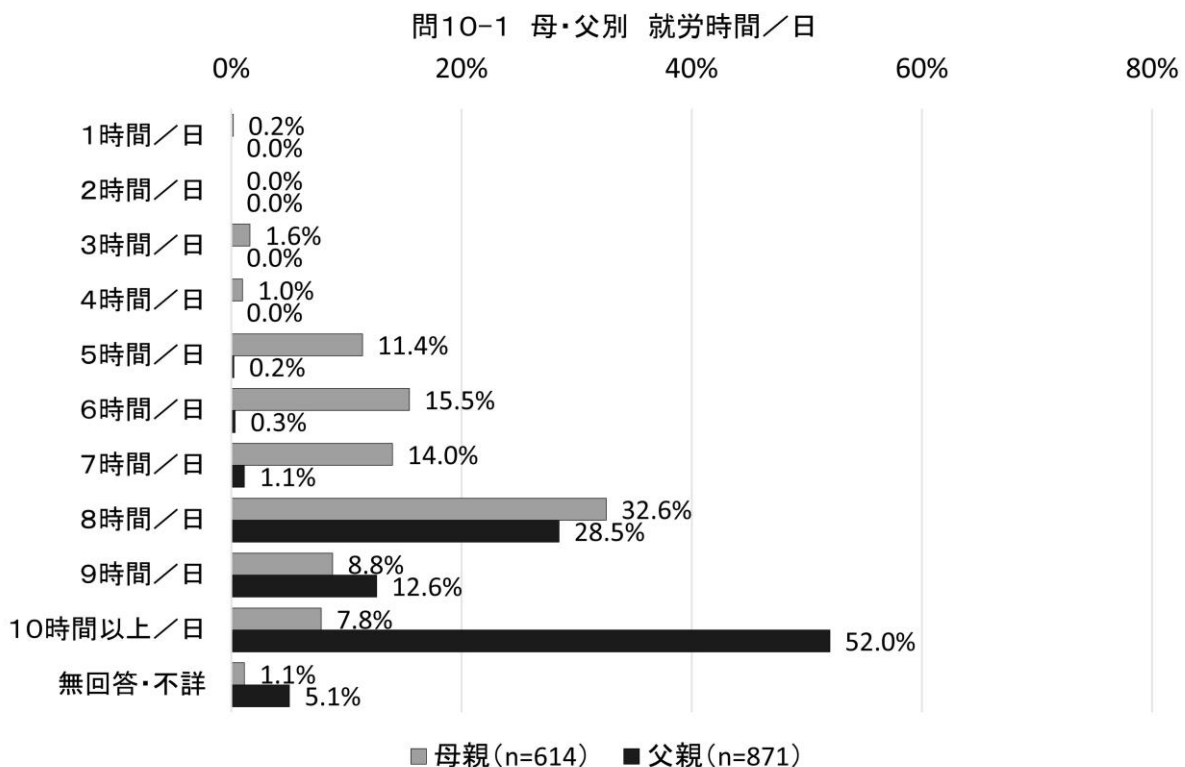
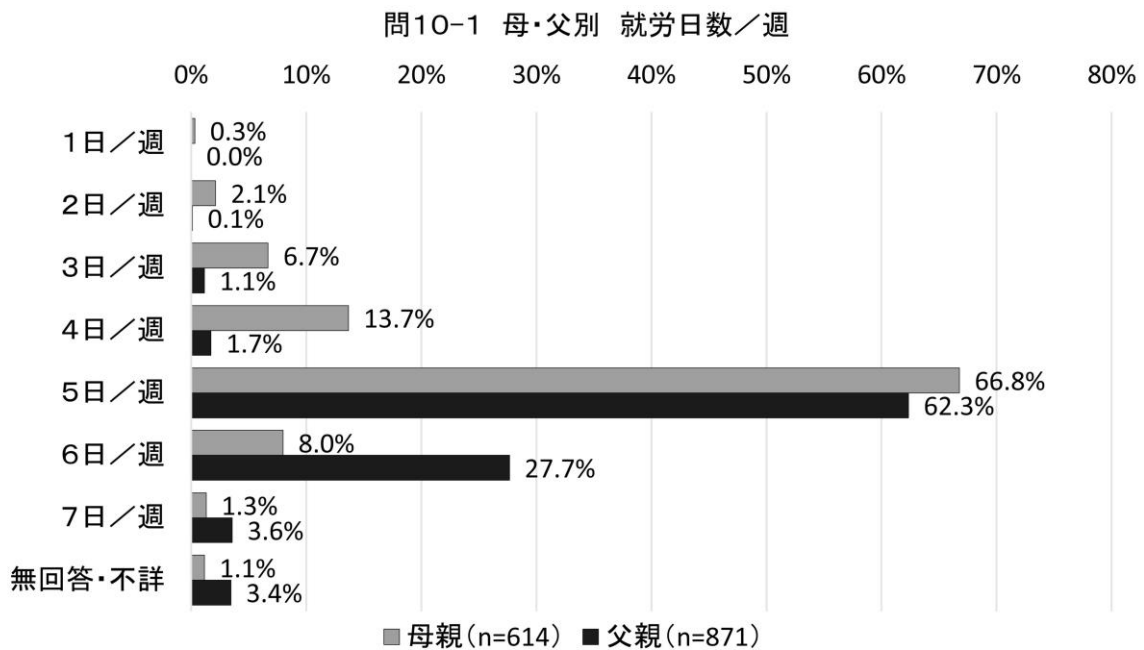


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答・不詳

問 10-1 問 10 で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を回答した方に伺います。週当たりの「就労日数」、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。（数量回答）

就労日数は、1週当たり5日が最も多く、母親は66.8%、父親は62.3%となっています。次いで、母親は1週当たり4日が13.7%、父親は1週当たり6日が27.7%となっています。

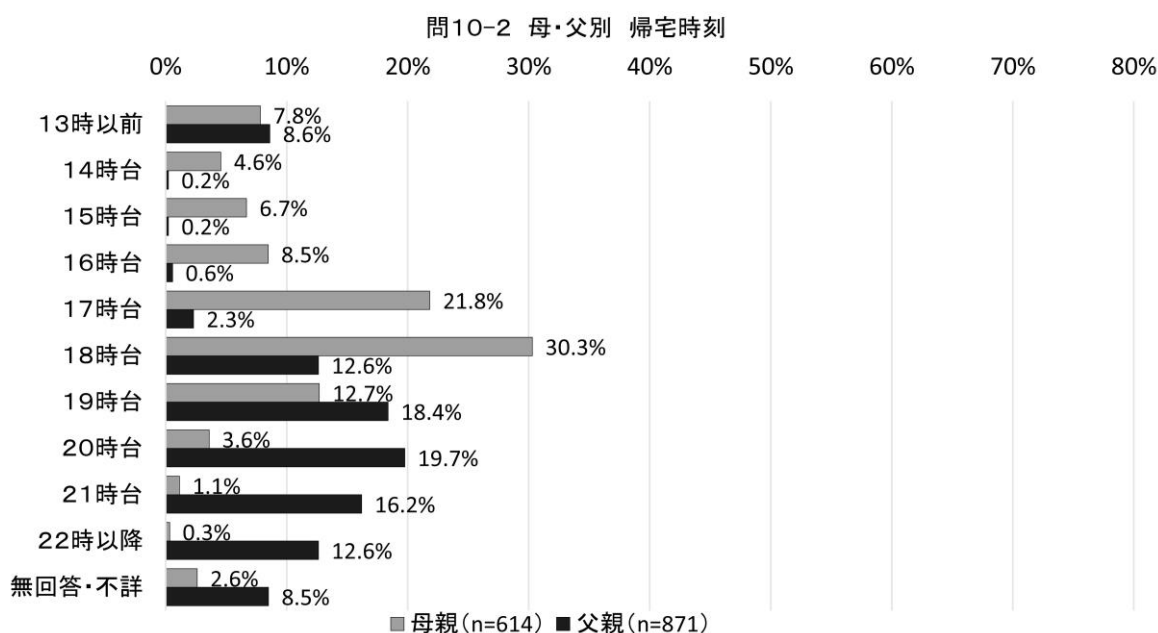
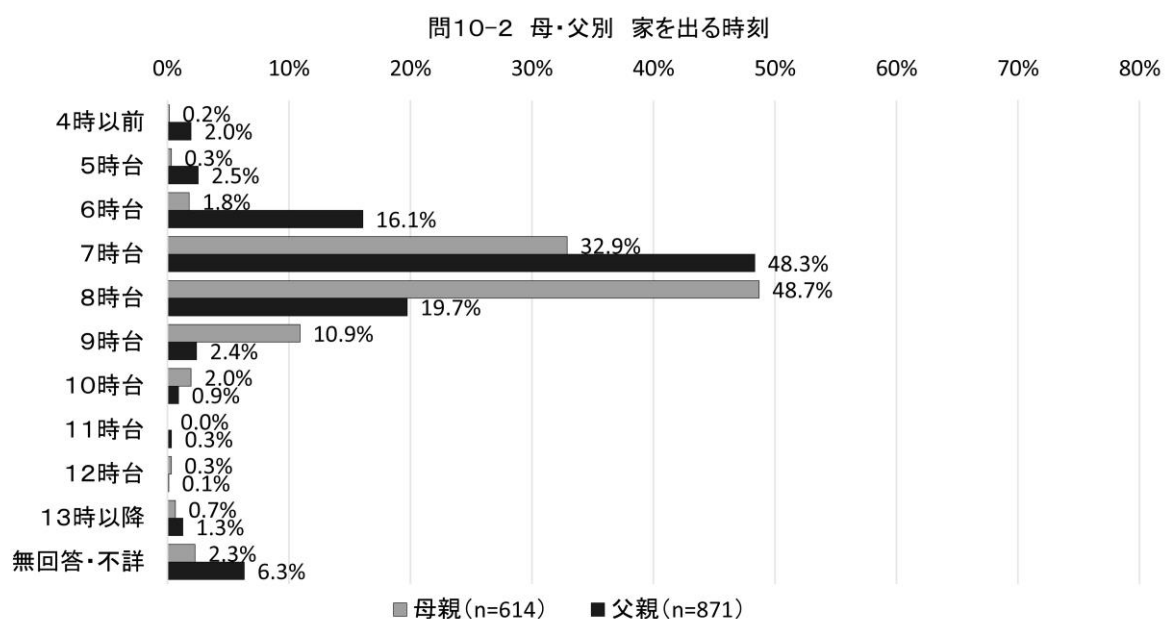
就労時間は、母親は1日当たり8時間が最も多く32.6%、父親は1日当たり10時間以上が最も多く52.0%となっています。次いで、母親は1日当たり6時間が15.5%、7時間が14.0%、父親は1日当たり8時間が28.5%、9時間が12.6%となっています。



問 10-2 問 10 で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を回答した方に伺います。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(数量回答)

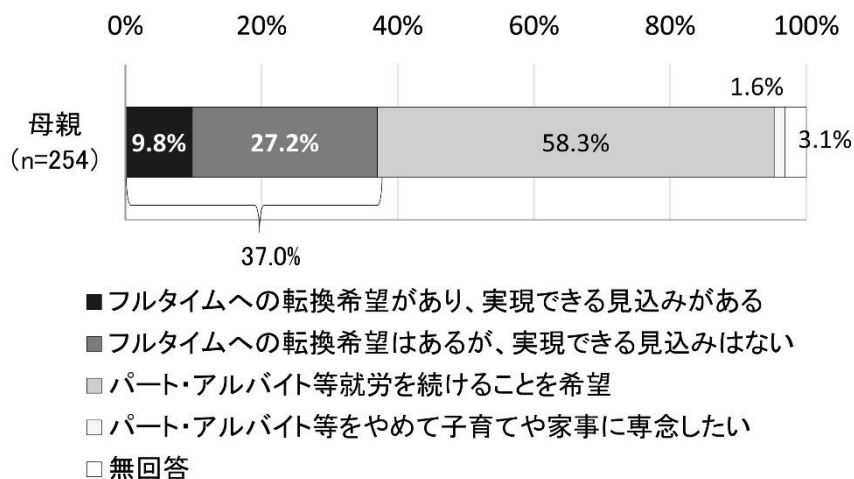
家を出る時刻は、母親は「8時台」(48.7%) が最も多く、次いで「7時台」(32.9%)、「9時台」(10.9%) となっています。父親は「7時台」(48.3%) が最も多く、次いで「8時台」(19.7%)、「6時台」(16.1%) となっています。

帰宅時刻は、母親は「18時台」(30.3%) が最も多く、次いで「17時台」(21.8%)、「19時台」(12.7%) となっています。父親は「20時台」(19.7%) が最も多く、次いで「19時台」(18.4%)、「21時台」(16.2%) となっています。

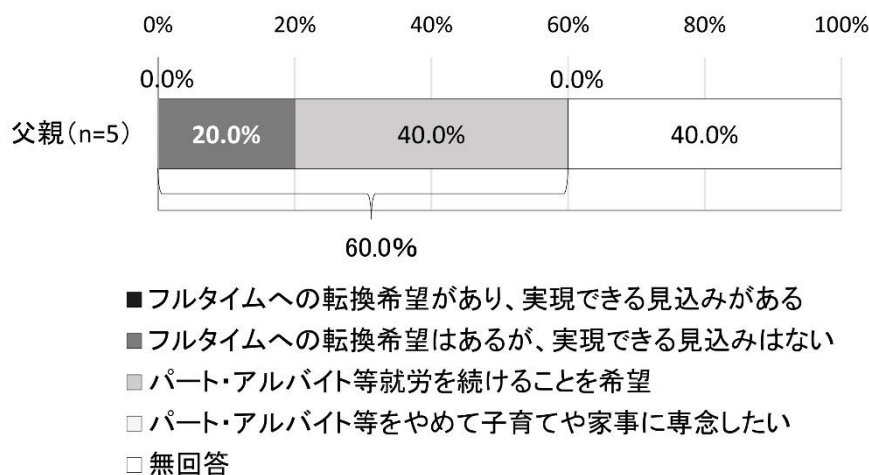


問11 問10で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を回答した方に伺います。フルタイムへの転換希望はありますか。(SA)

母親のパート・アルバイトからフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(58.3%)が最も多く、フルタイムへの転換を希望する方は37.0%います。実現できる見込みのある方は9.8%となっています。



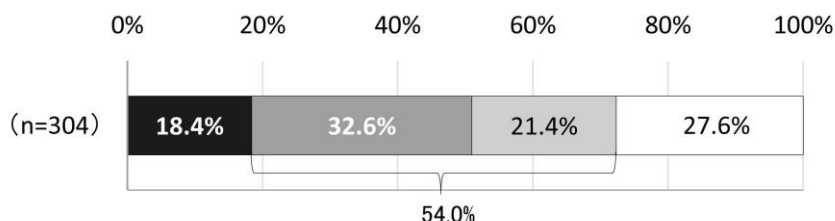
父親の就労希望は、「パート・アルバイト等就労を続けることを希望」(40.0%)が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがない」(20.0%)となっています。



問 12 問 10 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」を回答した方に伺います。就労したいという希望はありますか。(数量回答)

① 母親

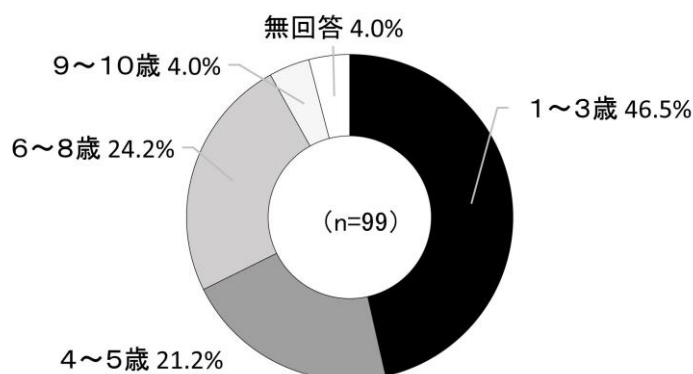
就労していない母親の今後の就労希望は、就労したい方が 54.0%おり、その内訳は「1年より先」(32.6%)、「すぐにでも、もしくは一年以内に就労したい」(21.4%) となっています。



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年よりも先、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

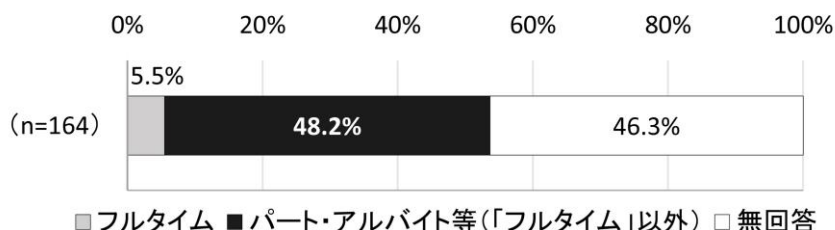
問 12 選択肢中・一番下の子どもが何歳になったころに就労したいですか。(数量回答)

1年より先の就労時期は一番下の子の年齢が、「1～3歳になったころ」(46.5%)が最も多く、次いで「6～8歳になったころ」(24.2%)、「4～5歳になったころ」(21.2%) となっています。



問 12 選択肢中・希望する就労形態は何ですか。

希望する就労形態は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)」(48.2%)、「フルタイム」(5.5%) となっています。



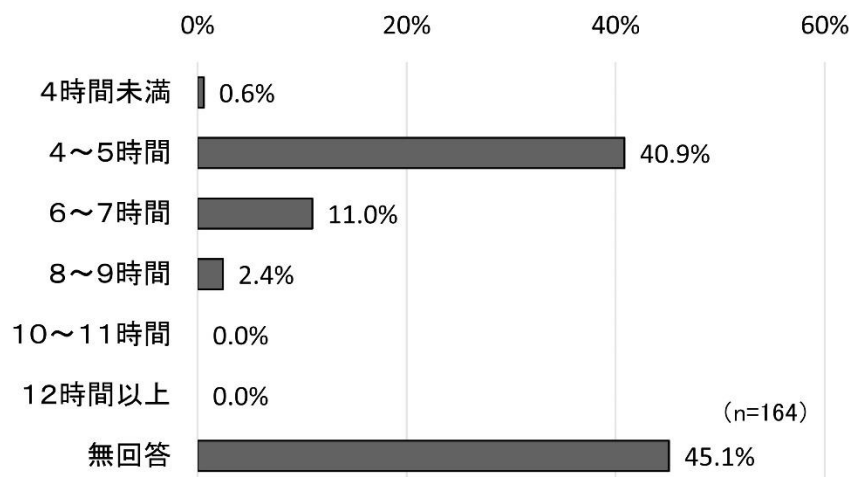
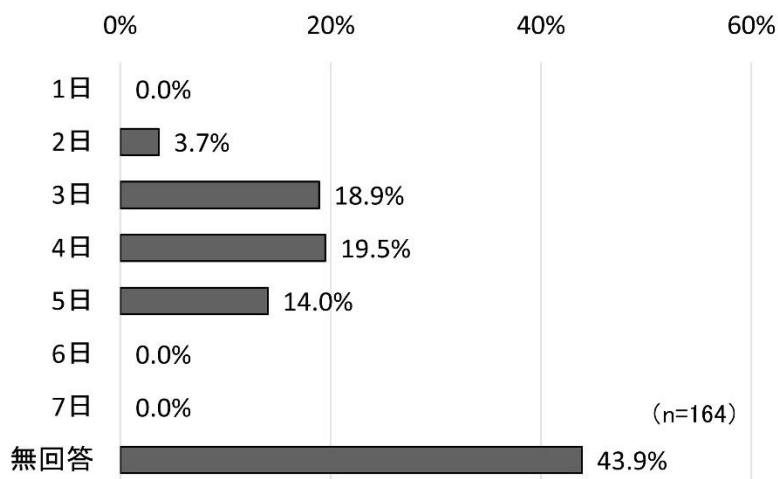
問 12 選択肢中・希望する就労日数・就労時間は何ですか。(数量回答)

① 母親

母親の希望する就労日数は「4日」(19.5%)が最も多く、次いで「3日」(18.9%)、「5日」(14.0%)となっています。

就労時間は「4～5時間」(40.9%)が最も多く、次いで「6～7時間」(11.0%)となっています。

【母親】



② 父親

就労していない、あるいは就労したことがない父親は1名でしたが、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答されています。

また、フルタイムでの就労を希望しています。



#### 4 お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況について

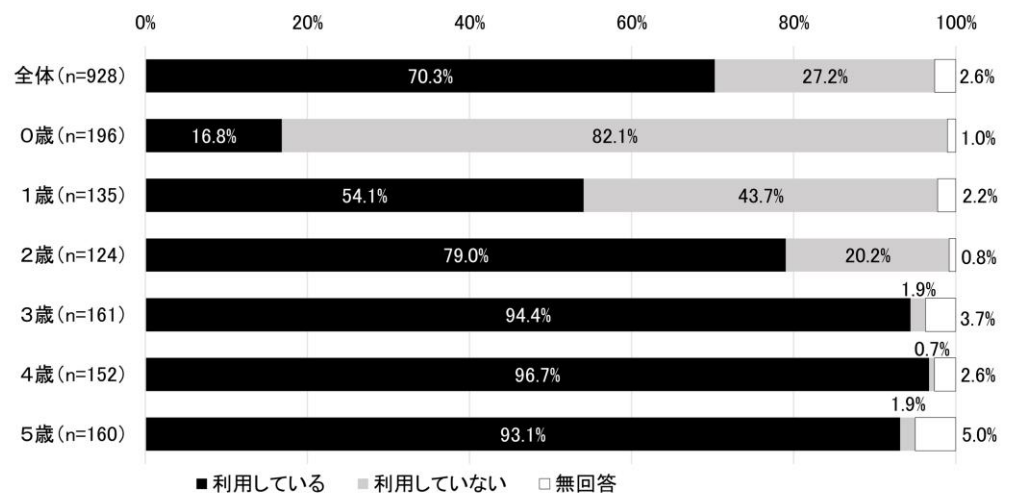
問 13 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(SA)

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」(70.3%)が最も多くなっています。年齢別では、4歳が最も利用して(96.7%)おり、次いで3歳(94.4%)、5歳(93.1%)となっています。

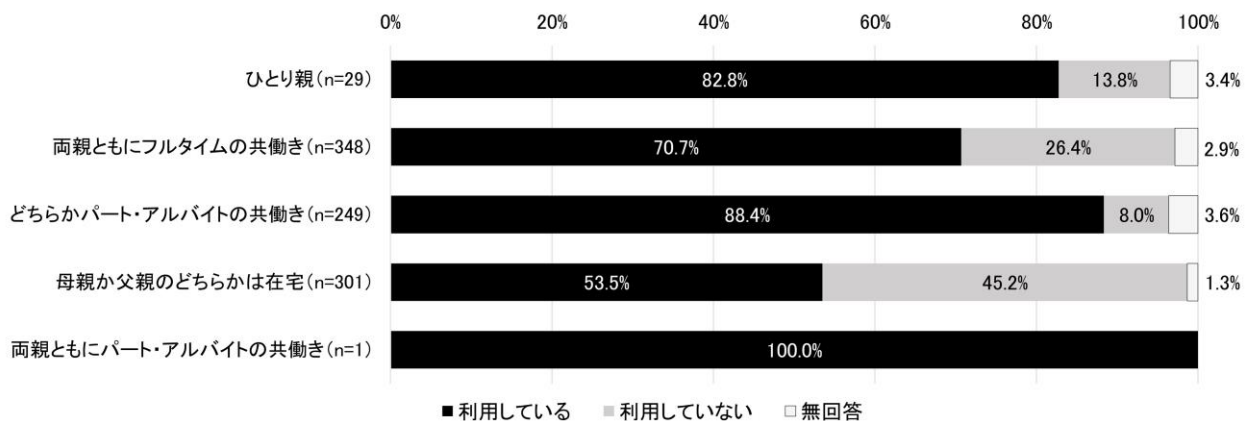
家族類型別では、「どちらかがパート・アルバイトの共働き」(88.4%)が最も利用しており、次いで、「ひとり親」(82.8%)、「両親ともにフルタイムの共働き」(70.7%)となっています。

<クロス集計>

問13 定期的な教育・保育事業の利用(年齢別)



問13 定期的な教育・保育事業の利用(家族類型別)



問 13-1 問 13 で「利用している」を回答した方に伺います。お子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(MA)

利用中の事業は、「認定こども園（1号）」(26.1%) が最も多く、次いで「認定こども園（2号・3号）」(24.8%)、「幼稚園」(22.7%) と「認可保育所」(22.7%) となっています。

年齢別では、0歳と1歳が「認可保育所」(40%以上) で最も多くなっていますが、3歳以上では「幼稚園」や「認定こども園」の利用比率が高くなっています。

家族類型別では、「認可保育所」の利用が最も高いのは「ひとり親」(37.5%) や「両親ともにフルタイムの共働き」(37.0%)、「どちらか在宅」では「認定こども園（1号）」(56.5%) が高くなっています。

(単位:%)

	幼稚園	幼稚園の預かり保育	(認定こども園(1号)認定) (教育(1号)認定)	認定こども園の一時預かり保育	認可保育所	(認定こども園(2号・3号)認定)	小規模保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	・児童発達支援センター ・児童発達支援センター	その他	無回答
計(n=652)	22.7	8.9	26.1	6.1	22.7	24.8	0.3	0.6	0.3	0.6	2.6	1.5	0.5
年齢別	0歳(n=33)	0.0	0.0	9.1	0.0	48.5	33.3	0.0	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0
	1歳(n=73)	4.1	1.4	5.5	6.8	43.8	31.5	2.7	2.7	0.0	1.4	0.0	5.5
	2歳(n=98)	13.3	5.1	25.5	6.1	27.6	26.5	0.0	0.0	0.0	2.0	7.1	4.1
	3歳(n=152)	30.3	9.2	31.6	5.9	17.8	21.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0
	4歳(n=147)	26.5	10.9	30.6	5.4	15.0	25.9	0.0	0.0	0.7	0.0	3.4	0.0
	5歳(n=149)	31.5	14.8	30.2	8.1	16.1	20.8	0.0	0.0	0.0	0.7	2.7	0.7
家族類型別	ひとり親(n=24)	29.2	4.2	8.3	0.0	37.5	29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	両親ともにフルタイムの共働き(n=246)	12.6	11.4	11.4	2.0	37.0	36.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8	0.4
	どちらかパート・アルバイトの共働き(n=220)	24.1	10.5	22.3	7.3	21.4	28.6	0.5	1.4	0.5	0.5	4.5	0.9
	母親か父親のどちらか在宅(n=161)	34.8	3.7	56.5	11.8	0.6	1.9	0.0	0.0	0.0	1.2	3.1	4.3
	両親ともにパート・アルバイトの共働き(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<クロス集計>



認定こども園（1号）：満3歳以上の就学前の子ども（2号認定を除く）を対象とした施設  
 認定こども園（2号・3号）：0歳から就学前の子どもで保護者の就労や疾病等により、保育を必要とする子どもを対象とした施設

問 13-2 問 13 で「利用している」を回答した方に伺います。平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たりの利用日数、1 日当たりの利用時間と時間帯（何時から何時までか）をお答えください。（数量回答）

定期的な教育・保育事業の 1 週当たりの利用日数は、「5 日」が最も多くなっています。

1 日当たりの利用時間は、「5 時間」が最も多く、次いで「6 時間」となっており、「10 時間以上」も見られます。

利用開始時刻は「8 時・9 時台」で、終了時刻は「14 時台」、「17 時台」が多くなっています。

<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

【現在】 1週当たり 利用日数	幼稚園	幼稚園の 預かり 保育	認定こども 園(1号)	認定こども 園の一時 預かり 保育	認可 保育園	認定こども 園(2号・3 号)	小規模 保育施設	家庭的 保育	事業所内 保育施設	家庭 保育室	居住訪問 型保育	その他の 認可外の 保育施設	ファミリー・ サポート・ センター	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所	その他
	n=159	n=62	n=179	n=43	n=158	n=168	n=2	n=0	n=5	n=0	n=0	n=2	n=6	n=19	n=12
1日	1	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
	0.6	1.6	0.0	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	10.5	33.3
2日	3	0	5	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	1.9	0.0	2.8	4.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
3日	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	0.6	1.6	0.6	2.3	0.0	0.6	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
4日	1	3	3	2	1	3	0	0	2	0	0	0	1	0	0
	0.6	4.8	1.7	4.7	0.6	1.8	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
5日	105	56	159	31	142	150	2	0	2	0	0	1	2	16	2
	66.0	90.3	88.8	72.1	89.9	89.3	100.0	0.0	40.0	0.0	0.0	50.0	33.3	84.2	16.7
6日	0	0	2	0	10	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	0.0	0.0	1.1	0.0	6.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
7日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	48	1	9	2	5	8	0	0	0	0	0	0	2	1	1
	30.2	1.6	5.0	4.7	3.2	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	5.3	8.3

<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

【現在】 1日当たり 利用時間	幼稚園	幼稚園の 預かり 保育	認定こども 園(1号)	認定こども 園の一時 預かり 保育	認可 保育園	認定こども 園(2号・3 号)	小規模 保育施設	家庭的 保育	事業所内 保育施設	家庭 保育室	居住訪問 型保育	その他の 認可外の 保育施設	ファミリー・ サポート・ センター	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所	その他
	n=159	n=62	n=179	n=43	n=158	n=168	n=2	n=0	n=5	n=0	n=0	n=2	n=6	n=19	n=12
1時間	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	0.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	5.3	16.7
2時間	3	3	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	1.9	4.8	0.6	7.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7
3時間	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0.6	3.2	0.6	2.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
4時間	3	0	6	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
	1.9	0.0	3.4	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0
5時間	48	5	76	12	0	6	0	0	0	0	0	0	0	5	1
	30.2	8.1	42.5	27.9	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	8.3
6時間	49	8	38	12	0	7	0	0	1	0	0	0	1	4	0
	30.8	12.9	21.2	27.9	0.0	4.2	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	16.7	21.1	0.0
7時間	19	9	12	4	8	12	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	11.9	14.5	6.7	9.3	5.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	5.3	8.3
8時間	15	12	8	2	42	38	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	9.4	19.4	4.5	4.7	26.6	22.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	0.0
9時間	7	11	12	2	45	34	0	0	1	0	0	1	1	1	1
	4.4	17.7	6.7	4.7	28.5	20.2	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	50.0	16.7	5.3	8.3
10時間以上	7	10	14	5	56	62	0	0	2	0	0	0	1	0	0
	4.4	16.1	7.8	11.6	35.4	36.9	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
不明・無回答	6	1	11	1	7	7	2	0	0	0	0	0	2	1	1
	3.8	1.6	6.1	2.3	4.4	4.2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	5.3	8.3

<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

【現在】 利用開始 時間	幼稚園 n=159	幼稚園の 預かり 保育 n=62	認定こども 園(1号) n=179	認定こども 園の一時 預かり 保育 n=43	認可 保育園 n=158	認定こども 園(2号・3 号) n=168	小規模 保育施設 n=2	家庭的 保育 n=0	事業所内 保育施設 n=5	家庭 保育室 n=0	居住訪問 型保育 n=0	その他の 認可外の 保育施設 n=2	ファミリー・ サポート・ センター n=6	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所 n=19	その他 n=12
6時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7時	4	5	11	2	29	28	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	2.5%	8.1%	6.1%	4.7%	18.4%	16.7%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8時	55	34	46	12	98	97	1	0	2	0	0	1	1	6	2
	34.6%	54.8%	25.7%	27.9%	62.0%	57.7%	50.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	31.6%	16.7%
9時	85	17	105	23	25	32	1	0	2	0	0	1	1	10	1
	53.5%	27.4%	58.7%	53.5%	15.8%	19.0%	50.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	52.6%	8.3%
10時	5	0	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	7
	3.1%	0.0%	2.2%	7.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	5.3%	58.3%
11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13時以降	3	4	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1.9%	6.5%	2.2%	4.7%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明・無回答	7	2	9	1	6	9	0	0	0	0	0	0	2	1	2
	4.4%	3.2%	5.0%	2.3%	3.8%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	5.3%	16.7%

<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

【現在】 利用終了 時間	幼稚園 n=159	幼稚園の 預かり 保育 n=62	認定こども 園(1号) n=179	認定こども 園の一時 預かり 保育 n=43	認可 保育園 n=158	認定こども 園(2号・3 号) n=168	小規模 保育施設 n=2	家庭的 保育 n=0	事業所内 保育施設 n=5	家庭 保育室 n=0	居住訪問 型保育 n=0	その他の 認可外の 保育施設 n=2	ファミリー・ サポート・ センター n=6	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所 n=19	その他 n=12
11時	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%
12時	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	1.3%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	16.7%
13時	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	0.6%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	8.3%
14時	70	5	109	16	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10	1
	44.0%	8.1%	60.9%	37.2%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.6%	8.3%
15時	43	14	24	9	2	6	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	27.0%	22.6%	13.4%	20.9%	1.3%	3.6%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
16時	15	10	7	5	28	33	1	0	0	0	0	1	1	2	0
	9.4%	16.1%	3.9%	11.6%	17.7%	19.6%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	10.5%	0.0%
17時	13	19	10	3	69	45	0	0	1	0	0	1	0	3	2
	8.2%	30.6%	5.6%	7.0%	6.1%	26.8%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	15.8%	16.7%
18時	4	8	15	3	45	55	1	0	2	0	0	0	2	0	0
	2.5%	12.9%	8.4%	7.0%	28.5%	32.7%	50.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
19時	3	3	4	3	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1.9%	4.8%	2.2%	7.0%	5.1%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20時	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.6%	1.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21時	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明・無回答	7	2	10	1	5	9	0	0	0	0	0	0	2	1	2
	4.4%	3.2%	5.6%	2.3%	3.2%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	5.3%	16.7%

定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用希望日数は、「5日」が最も多くなっています。

1日当たりの利用時間は、「8時間」や「10時間以上」が多く、幼稚園は現状より2時間多く希望されています。

利用開始時刻は「8時・9時台」で現状と同等ですが、終了時刻は幼稚園と認定こども園で現状より1時間多い「15時台」を希望されています。

<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

【希望】 1週当たり 利用日数	幼稚園 n=159	幼稚園の 預かり 保育 n=62	認定こども 園(1号) n=179	認定こども 園の一時 預かり 保育 n=43	認可 保育園 n=158	認定こども 園(2号・3 号) n=168	小規模 保育施設 n=2	家庭的 保育 n=0	事業所内 保育施設 n=5	家庭 保育室 n=0	居住訪問 型保育 n=0	その他の 認可外の 保育施設 n=2	ファミリー サポート センター n=6	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所 n=19	その他 n=12
1日	1 0.6%	0 0.0%	1 0.6%	2 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	2 16.7%
2日	1 0.6%	0 0.0%	1 0.6%	2 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%
3日	1 0.6%	1 1.6%	2 1.1%	2 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
4日	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	3 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
5日	91 57.2%	42 67.7%	112 62.6%	27 62.8%	89 56.3%	91 54.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	11 57.9%	3 25.0%
6日	4 2.5%	4 6.5%	2 1.1%	0 0.0%	12 7.6%	6 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
7日	0 0.0%	0 0.0%	61 34.1%	10 23.3%	1 0.6%	1 0.6%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不明・無回答	61 38.4%	15 24.2%	0 0.0%	0 0.0%	55 34.8%	67 39.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	3 50.0%	7 36.8%	4 33.3%

<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

【希望】 1日当たり 利用時間	幼稚園 n=159	幼稚園の 預かり 保育 n=62	認定こども 園(1号) n=179	認定こども 園の一時 預かり 保育 n=43	認可 保育園 n=158	認定こども 園(2号・3 号) n=168	小規模 保育施設 n=2	家庭的 保育 n=0	事業所内 保育施設 n=5	家庭 保育室 n=0	居住訪問 型保育 n=0	その他の 認可外の 保育施設 n=2	ファミリー サポート センター n=6	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所 n=19	その他 n=12
1時間	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	1 8.3%
2時間	1 0.6%	1 1.6%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%
3時間	0 0.0%	1 1.6%	1 0.6%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
4時間	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
5時間	8 5.0%	1 1.6%	14 7.8%	3 7.0%	0 0.0%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
6時間	16 10.1%	1 1.6%	32 17.9%	6 14.0%	0 0.0%	3 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 10.5%	1 8.3%
7時間	21 13.2%	8 12.9%	24 13.4%	8 18.6%	2 1.3%	9 5.4%	1 50.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.8%	1 8.3%
8時間	27 17.0%	15 24.2%	23 12.8%	5 11.6%	17 10.8%	13 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 10.5%	0 0.0%
9時間	9 5.7%	7 11.3%	12 6.7%	2 4.7%	35 22.2%	25 14.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
10時間以上	13 8.2%	14 22.6%	11 6.1%	7 16.3%	47 29.7%	47 28.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 15.8%	0 0.0%
不明・無回答	63 39.6%	14 22.6%	61 34.1%	10 23.3%	57 36.1%	69 41.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	3 50.0%	7 36.8%	4 33.3%

<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

【希望】 利用開始 時間	幼稚園	幼稚園の 預かり 保育	認定こども 園(1号)	認定こども 園の一時 預かり 保育	認可 保育園	認定こども 園(2号・3 号)	小規模 保育施設	家庭的 保育	事業所内 保育施設	家庭 保育室	居住訪問 型保育	その他の 認可外の 保育施設	ファミリー サポート・ センター	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所	その他
	n=159	n=62	n=179	n=43	n=158	n=168	n=2	n=0	n=5	n=0	n=0	n=2	n=6	n=19	n=12
6時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時	4	4	9	5	2	16	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	2.5	6.5	5.0	11.6	1.3	9.5	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8時	43	29	42	12	21	64	1	0	0	0	0	0	1	4	1
	27.0	46.8	23.5	27.9	13.3	38.1	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	21.1	8.3
9時	45	13	65	13	71	22	1	0	3	0	0	0	1	6	2
	28.3	21.0	36.3	30.2	44.9	13.1	50.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	16.7	31.6	16.7
10時	3	0	1	2	8	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
	1.9	0.0	0.6	4.7	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	5.3	41.7
11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13時以降	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	0.0	3.2	1.1	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0
不明・無回答	64	14	60	10	56	66	0	0	0	0	0	2	3	7	4
	40.3	22.6	33.5	23.3	35.4	39.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	36.8	33.3

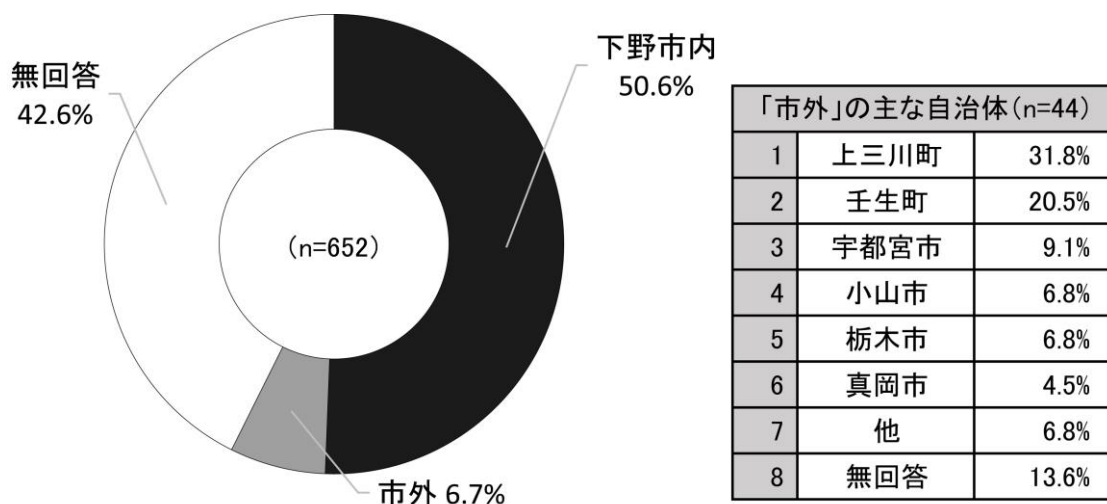
<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

【希望】 利用終了 時間	幼稚園	幼稚園の 預かり 保育	認定こども 園(1号)	認定こども 園の一時 預かり 保育	認可 保育園	認定こども 園(2号・3 号)	小規模 保育施設	家庭的 保育	事業所内 保育施設	家庭 保育室	居住訪問 型保育	その他の 認可外の 保育施設	ファミリー サポート・ センター	児童発達 支援セン ター・児童 発達支援 事業所	その他
	n=159	n=62	n=179	n=43	n=158	n=168	n=2	n=0	n=5	n=0	n=0	n=2	n=6	n=19	n=12
11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
12時	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	0.6	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
13時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
14時	9	1	15	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5.7	1.6	8.4	7.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	8.3
15時	27	6	41	10	1	6	0	0	0	0	0	0	0	3	1
	17.0	9.7	22.9	23.3	0.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	8.3
16時	24	10	35	9	12	13	1	0	1	0	0	0	1	3	0
	15.1	16.1	19.6	20.9	7.6	7.7	50.0	0	20.0	0.0	0.0	0.0	16.7	15.8	0.0
17時	19	13	17	4	39	29	0	0	2	0	0	0	1	3	0
	11.9	21.0	9.5	9.3	24.7	17.3	0.0	0	40.0	0.0	0.0	0.0	16.7	15.8	0.0
18時	11	12	8	3	35	36	1	0	2	0	0	0	1	2	0
	6.9	19.4	4.5	7.0	22.2	21.4	50.0	0	40.0	0.0	0.0	0.0	16.7	10.5	0.0
19時	5	6	3	3	12	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	3.1	9.7	1.7	7.0	7.6	5.4	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
20時	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	1.8	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	63	14	60	10	55	67	0	0	0	0	0	2	3	7	4
	39.6	22.6	33.5	23.3	34.8	39.9	0.0	0	0.0	0.0	0.0	100.0	50.0	36.8	33.3

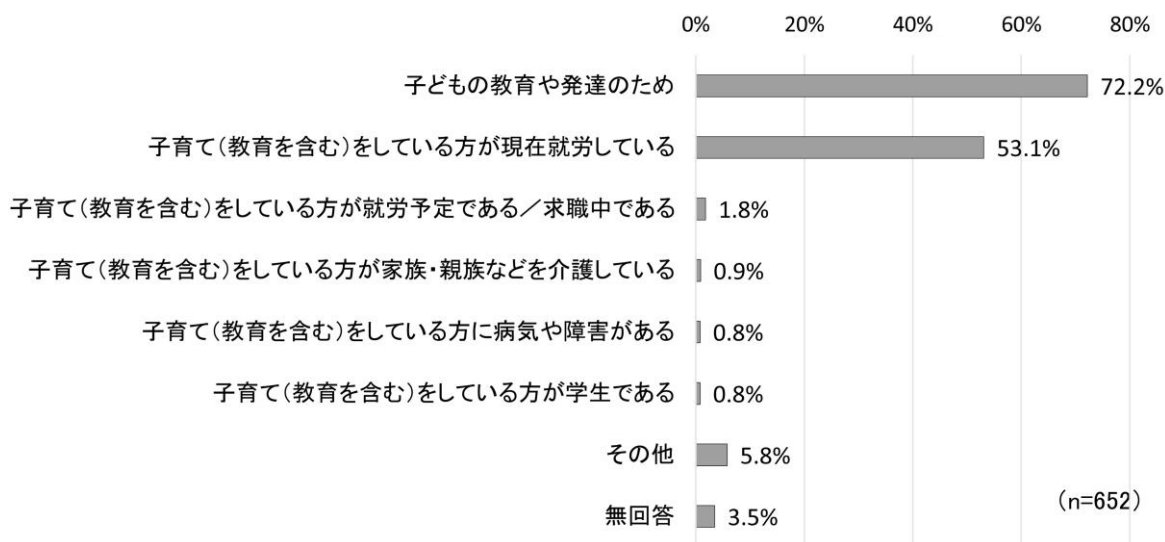
問 13-3 問 13 で「利用している」を回答した方に伺います。現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。下野市内を選ばれた方は施設名を、市外を選ばれた方は自治体名をお書きください。(SA)

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用している方の実施場所は「下野市内」(50.6%) が半数を占めています。



問 13-4 問 13 で「利用している」を回答した方に伺います。平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由について伺います。(MA)

利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(72.2%) が最も多く、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(53.1%) となっています。

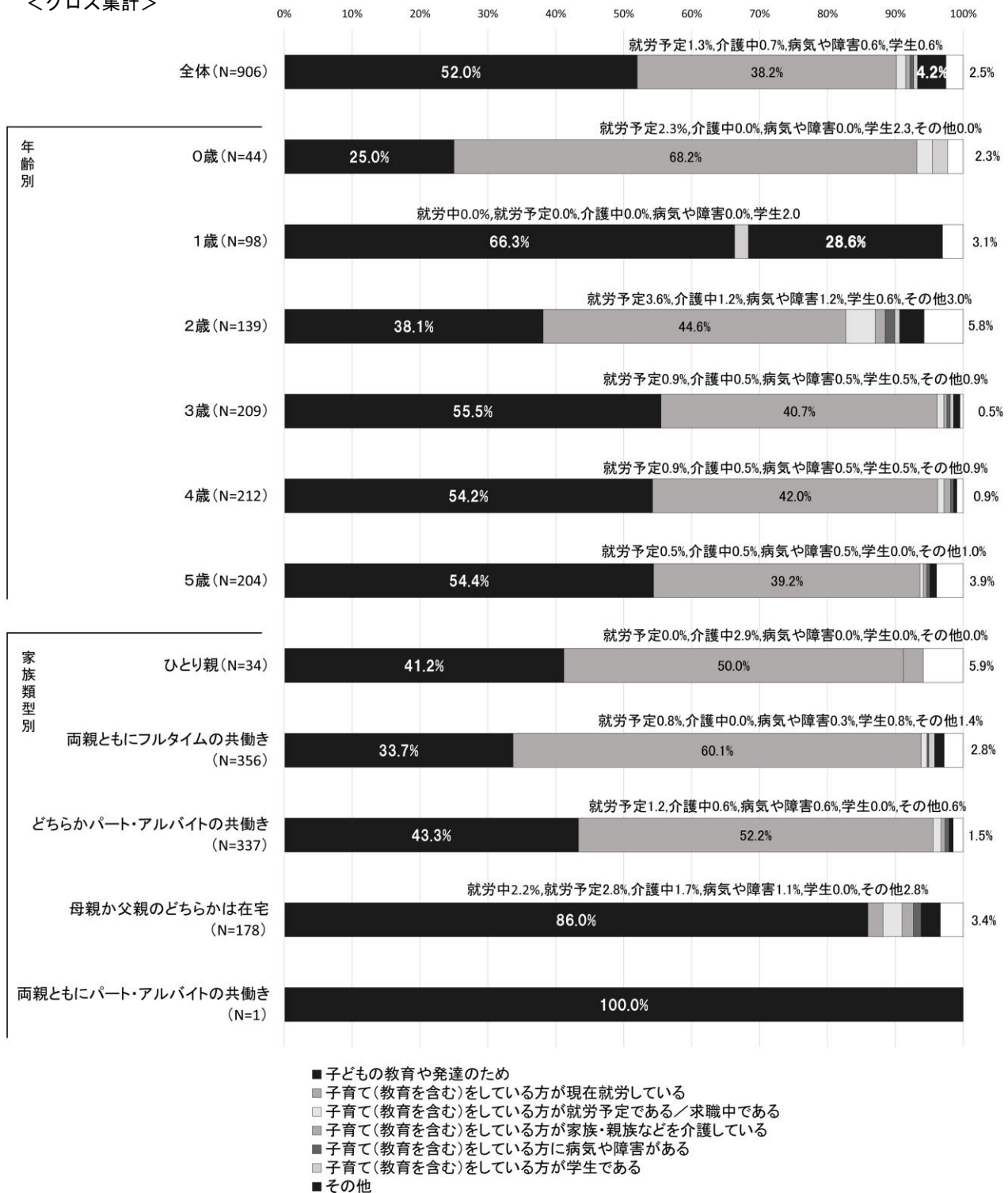


利用している理由は、子どもの年齢別では、0歳と2歳は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が高く、1歳及び3歳以上になると「子どもの教育や発達のため」が半数を超えます。

家庭類型別では、両親ともにフルタイム、どちらかがパート・アルバイトの共働き家庭が、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が多くなっています。

問13-4 教育・保育事業を利用する理由

<クロス集計>



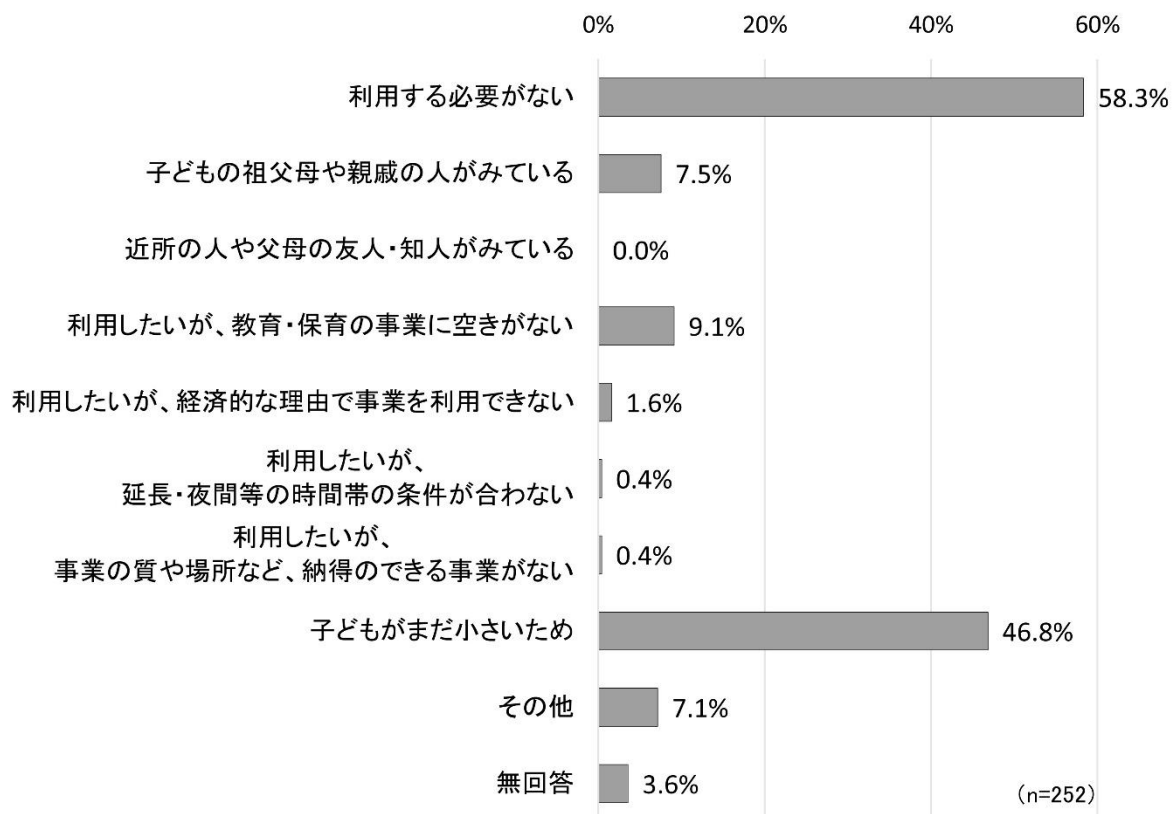
Nは、各項目の総和を示します。  
複数回答(MA)のため、構成比を求める母数は、各項目ごとの総和としています。



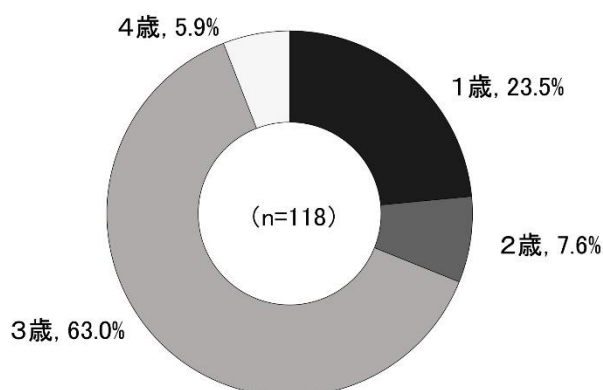
問 13-5 問 13 で「利用していない」を回答した方に伺います。利用していない理由は何ですか。  
(MA)

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していない方の理由は、「利用する必要がない」(58.3%)が最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」(46.8%)、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」(9.1%)となっています。

また、「子どもがまだ小さいため」で、何歳くらいになったら利用したいかには、子どもの年齢が「3歳」になったら(63.0%)が最も多くなっています。



問 13-5 選択肢中・子どもが何歳くらいになったら利用したいと考えていますか。(数量回答)



問 14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育制度として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(MA)

子どもの平日の教育・保育制度として定期的に利用したいと考える事業は、「認定こども園（1号）」（18.8%）が最も多く、次いで「認定こども園（2・3号）」（17.8%）、「認可保育所」（17.0%）、「幼稚園」（16.8%）、となっています。

年齢別では、2歳から5歳で「認定こども園」の利用希望が高く（20%以上）、3歳から5歳で「幼稚園」の利用希望が高く（20%以上）、1歳で「認可保育所」が高く（24.4%）なっています。

家族類型別では、「ひとり親」は「認可保育所」の利用希望が高い（31.0%）など、年齢別と同様の傾向で「認定こども園」「認可保育所」「幼稚園」の利用希望が高く（20%以上）なっています。

(単位:%)

		幼稚園	幼稚園の預かり保育	(認定こども園(1号)認定)	認定こども園の一時預かり保育	認可保育所	(認定こども園(2号・3号)認定)	小規模保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	ファミリー・サポート・センター	・児童発達支援センター	その他	無回答
計(n=928)		16.8	6.7	18.8	4.4	17.0	17.8	0.2	0.5	0.2	0.6	1.8	1.3	27.2
年齢別	0歳(n=196)	0.0	0.0	2.0	0.0	9.2	6.1	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.5	81.6
	1歳(n=135)	2.2	0.7	3.7	4.4	24.4	17.0	1.5	2.2	0.0	0.7	0.0	3.7	43.7
	2歳(n=124)	11.3	4.0	20.2	4.8	21.8	21.0	0.0	0.0	0.0	1.6	5.6	4.0	19.4
	3歳(n=161)	29.8	9.3	29.8	5.6	19.3	21.1	0.0	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6
	4歳(n=152)	26.3	11.2	29.6	5.3	15.8	25.0	0.0	0.0	0.7	0.0	3.3	0.0	2.0
	5歳(n=160)	31.9	15.0	29.4	7.5	15.6	20.0	0.0	0.0	0.0	0.6	2.5	0.6	3.1
家族類型別	ひとり親(n=29)	24.1	3.4	6.9	0.0	31.0	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.2
	両親ともにフルタイムの共働き(n=348)	8.9	8.0	8.6	1.4	28.2	25.9	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	27.0
	どちらかパート・アルバイトの共働き(n=249)	22.5	10.4	20.1	6.4	20.1	26.1	0.4	1.6	0.4	0.8	4.0	0.8	8.0
	母親か父親のどちらかは在宅(n=301)	20.3	2.3	30.6	6.6	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.7	3.0	44.2
	両親ともにパート・アルバイトの共働き(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

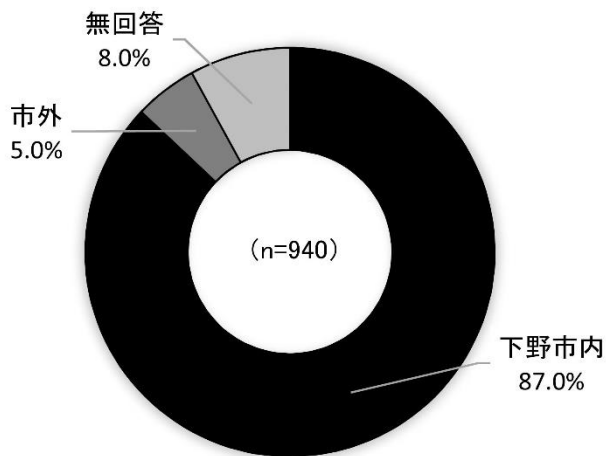
<クロス集計>



認定こども園（1号）：満3歳以上の就学前の子ども（2号認定を除く）を対象とした施設  
 認定こども園（2号・3号）：0歳から就学前の子どもで保護者の就労や疾病等により、保育を必要とする子どもを対象とした施設

問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(SA)

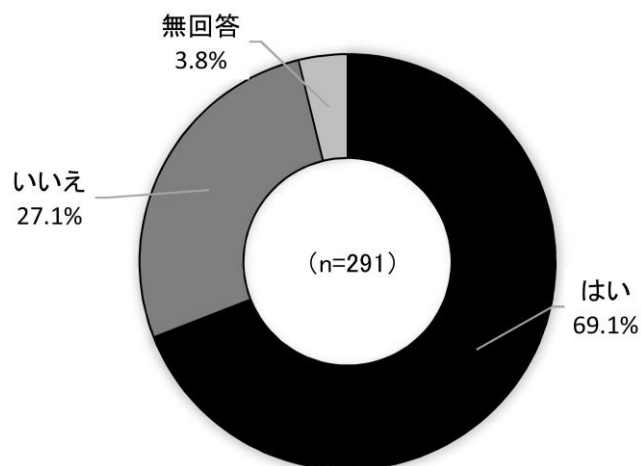
教育・保育事業を利用したい場所は、「下野市内」(87.0%) となっています。



順位	自治体	割合
1	壬生町	21.3%
2	上三川町	19.1%
3	宇都宮市	12.8%
4	小山市	10.6%
5	真岡市	6.4%
6	鹿沼市	2.1%
7	石橋市	2.1%
8	筑西市	2.1%
9	栃木市	2.1%
10	野木町	2.1%
11	その他	6.4%
12	無回答	12.8%

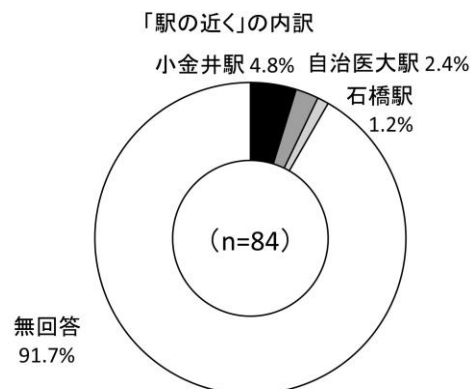
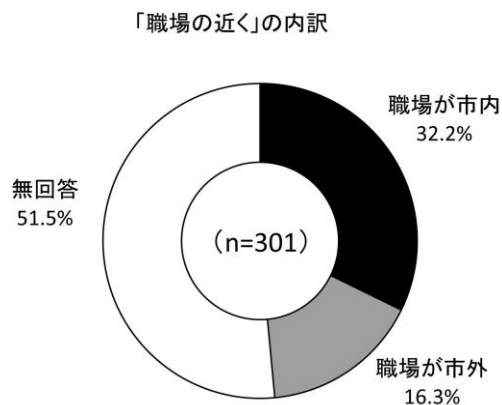
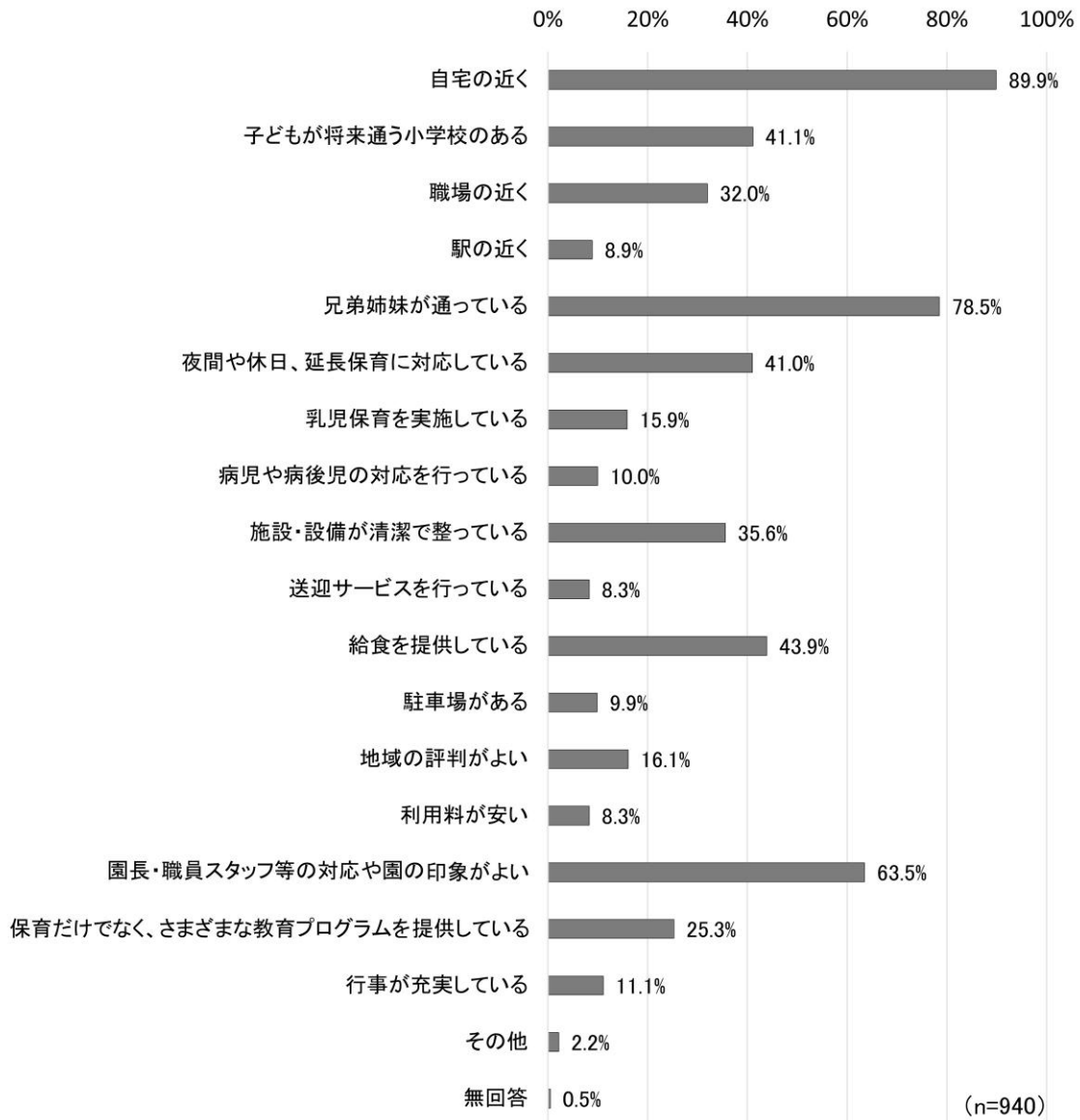
問 14-2 問 14 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3~15にも○をつけた方にお伺いします。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。(SA)

幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望する方は、「はい」(69.1%) が半数を超えています。



問 15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。(MA)

平日の教育・保育事業を選ぶ際に重視する点は、「自宅の近く」(89.9%)が最も高く、次いで「兄弟姉妹が通っている」(78.5%)、「園長・職員・スタッフ等の対応や園の印象がよい」(63.5%)となっています。



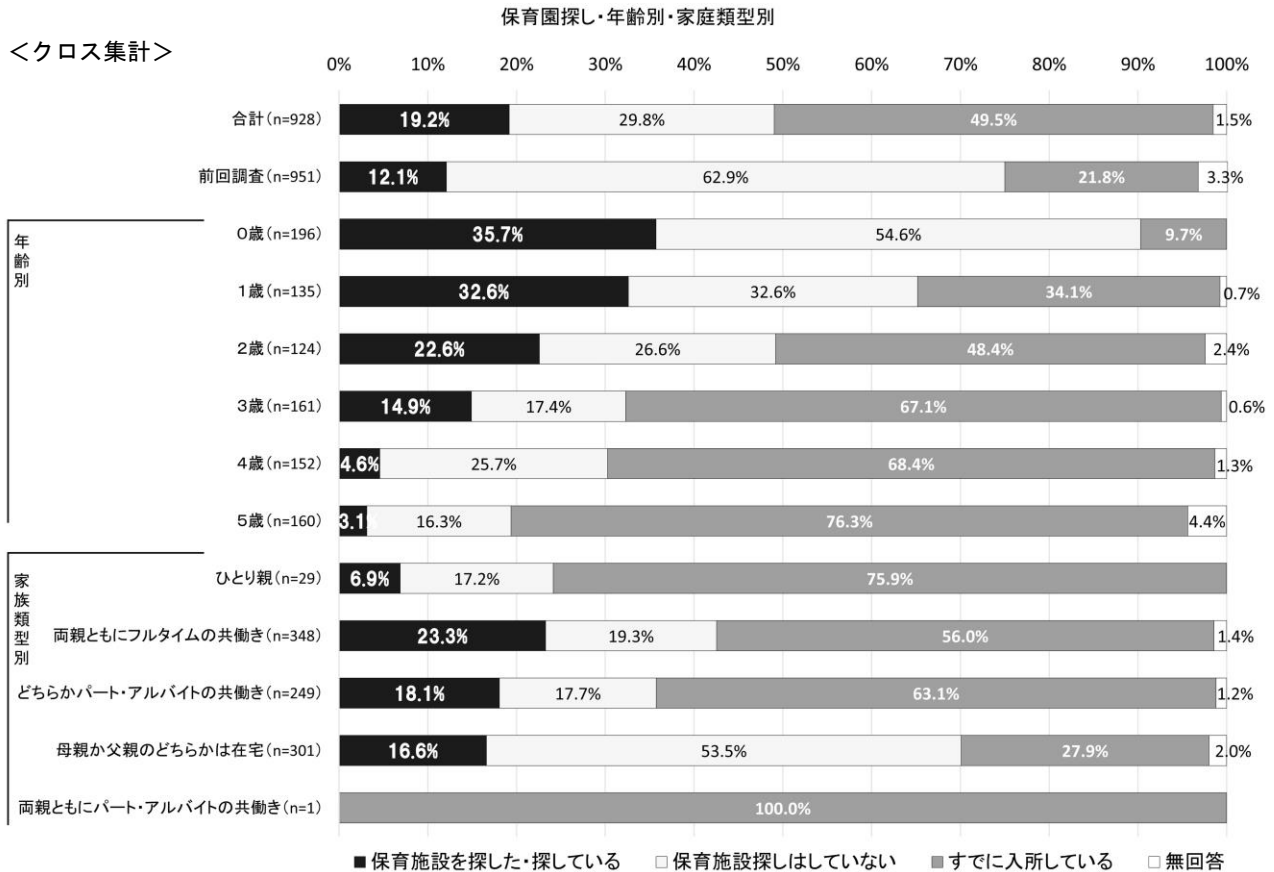
## 5 保育園探しについて

問 16 あなたは、お子さんを預けるため、この1年間で保育施設探しを行いましたか。(SA)

保育施設探しは、「すでに入所している」(49.5%)が最も多く、次いで「保育施設探しをしていない」(29.8%)、「保育施設を探した・探している」(19.2%)となっています。

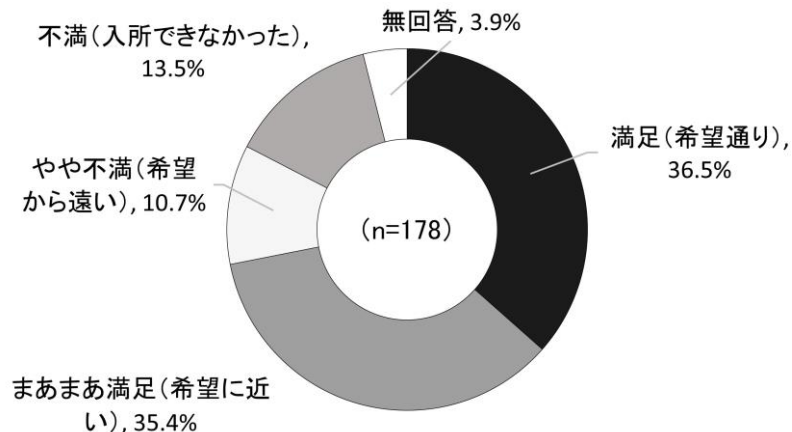
子どもの年齢では、0歳・1歳が「保育施設を探した・探している」割合が高く、家庭類型では、両親ともにフルタイムで共働きの家庭が、「保育施設を探した・探している」割合が高くなっています。

前回調査に比べ、「保育施設を探した・探している」が7.1ポイント増えています。



問 16-1 問 16 で「保育施設を探した・探している」と回答した方にお伺いします。保育施設探しの結果に満足していますか。(SA)

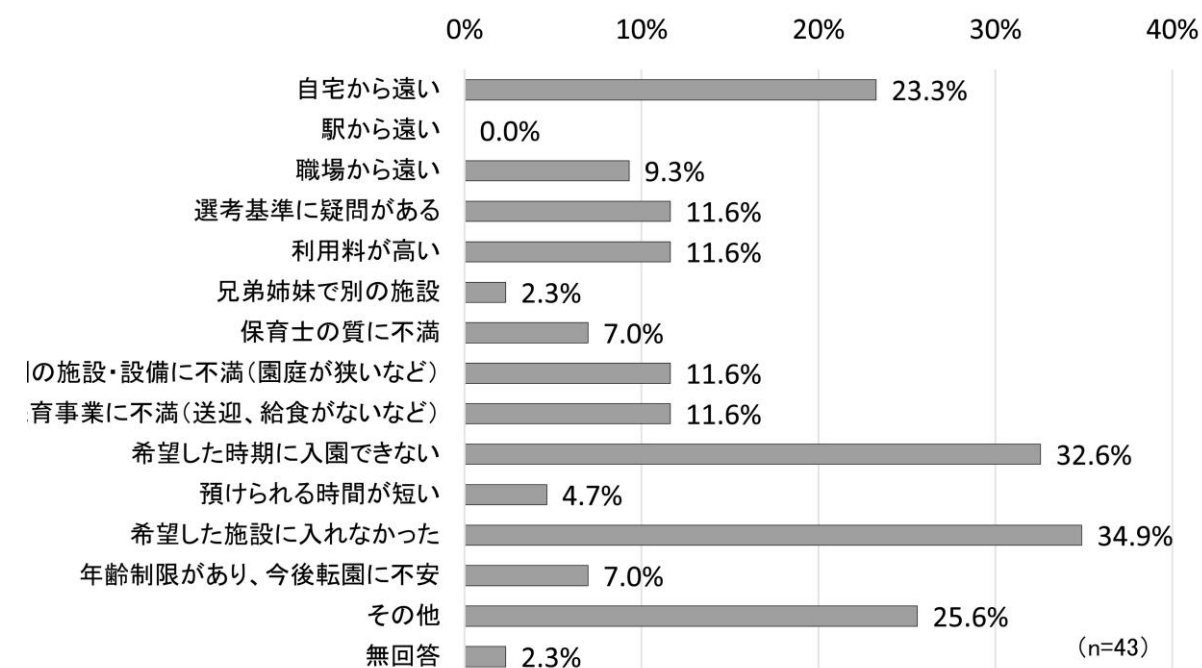
「保育施設を探した・探している」を選択した方の保育施設探しの結果は、「満足(希望通り)」(36.5%)が最も多く、次の「まあまあ満足(希望に近い)」(35.4%)と合わせて満足した方が71.9%いる一方で、不満を抱いている方は24.2%います。



問 16-2 問 16-1 で「やや不満（希望から遠い）」「不満（入所できなかった）」と回答した方にお伺いします。保育施設探しの結果に不満を抱いている・希望通りにならなかったと感じている理由は何ですか。（MA）

保育施設探しの結果への不満の理由をみると、「希望した施設に入れなかった」（34.9%）が最も多く、次いで「希望した時期に入園できない」（32.6%）、「自宅から遠い」（23.3%）となっています。

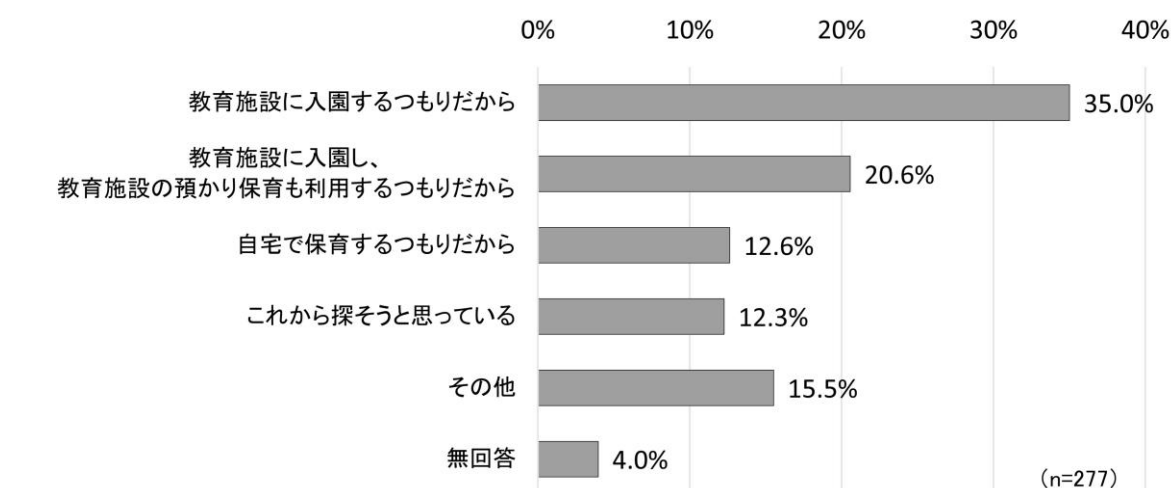
「その他」には、「ネットで手に入る情報が少なすぎる／なかなか予約がとれない／募集時期を把握してなくて、すぎてしまった／エアコンがない、暑い日が心配／（合否の）通知が遅い」などがありました。



問 16-3 問 16 で「保育施設探しはしていない」と回答した方にお伺いします。保育施設探しをしていない・探さなかった理由は何ですか。（SA）

保育施設探しをしていない理由は、「教育施設に入園するつもりだから」（35.0%）が最も多く、次いで「教育施設に入園し、教育施設の預かり保育も利用するつもりだから」（20.6%）、「自宅で保育するつもりだから」（12.6%）となっています。

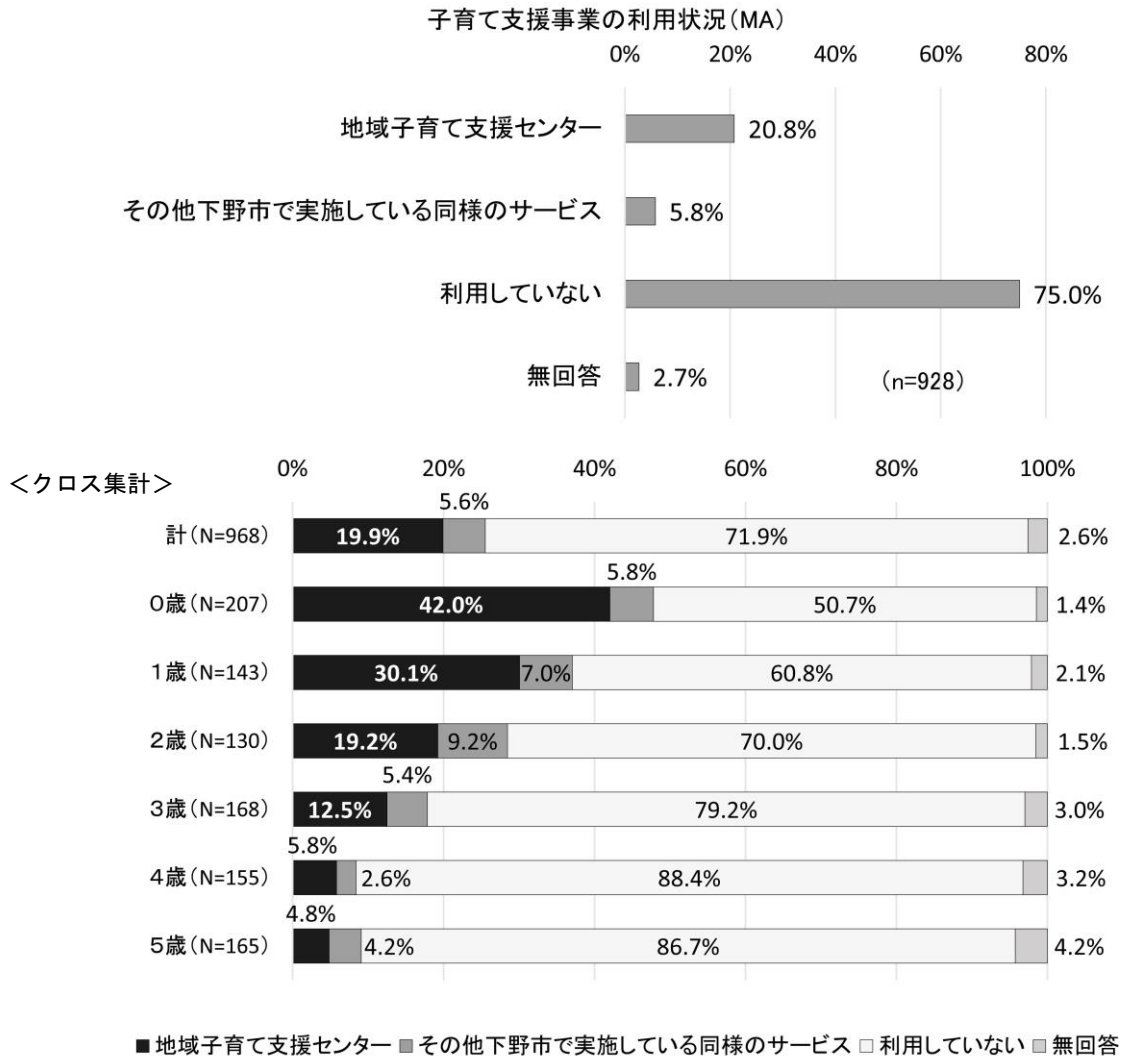
「その他」には、「転勤で引っ越す可能性があるため／認定こども園（1号）に通っている／幼稚園の延長保育で充分なので／まだ子供が小さいため」などがありました。



## 6 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 お子さんは、現在、地域子育て支援センターを利用していますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（MA・数量回答）

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」（75.0%）が最も多く、次いで「地域子育て支援センター」（20.8%）、「その他下野市で実施している同様のサービス」（1.5%）となっています。0歳児・1歳児の保護者は、地域子育て支援センターを利用している割合が3割以上となっていますが、2～5歳児保護者は、2割以下となっています。



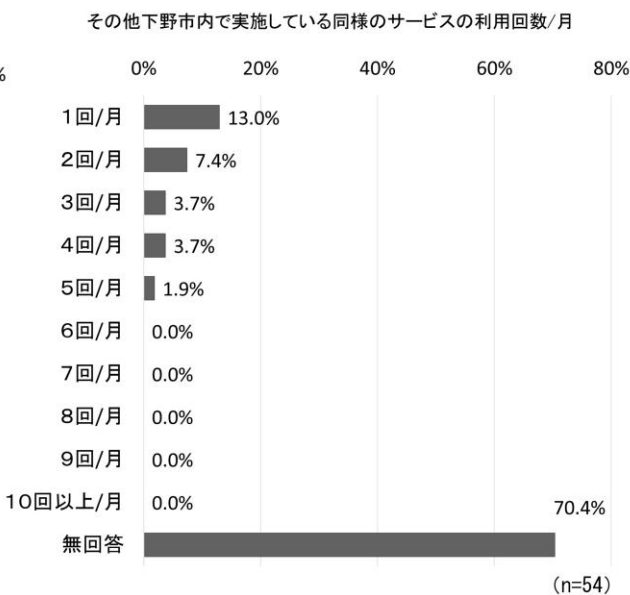
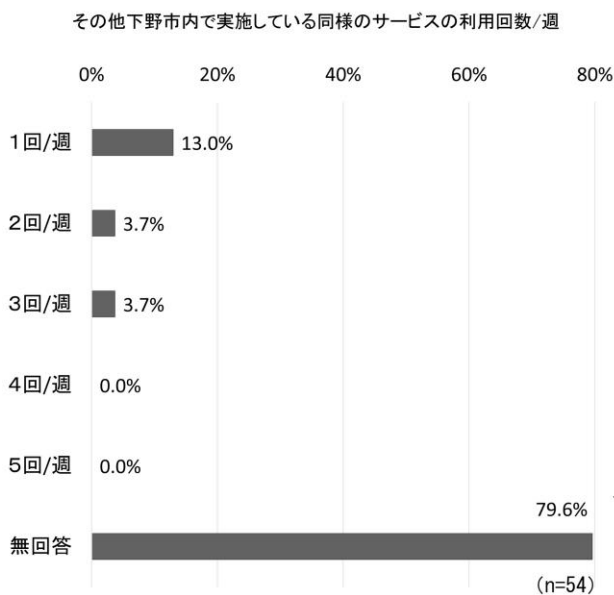
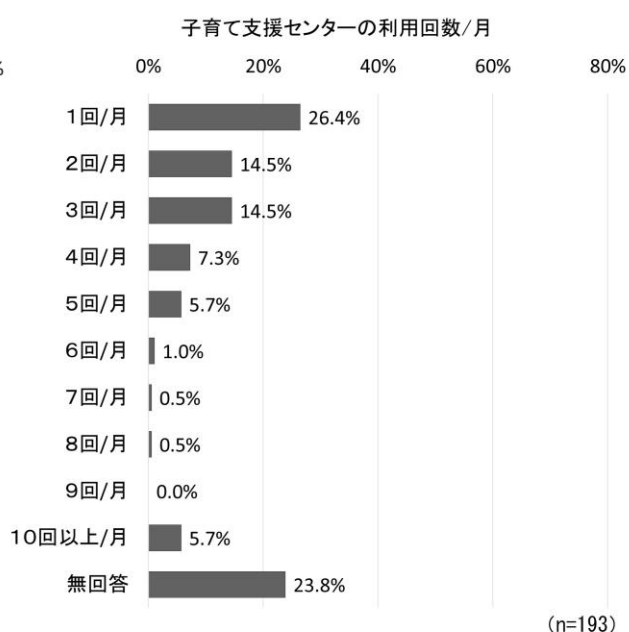
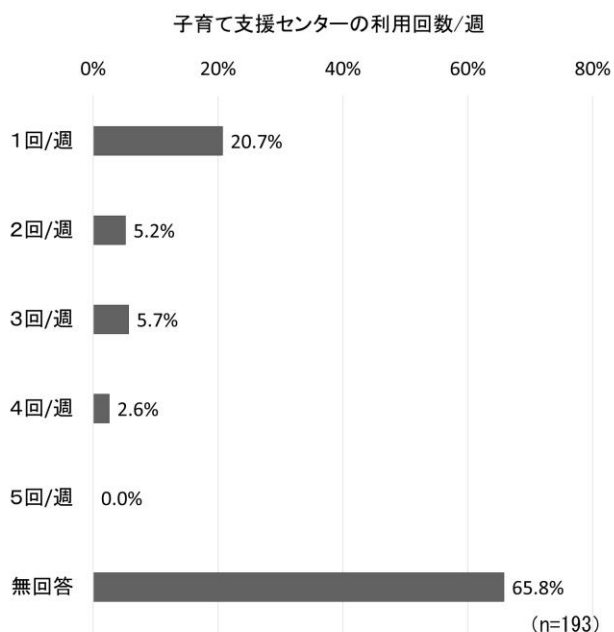
Nは複数回答の総数

その他下野市で実施している同様のサービス（具体的な記載があった回答）

0歳	南河内児童館（3件）、児童館（2件）、つくし（2件）、ママトーク（2件）、薬師寺コミュニティセンター、ファミリー・サポート・センター、リフレッシュ券で一時預かり
1歳	南河内児童館、児童館（3件）、ゆりかご、みるく、つくし、未就園児教室
2歳	児童館（3件）、南河内児童館（2件）、小金井・駅西児童館、東児童館のひよこ教室、さくらんぼ教室、親子教室
3歳	南河内児童館（2件）、休日保育
4歳	南河内児童館
5歳	児童館（2件）、こばと園

地域子育て支援センターの1週当たりの利用は「1回」(20.7%)が最も多く、次いで「3回」(5.7%)、「2回」(5.2%)となっています。1か月当たりの利用は「1回」(26.4%)が多く、次いで「2回」・「3回」(14.5%)となっています。

その他下野市で実施している同様のサービスは1週当たりの利用は「1回」(13.0%)が多く、1か月当たりの利用は「1回」(13.0%)が多くなっています。



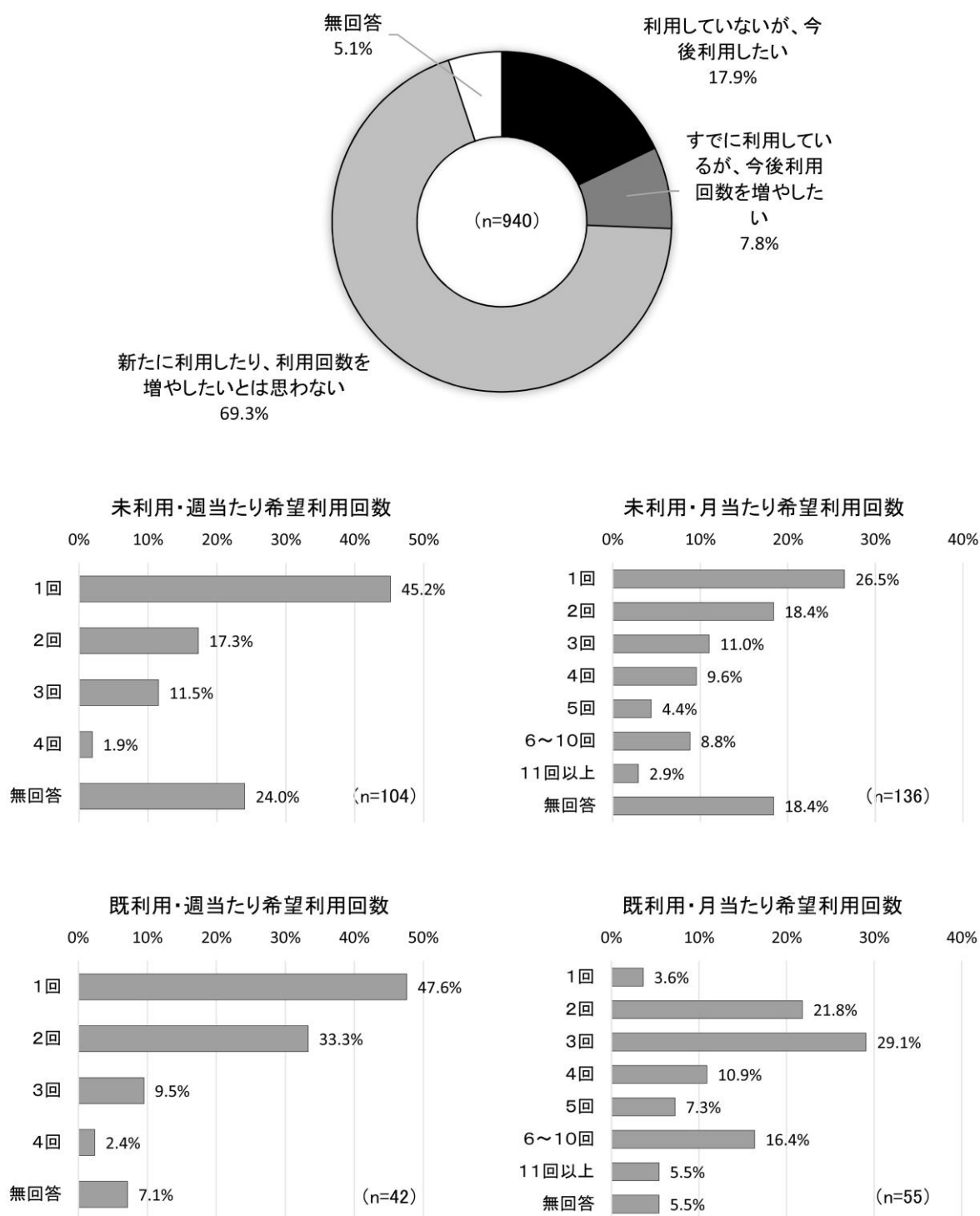


問 18 地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（SA・数量回答）

地域子育て支援センターの利用は「新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない」（69.3%）が最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」（17.9%）、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」（7.8%）となっています。

未利用者の希望利用回数は（1週当たり）は「1回」（45.2%）が最も多く、次いで「2回」（17.3%）、「3回」（11.5%）となっています。

既利用者が今後増やしたい利用回数（1週当たり）は「1回」（47.6%）が最も多く、次いで「2回」（33.3%）、「3回」（9.5%）となっています。

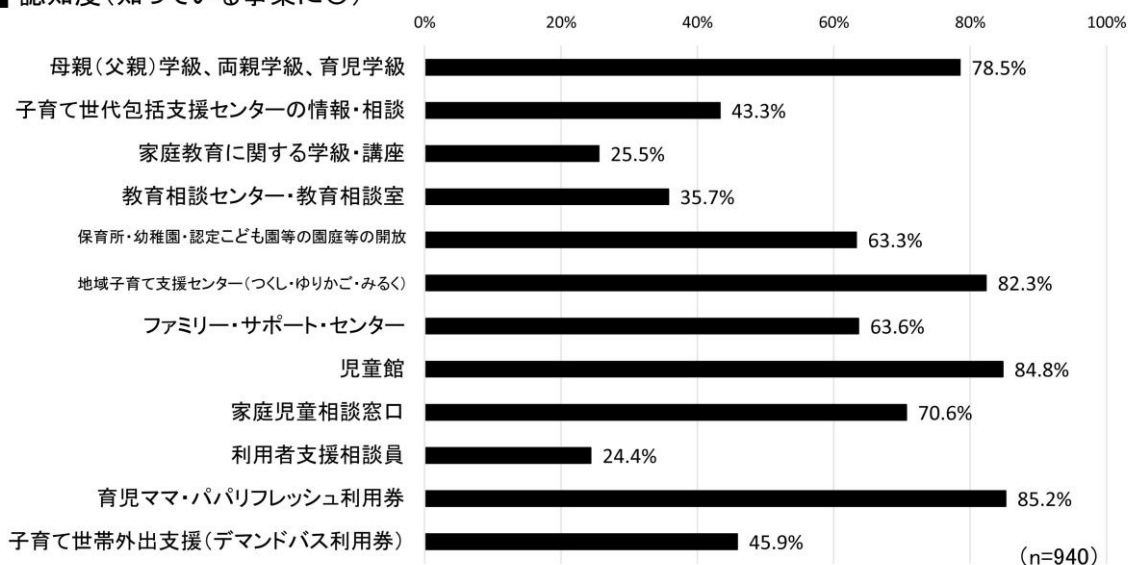


問 19 下記の事業で知っているものや、これまで利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(MA)

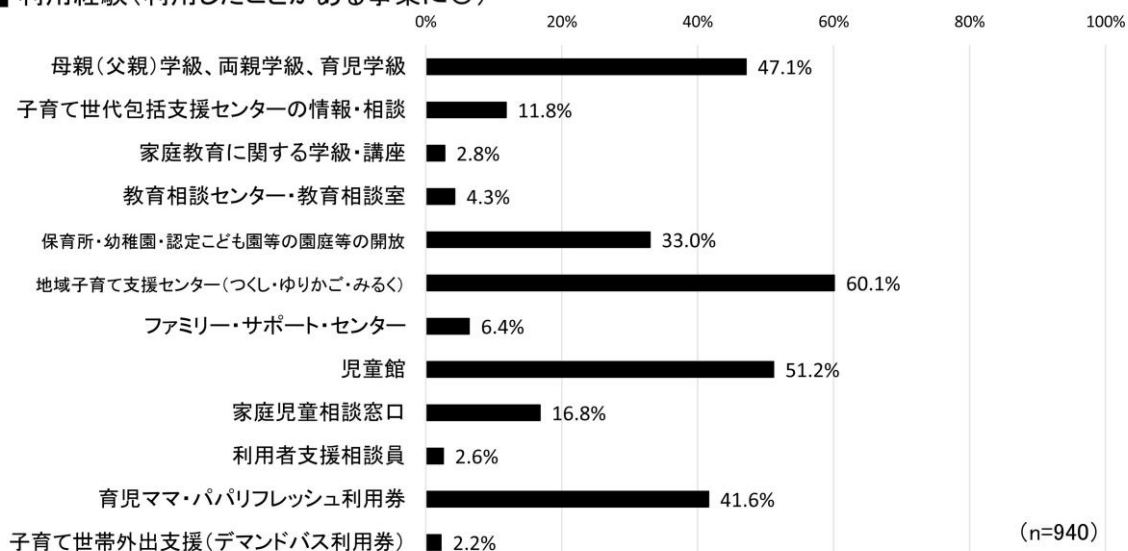
地域の子育て支援事業で「知っている」ものは「育児ママ・パパリフレッシュ利用券」(85.2%)が最も多く、次いで「児童館」(84.8%)、「地域子育て支援センター(つくし・ゆりかご・みるく)」(82.3%)となっています。

「利用したことがある」ものは、「地域子育て支援センター(つくし・ゆりかご・みるく)」(60.1%)が最も多く、次いで「児童館」(51.2%)、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(47.1%)となっています。

■ 認知度(知っている事業に○)

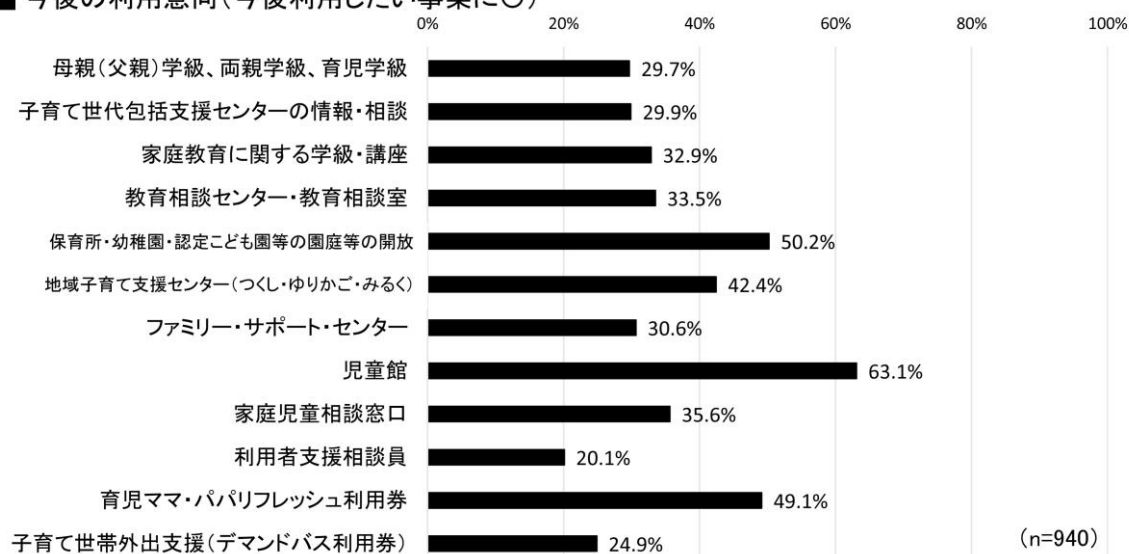


■ 利用経験(利用したことがある事業に○)



「今後利用したい」ものは、「児童館」(63.1%)が最も多く、次いで「保育所・幼稚園・認定こども園等の園庭等の開放」(50.2%)、「育児ママ・パパリフレッシュ利用券」(49.1%)となっています。

■ 今後の利用意向(今後利用したい事業に○)



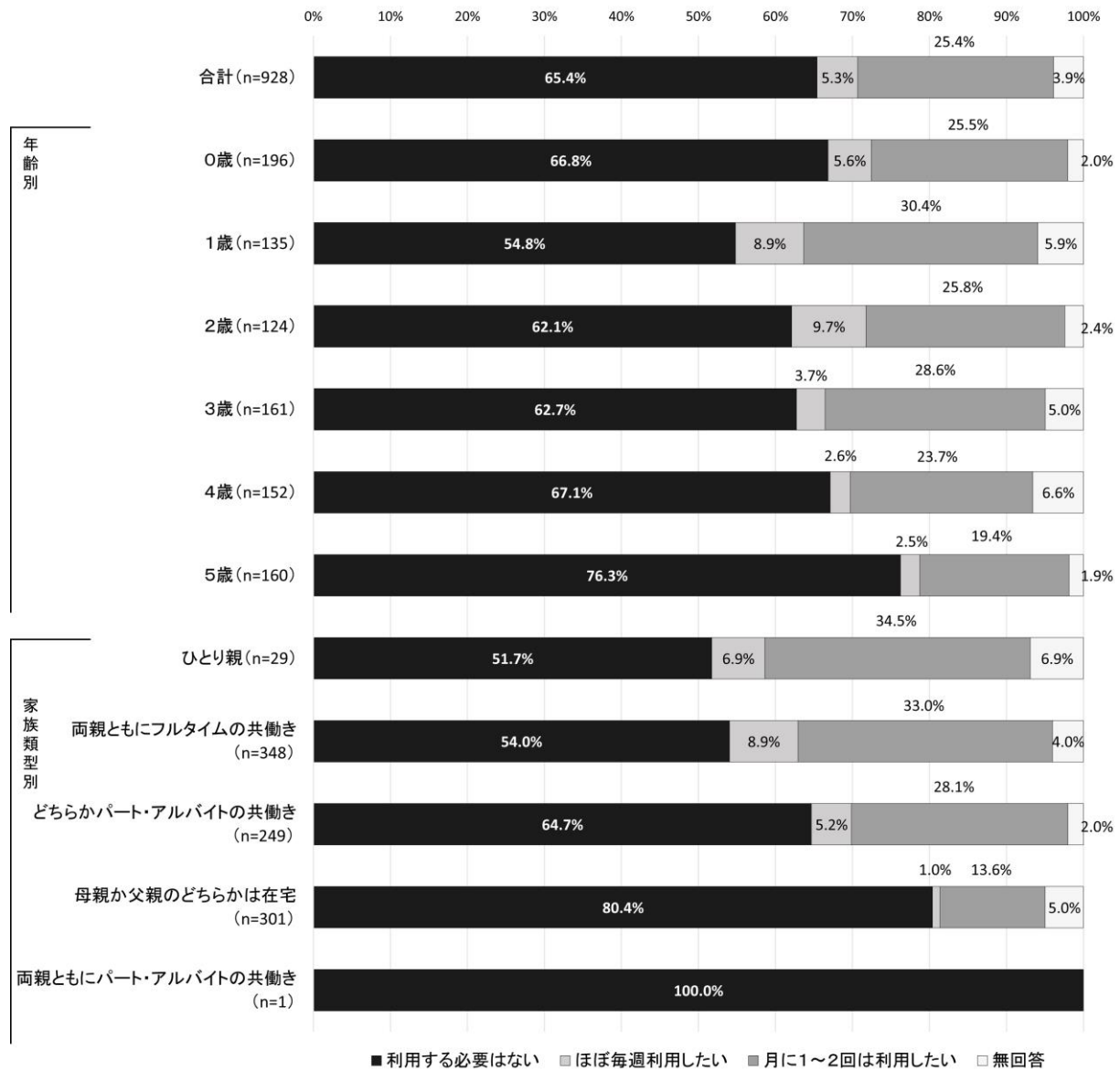
**7** お子さんの土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 20 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、それぞれで定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（SA・数量回答）

土曜日の定期的な教育・保育事業は、「利用する必要はない」（65.4%）が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」（25.4%）、「ほぼ毎週利用したい」（5.3%）となっています。

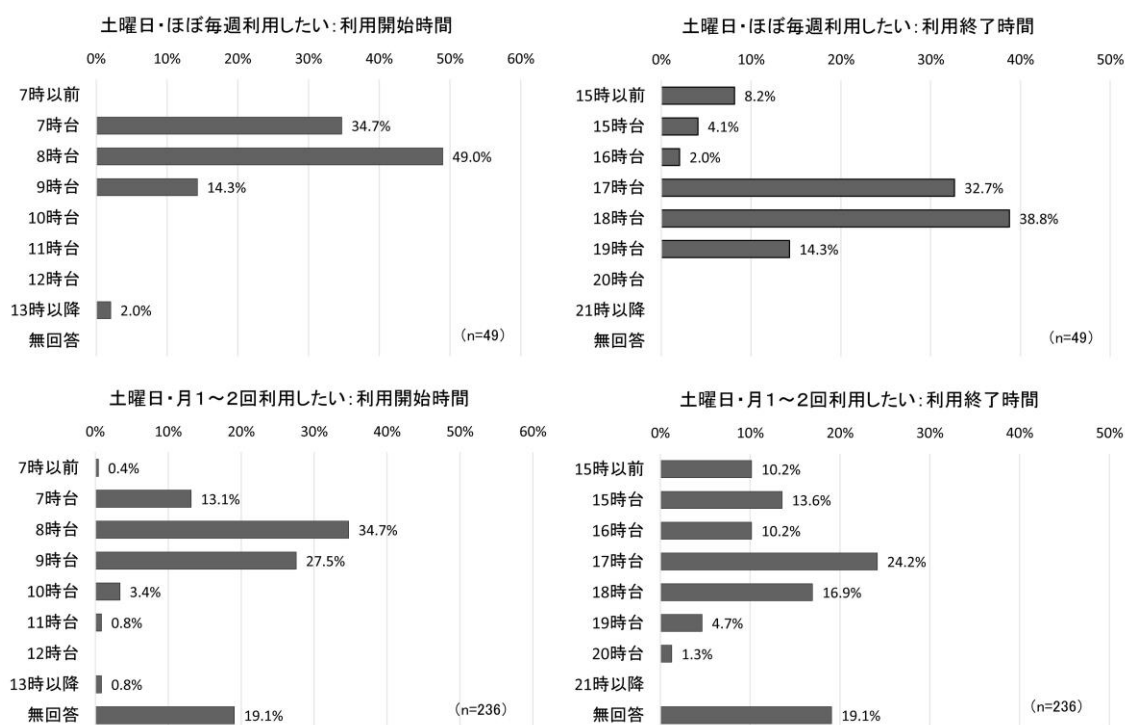
<クロス集計>

教育・保育事業の利用(土曜日)

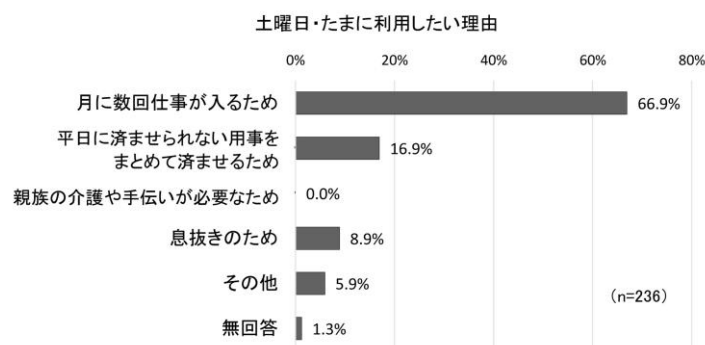


土曜日の定期的な教育・保育事業の希望開始時刻は、ほぼ毎週利用したい方の場合、「8時台」(49.0%)が最も多く、次いで「7時台」(34.7%)、「9時台」(14.3%)となっています。

希望終了時刻は、「18時台」(38.8%)が最も多く、次いで「17時台」(32.7%)、「19時台」(14.3%)となっています。



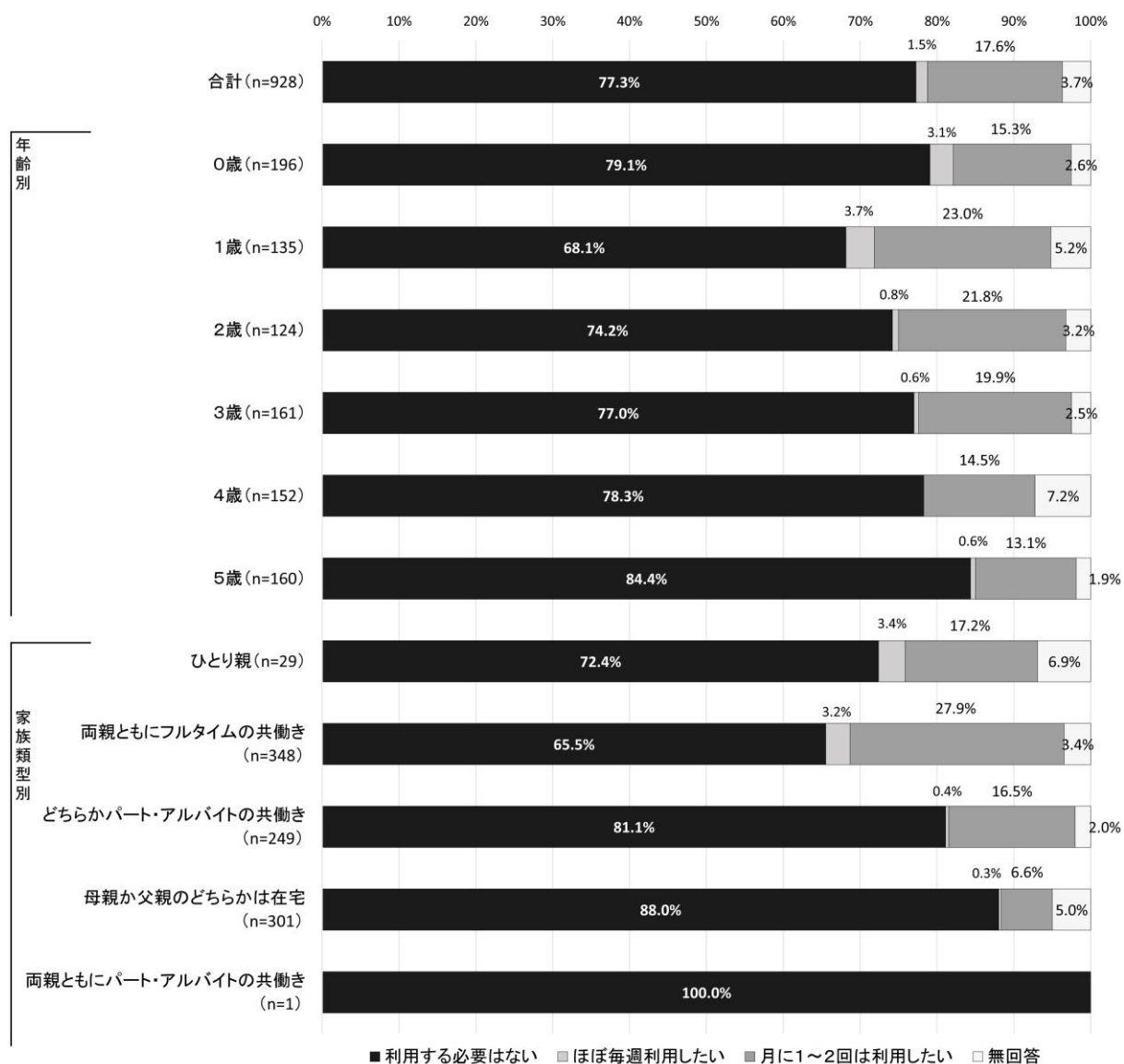
利用したい理由は「月に数回仕事が入るため」(66.9%)が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(16.9%)、「息抜きのため」(8.9%)となっています。



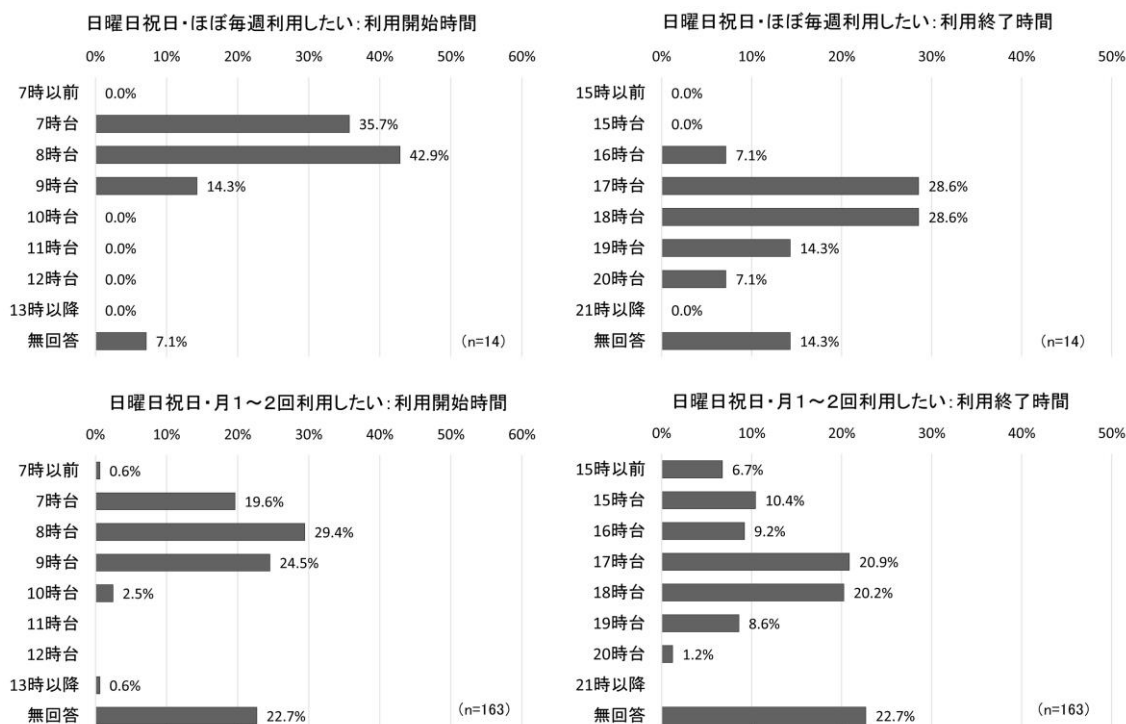
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業は、「利用する必要はない」(77.3%)が最も多く、次いで「月に1~2回は利用したい」(17.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.5%)となっています。

<クロス集計>

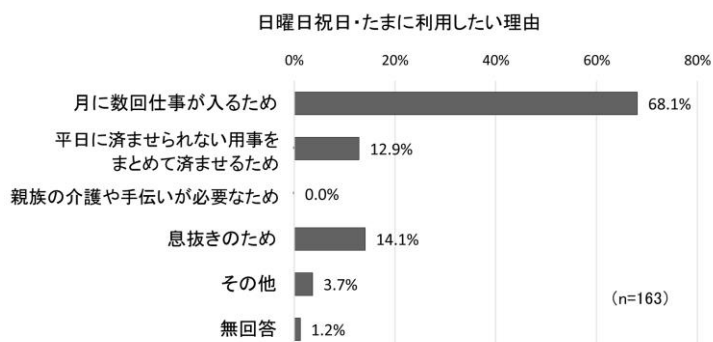
教育・保育事業の利用(日曜日・祝日)



日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望開始時刻は、ほぼ毎週利用したい方の場合、「8時台」(42.9%)が最も多く、次いで「7時台」(35.7%)、「9時台」(14.3%)となっています。希望終了時刻は、「17時台」と「18時台」が最も多く(28.6%)、次いで「19時台」(14.3%)となっています。



利用したい理由は「月に数回仕事が入るため」(68.1%)が最も多く、次いで「息抜きのため」(14.1%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(12.9%)となっています。

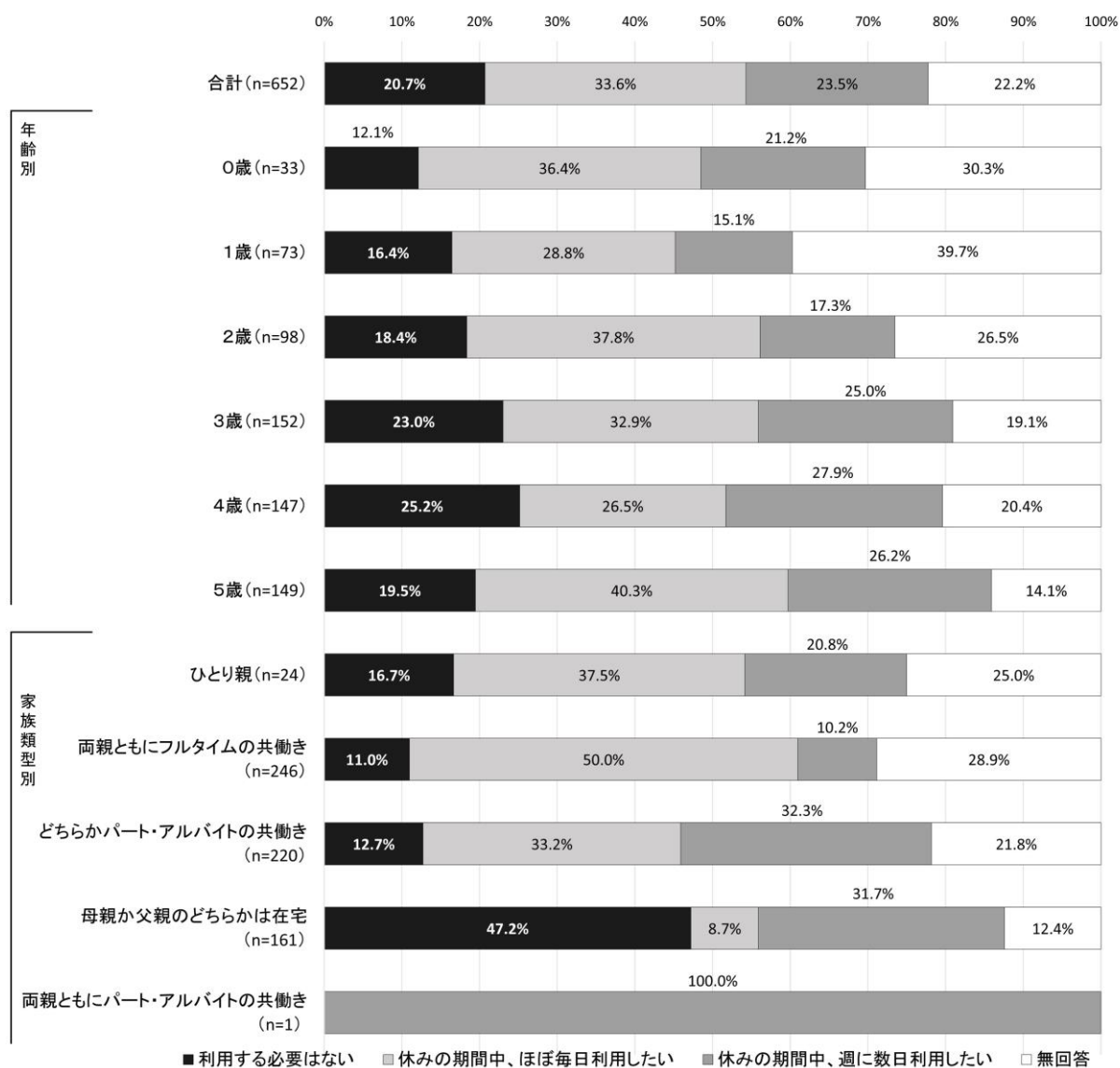


問 21 教育施設を利用している方にお伺いします。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育施設の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(SA・数量回答)

長期の休暇期間中の教育・保育事業は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(33.6%)が最も多く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」(23.5%)、「利用する必要はない」(20.7%)となっています。

<クロス集計>

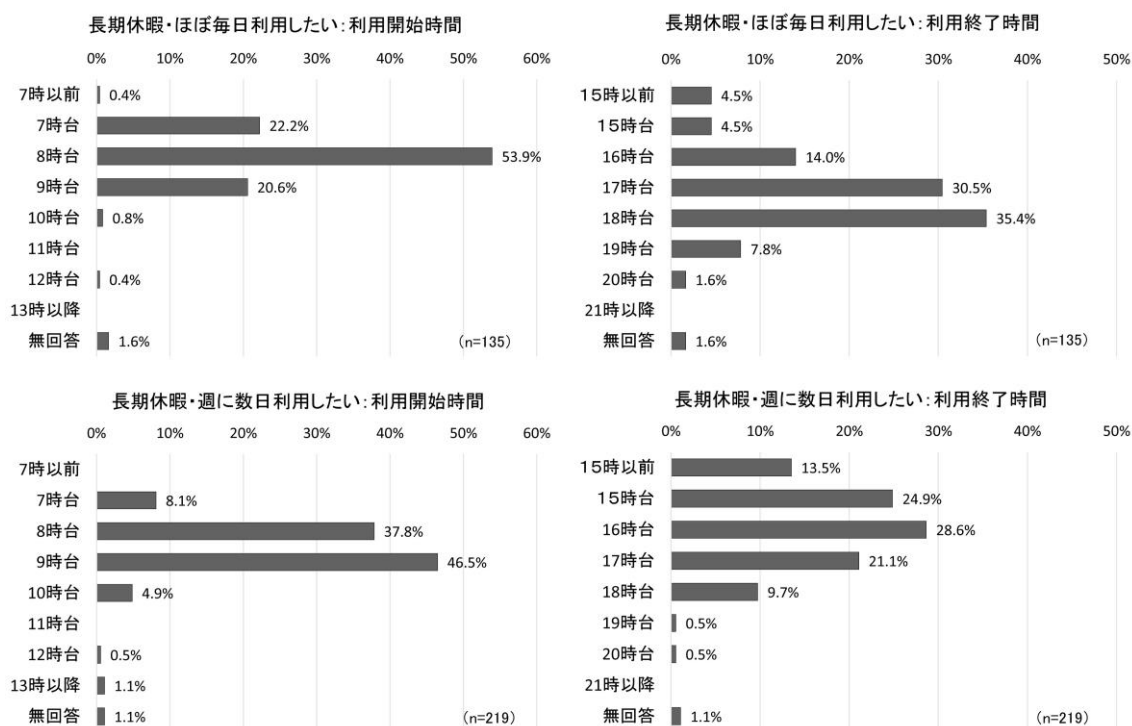
教育・保育事業の利用(長期休暇)



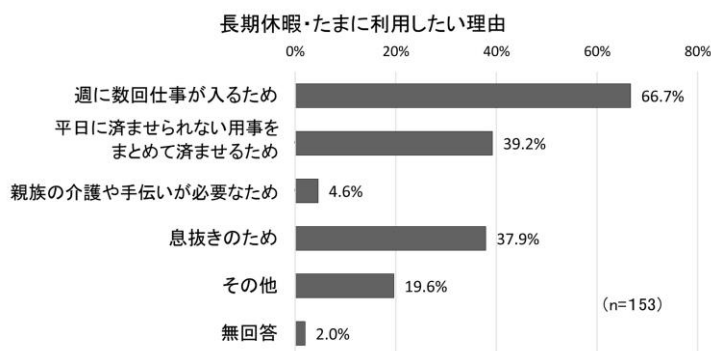


長期の休暇期間中の希望開始時刻は、ほぼ毎日利用したい場合で、「8時台」(53.9%)が最も多く、次いで「7時台」(22.2%)、「9時台」(20.6%)となっています。

希望終了時刻は、「18時台」(35.4%)が最も多く、次いで「17時台」(30.5%)、「16時台」(14.0%)となっています。



利用したい理由は「週に数回仕事が入るため」(66.7%)が最も多く、次いで「買物などの用事をまとめて済ませるため」(39.2%)、「息抜きのため」(37.9%)、となっています。



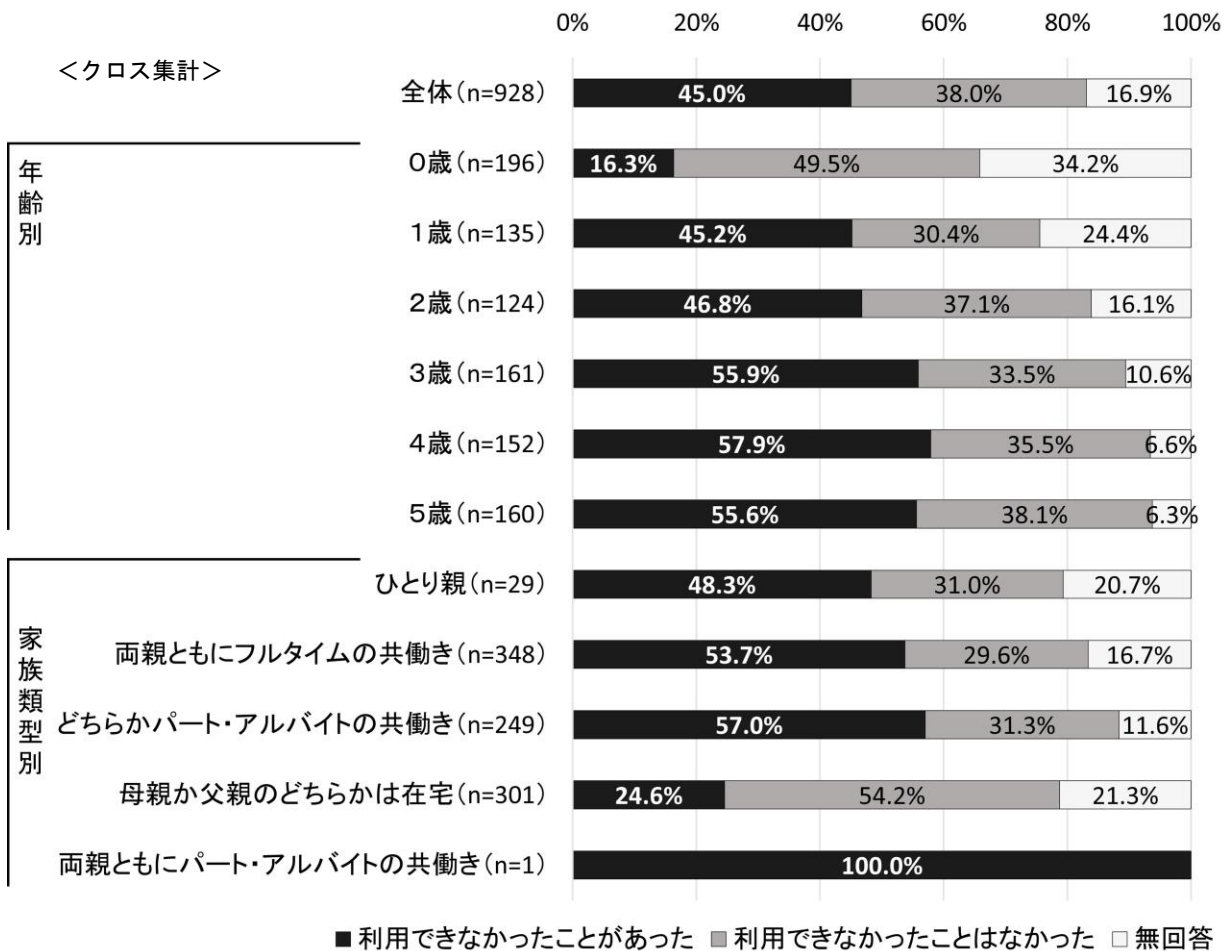
## 8 お子さんの病気の際の対応について

問 22 この1年間に、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育施設が利用できなかったことはありますか。(SA)

児童が病気やケガで普段利用している教育・保育施設が「利用できなかったことがあった」保護者の方は45.0%います。

年齢別では、4歳で「利用できなかったことがあった」が最も多く(57.9%)、次いで3歳が55.9%、5歳が55.6%となっています。

家族類型別では、「どちらかがパート・アルバイトの共働き」の家族が「利用できなかったことがあった」が最も多く(57.0%)となっています。



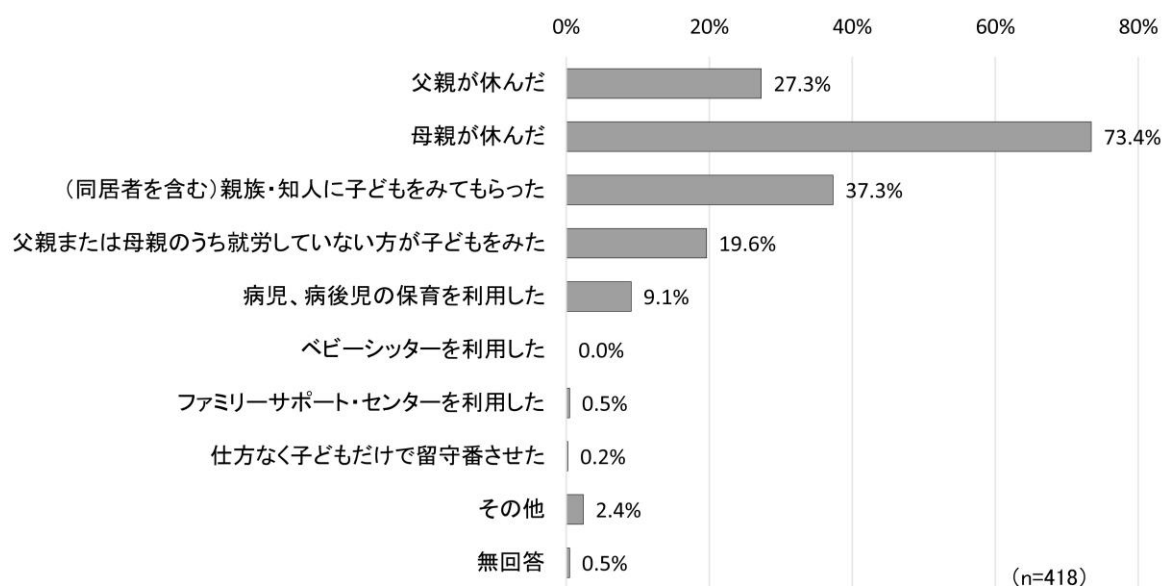
問 22-1 この1年間に、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育施設が利用できなかったとき、どのように対処しましたか。それぞれの日数もご記入ください。(MA・数量回答)

対処は、「母親が休んだ」(73.4%)が最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(37.3%)、「父親が休んだ」(27.3%)となっています。

それぞれの対処で、母親が休んだ日数は、「6～10日」(22.5%)が最も多く、次いで「5日」(17.9%)、「1日」(16.3%)となっています。父親が休んだ日数は「1日」(9.6%)と「6～10日」(9.6%)が最も多くなっています。

ファミリー・サポート・センターを利用したのは2名でした。

その他は10名で、「病後児保育施設を利用した/インフルエンザだったが、父親もインフルエンザになり仕事を休むことになったので父が対応した」などでした。



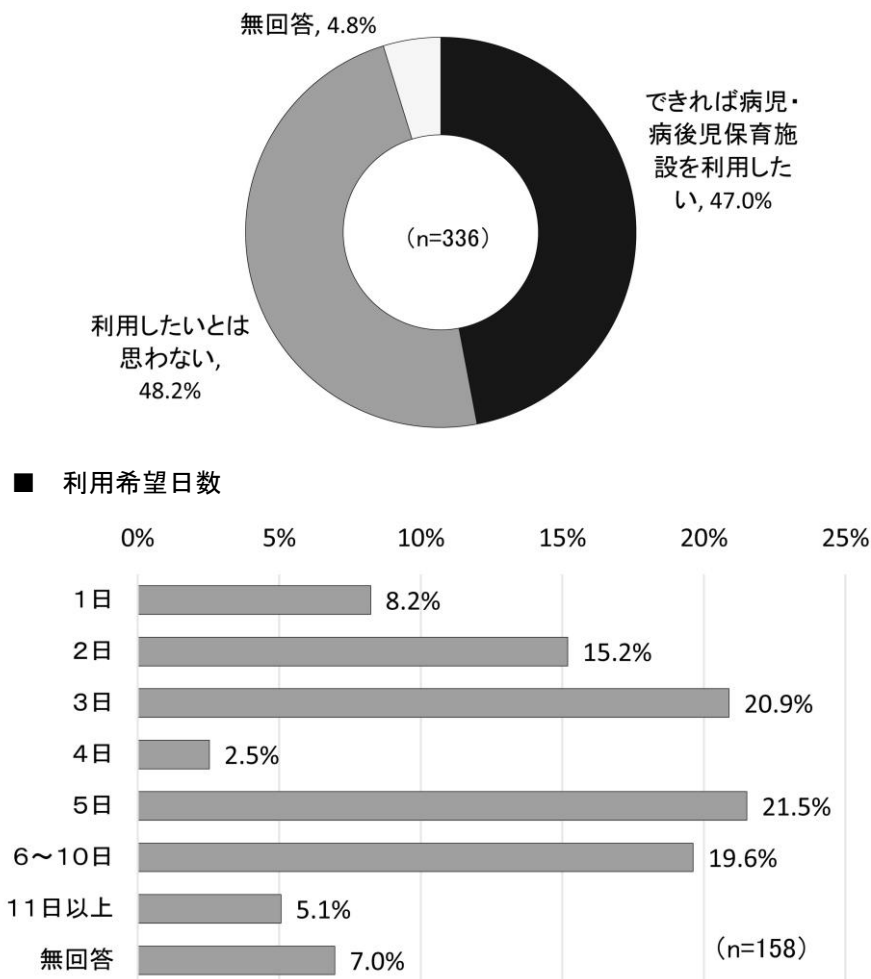
<クロス集計>

上段:件数/下段:構成比

対処に要した日数	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11日以上	無回答	総数
父親が休んだ	35 30.7%	36 31.6%	15 13.2%	2 1.8%	13 11.4%	11 9.6%	1 0.9%	1 0.9%	114 100.0%
母親が休んだ	50 16.3%	38 12.4%	39 12.7%	12 3.9%	55 17.9%	69 22.5%	32 10.4%	12 3.9%	307 100.0%
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	35 22.4%	27 17.3%	23 14.7%	8 5.1%	24 15.4%	22 14.1%	8 5.1%	9 5.8%	156 100.0%
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	5 6.1%	8 9.8%	16 19.5%	3 3.7%	12 14.6%	21 25.6%	9 11.0%	8 9.8%	82 100.0%
病児、病後児の保育を利用した	6 15.8%	5 13.2%	9 23.7%	2 5.3%	4 10.5%	8 21.1%	3 7.9%	1 2.6%	38 100.0%
ベビーシッターを利用した	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 -
ファミリーサポート・センターを利用した	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
仕方なく子どもだけで留守番させた	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
その他	2 20.0%	5 50.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%

問 22-2 問 22-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」を回答した方にお伺いします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数もご記入ください。(SA・数量回答)

父親・母親が休んだ方で病児・病後児保育施設の利用は、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」が 47.0%で、その利用日数は「5日」(21.5%)が最も多く、次いで「3日」(20.9%)、「6～10日」(19.6%)となっています。

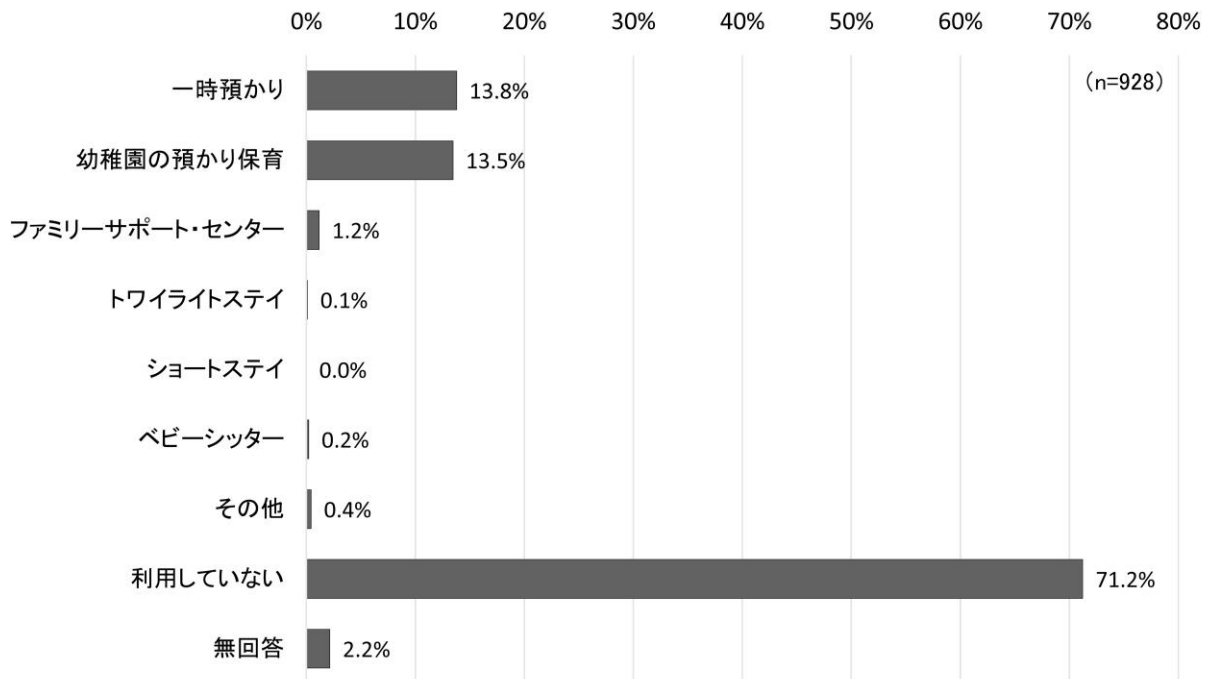


**9** お子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。1年間の利用回数(おおよそ)もご記入ください。(MA・数量回答)

不特定の教育・保育事業等の利用状況は、「利用していない」(71.2%)が最も多く、次いで「一時預かり」(13.8%)、「幼稚園の預かり保育」(13.5%)となっています。「その他」では、「職場の保育室」などがありました。

利用回数は、「5回以下」が最も多く、次いで「6～10回」となっています。



<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

	一時預かり (n=128)	幼稚園の 預かり保育 (n=125)	ファミリー サポート ・センター (n=11)	トワイライト ステイ (n=1)	ベビー シッター (n=2)	その他 (n=4)	総数 (n=928)
5回以下	58	47	7	1	1	1	115
	45.3%	37.6%	63.6%	100.0%	50.0%	25.0%	100.0%
6～10回	27	32	2	0	0	1	62
	21.1%	25.6%	18.2%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
11～20回	12	13	1	0	0	0	26
	9.4%	10.4%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
21回以上	9	19	1	0	0	1	30
	7.0%	15.2%	9.1%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%
無回答	22	14	0	0	1	1	38
	17.2%	11.2%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	100.0%

年齢別では、0～2歳では「一時預かり」の利用割合が多く、3～5歳では「幼稚園の預かり保育」が多くなっています。

家族類型別では、「両親ともにフルタイムの共働き」の家族と「母親か父親のどちらかは在宅」の家族で、「一時預かり」の利用割合が多くなっています。

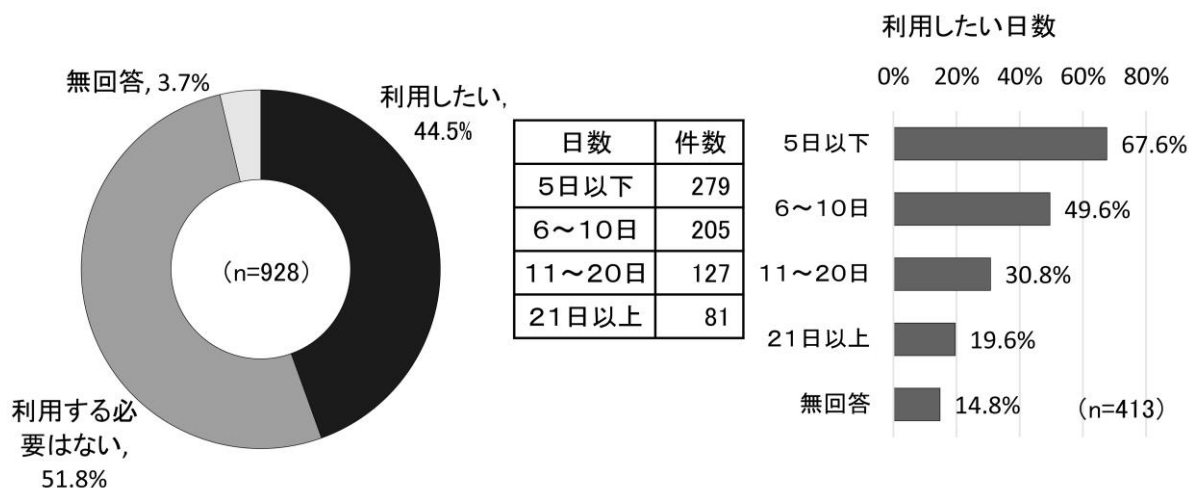
<クロス集計>

		一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	トワイライトステイ	シヨートステイ	シッター	その他	利用していない	無回答
合計 (N=952)		13.4%	13.1%	1.2%	0.1%	0.0%	0.2%	0.4%	69.4%	2.1%
年齢別	0歳 (N=208)	18.8%	5.8%	1.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	70.7%	3.4%
	1歳 (N=139)	26.6%	1.4%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	67.6%	1.4%
	2歳 (N=125)	15.2%	8.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.8%	0.8%
	3歳 (N=166)	6.0%	19.9%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	70.5%	1.2%
	4歳 (N=152)	7.2%	21.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	66.4%	3.3%
	5歳 (N=162)	7.4%	21.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%	68.5%	1.9%
家族類型別	ひとり親 (N=31)	16.1%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.3%	0.0%
	両親ともにフルタイムの共働き (N=354)	10.2%	5.9%	0.8%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	79.1%	3.4%
	どちらかパート・アルバイトの共働き (N=251)	6.8%	15.1%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	73.7%	1.6%
	母親か父親のどちらかは在宅 (N=315)	22.2%	18.4%	1.3%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	56.2%	1.3%
	両親ともにパート・アルバイトの共働き (N=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

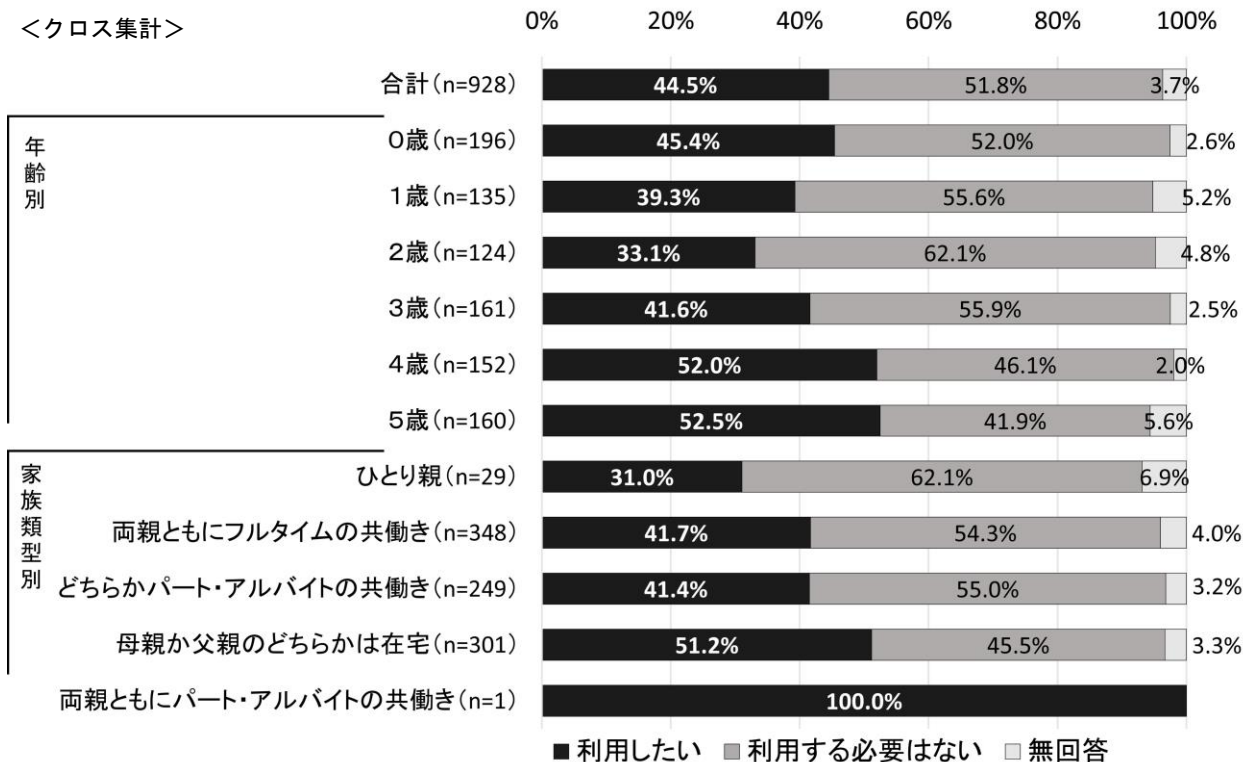
Nは、各系列の回答総数(MA)を示し、構成比は、Nを母数とした。

問 24 お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。(SA・MA・数量回答)

私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定の教育・保育施設や宿泊を伴う一時預かり等の利用希望は、「利用する必要はない」(51.8%)が最も多く、「利用したい」は44.5%でした。利用したい日数は、「5日以下」(67.6%)が最も多く、次いで「6～10日」(49.6%)、「11～20日」(30.8%)、「21日以上」(19.6%)、「無回答」(14.8%)でした。

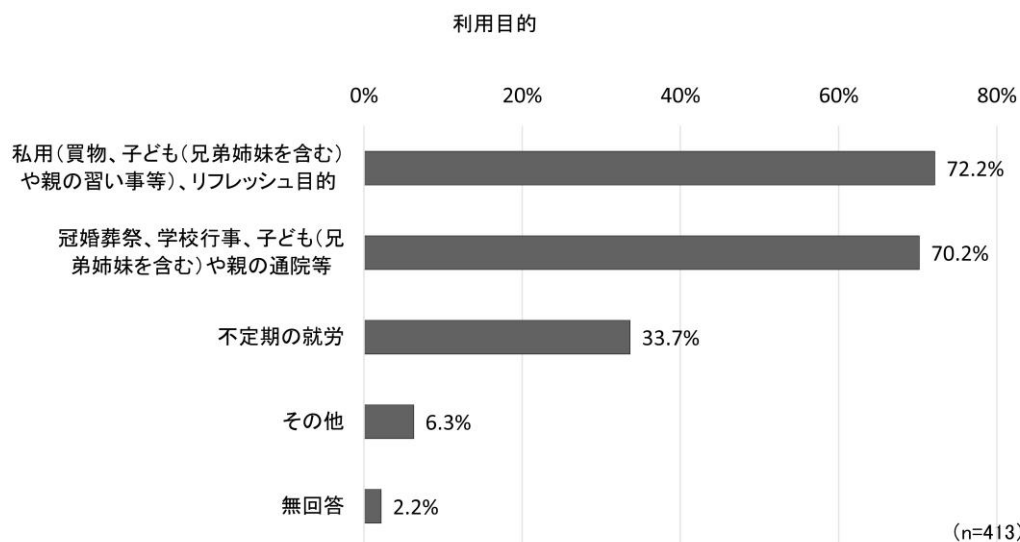


子どもの年齢別では、0歳～3歳では「利用する必要はない」が50%以上を占めています。家族類型別では、「母親か父親のどちらかは在宅」の家庭で「利用したい」(51.2%)が最も多くなっています。



「利用したい」の目的は「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（72.2%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（70.2%）となっています。

必要な日数は、いずれも「5日以下」が最も多くなっています。



<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

	私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 (N=298)	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 (N=290)	不定期の就労 (N=139)	その他 (N=26)
(N=753)				
5日以下	87 29.2%	141 48.6%	45 32.4%	6 23.1%
6～10日	82 27.5%	85 29.3%	34 24.5%	4 15.4%
11～20日	64 21.5%	40 13.8%	19 13.7%	4 15.4%
21日以上	44 14.8%	10 3.4%	26 18.7%	1 3.8%
無回答	21 7.0%	14 4.8%	15 10.8%	11 42.3%



年齢別では、0歳、1歳では「私用」での利用希望が多く、2～4歳では「冠婚葬祭」での利用希望が多くなっています。

家族類型別では、「ひとり親」家族と「両親ともにフルタイムの共働き」家族で「私用」での利用が多く、「どちらかがパート・アルバイトの共働き」と「母親か父親のどちらかは在宅」家族で、「冠婚葬祭」での利用希望が多くなっています。

<クロス集計>

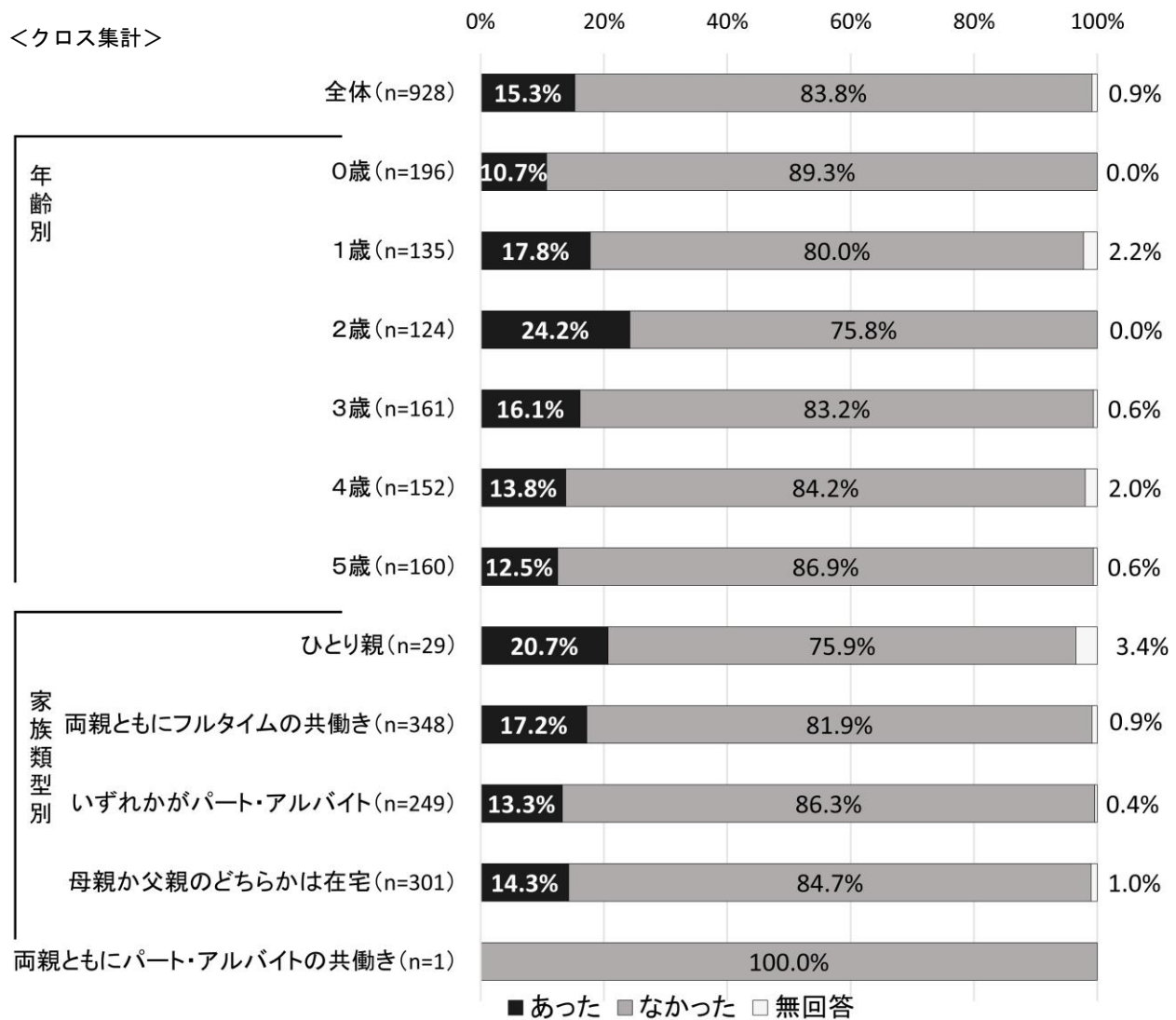
		私用	冠婚葬祭	不定期の就労	その他
合計 (N=703)		40.0%	40.1%	17.8%	2.1%
年齢別	0歳 (N=164)	45.7%	39.0%	12.8%	2.4%
	1歳 (N=135)	41.5%	40.7%	14.8%	3.0%
	2歳 (N=107)	39.3%	42.1%	15.9%	2.8%
	3歳 (N=100)	38.0%	41.0%	20.0%	1.0%
	4歳 (N=102)	33.3%	40.2%	24.5%	2.0%
	5歳 (N=95)	37.9%	37.9%	23.2%	1.1%
家庭類型別	ひとり親 (N=50)	46.0%	38.0%	12.0%	4.0%
	両親ともにフルタイムの共働き (N=288)	42.7%	40.3%	14.9%	2.1%
	どちらかがパート・アルバイトの共働き (N=178)	38.2%	41.0%	18.5%	2.2%
	母親か父親のどちらかは在宅 (N=184)	35.9%	39.7%	23.4%	1.1%
	両親ともにパート・アルバイトの共働き (N=3)	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%

Nは、各系列の回答総数(MA)を示し、構成比は、Nを母数とした。

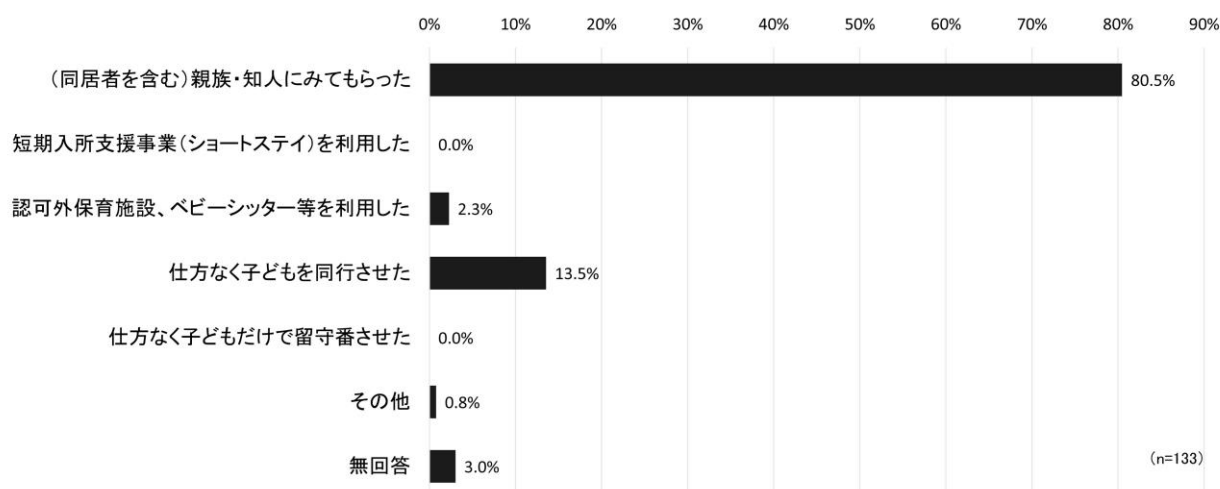
問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの回数をご記入ください。（SA・MA・数量回答）

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならないことが「あった」は15.3%、「なかった」は83.8%となっています。

「あった」は、年齢別では2歳児の保護者がやや多く（24.2%）、家庭類型別ではひとり親家庭がやや多く（17.2%）となっています。



対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(80.5%) が最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」(13.5%)、「認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した」(2.3%) となっています。



<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

		(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	短期入所支援事業(ショートステイ)を利用した	認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番させた	その他	無回答
全体(N=133)		107 80.5%	0 0.0%	3 2.3%	18 13.5%	0 0.0%	1 0.8%	4 3.0%
年齢別	0歳(N=23)	18 78.3%	0 0.0%	1 4.3%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%
	1歳(N=18)	15 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%
	2歳(N=32)	28 87.5%	0 0.0%	1 3.1%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	3歳(N=22)	16 72.7%	0 0.0%	1 4.5%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%
	4歳(N=21)	16 76.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 19.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%
	5歳(N=17)	14 82.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%
	家族類型別	ひとり親(N=6)	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
両親ともにフルタイムの共働き(N=58)		45 77.6%	0 0.0%	3 5.2%	9 15.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
どちらかパート・アルバイトの共働き(N=29)		24 82.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 13.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%
母親か父親のどちらかは在宅(N=40)		33 82.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.0%

Nは、各系列の回答総数(MA)を示し、構成比は、Nを母数とした。

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならないことがあった方の泊数は、5泊以下が最も多くなっています。

<クロス集計>

(上段:件数/下段:構成比)

	(同居者を含む) 親族・知人にみ てもらった (N=107)	短期入所支援 事業(ショートス テイ)を利用した (N=0)	認可外保育園 事業、ベビー シッター等を利用した (N=3)	仕方なく子ども を同行させた (N=18)	仕方なく子ども だけで留守番さ せた (N=0)	その他 (N=1)	無回答 (N=4)
5泊以下	84	0	3	15	0	1	0
	78.5%	0.0%	100.0%	83.3%	0.0%	100.0%	0.0%
6～10泊	15	0	0	2	0	0	0
	14.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
11～20泊	7	0	0	0	0	0	0
	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20泊以上	1	0	0	1	0	0	0
	0.9%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	4
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

## 10 小学校入学後の過ごし方について

問 26 お子さんについて、小学校入学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。①小学校 1～3 年生②小学校 4～6 年生の両方についてあてはまる過ごし方を選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」の場合には希望する時間も記入してください。

（MA、数量回答）

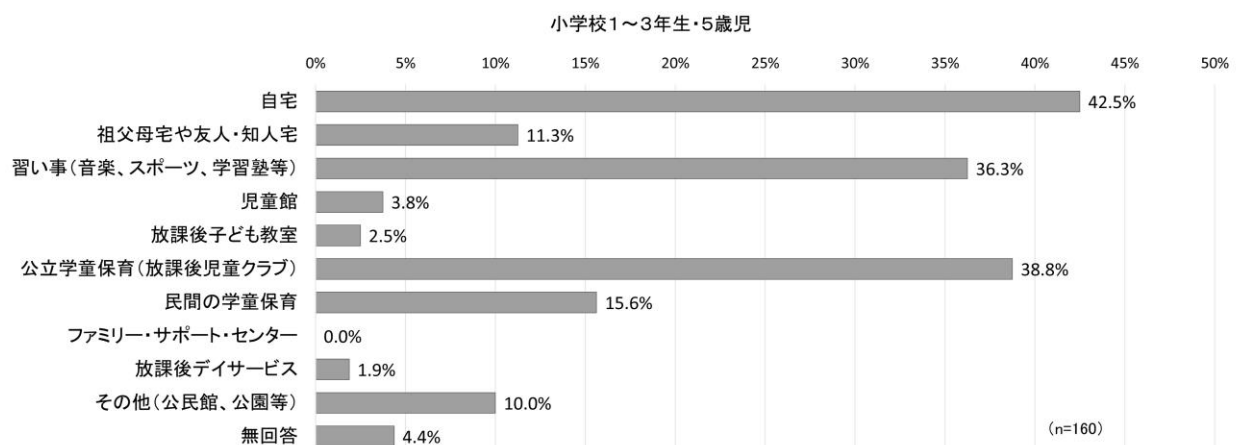
（1）平成 3 1 年度入学予定児（5 歳児）の学童保育の利用意向

### ①小学校 1～3 年生

小学校入学後の平日の放課後の過ごし方は、「自宅」（42.5%）が最も多く、次いで「公立学童保育（放課後児童クラブ）」（38.8%）、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（36.3%）となっています。

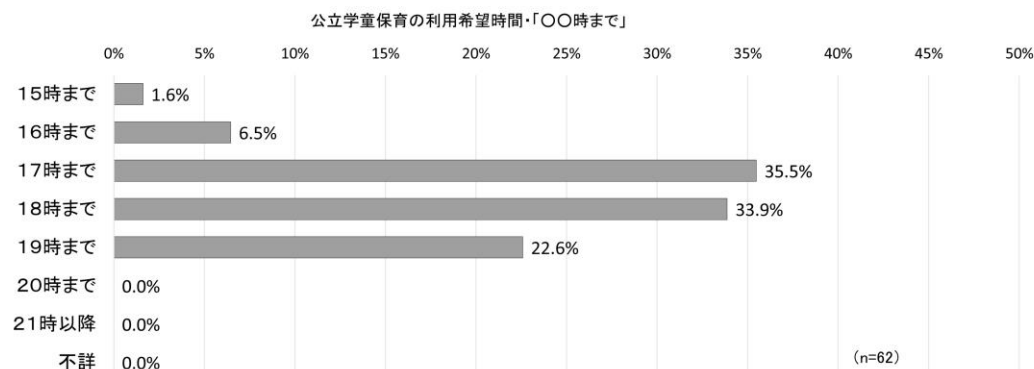
自宅や学童保育は、週に 5 日の利用希望が多く、それ以外は 1～2 日程度を希望しています。

公立学童保育（放課後児童クラブ）の希望時間は、「17 時まで」（35.5%）が最も多く、次いで「18 時まで」（33.9%）、「19 時まで」（22.6%）となっています。



（上段：件数／下段：構成比）

	自宅 (n=68)	祖父母宅や 友人・知人宅 (n=18)	習い事 (音楽、 スポーツ、学習塾 等) (n=58)	児童館 (n=6)	放課後子ども教 室 (n=4)	公立学童保育 (放 課後児童クラブ) (n=62)	民間の学童保育 (n=25)	ファミリー・サポ ート・センター (n=0)	放課後 デイサービス (n=3)	その他 (公民館、 公園等) (n=16)
1 日	6 8.8%	10 55.6%	21 36.2%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%
2 日	9 13.2%	4 22.2%	22 37.9%	1 16.7%	1 25.0%	3 4.8%	2 8.0%	0 0.0%	2 66.7%	7 43.8%
3 日	17 25.0%	2 11.1%	12 20.7%	0 0.0%	1 25.0%	7 11.3%	1 4.0%	0 0.0%	1 33.3%	5 31.3%
4 日	3 4.4%	0 0.0%	2 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 8.1%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
5 日	31 45.6%	2 11.1%	1 1.7%	1 16.7%	2 50.0%	47 75.8%	19 76.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%
6 日	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
7 日	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%



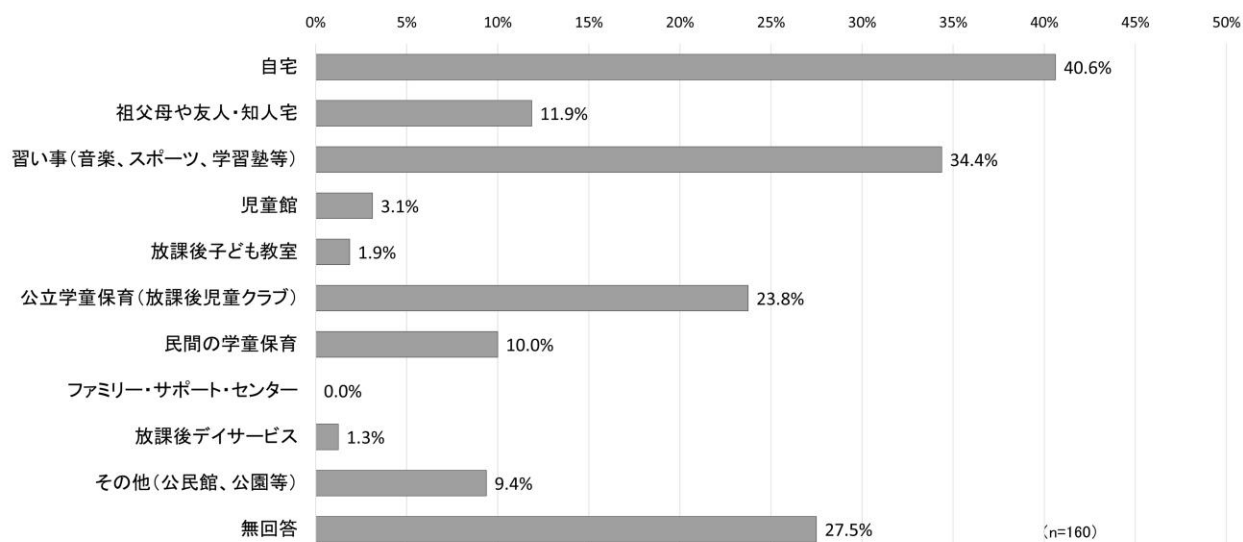
## ②小学校4～6年生

小学校4～6年生になった時の平日の放課後の過ごし方は、「自宅」(40.6%)が最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」(34.4%)、「公立学童保育(放課後児童クラブ)」(23.8%)となっています。

自宅や学童保育は、週に5日の利用希望が多く、それ以外は1～3日程度を希望しています。

公立学童保育(放課後児童クラブ)の希望時間は、「18時まで」(34.2%)が最も多く、次いで「17時まで」(31.6%)、「19時まで」(28.9%)となっています。

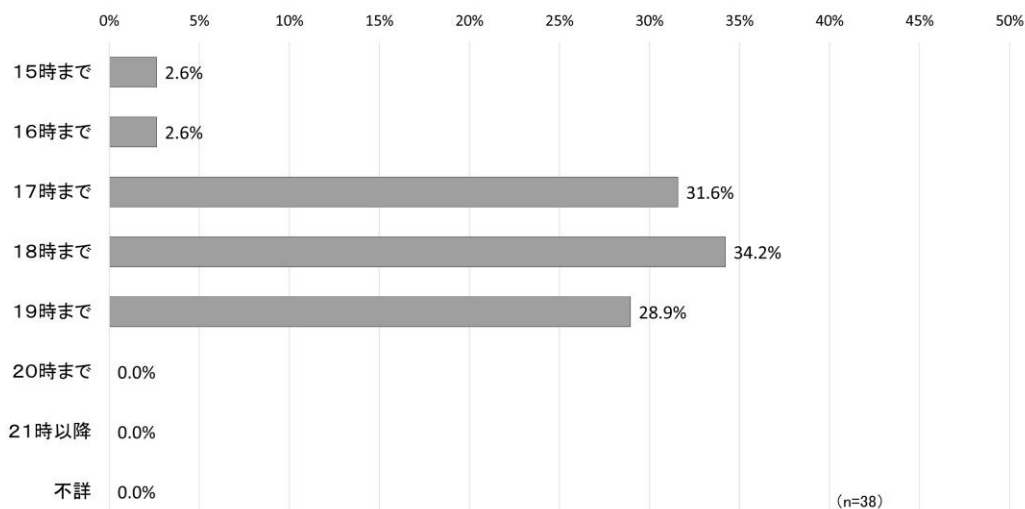
小学校4～6年生・5歳児



(上段:件数/下段:構成比)

	自宅 (n=65)	祖父母や 友人・知人宅 (n=19)	習い事(音楽、 スポーツ、学習塾 等) (n=55)	児童館 (n=5)	放課後子ども教 室 (n=3)	公立学童保育 (放 課後児童クラブ) (n=38)	民間の学童保育 (n=16)	ファミリー・サポー ト・センター (n=0)	放課後 デイサービス (n=2)	その他(公民館、 公園等) (n=15)
1日	11 16.9%	10 52.6%	6 10.9%	4 80.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%
2日	11 16.9%	4 21.1%	28 50.9%	1 20.0%	2 66.7%	2 5.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 50.0%	3 20.0%
3日	12 18.5%	2 10.5%	15 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 13.2%	4 25.0%	0 0.0%	1 50.0%	8 53.3%
4日	4 6.2%	0 0.0%	6 10.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%
5日	25 38.5%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 78.9%	9 56.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
6日	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
7日	2 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

公立学童保育の利用希望時間・「〇〇時まで」



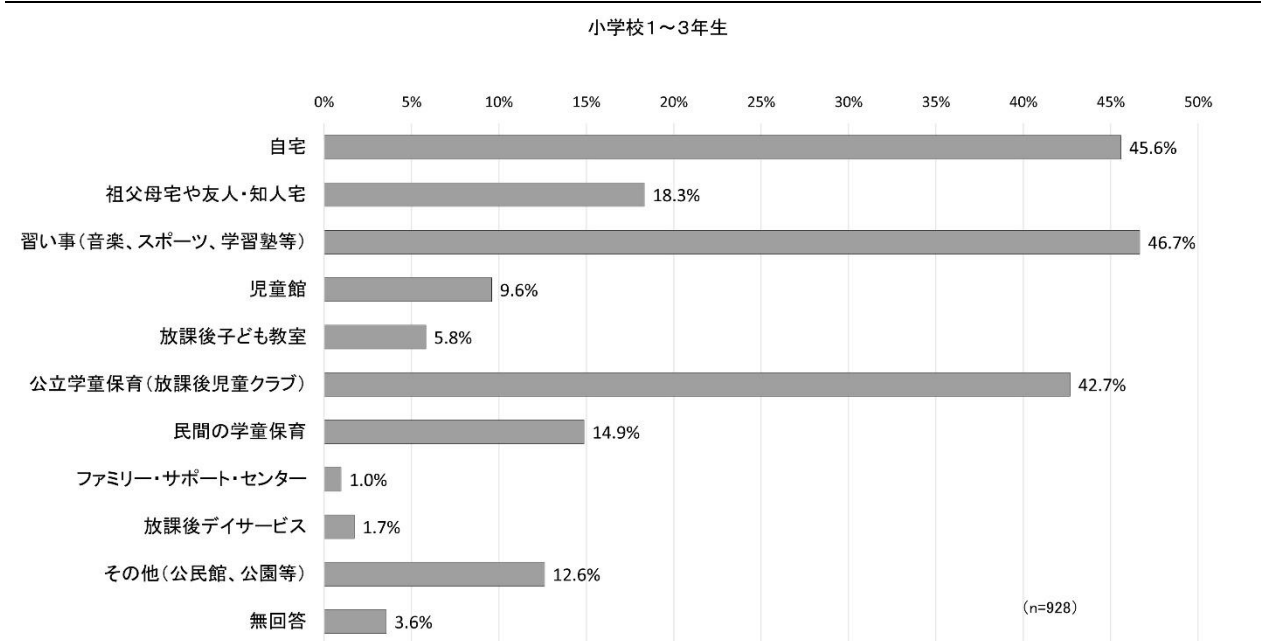
## (2) 0～5歳児すべての学童保育の利用意向

### ①小学校1～3年生

小学校入学後の平日の放課後の過ごし方は、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（46.7%）が最も多く、次いで「自宅」（45.6%）、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」（42.7%）となっています。

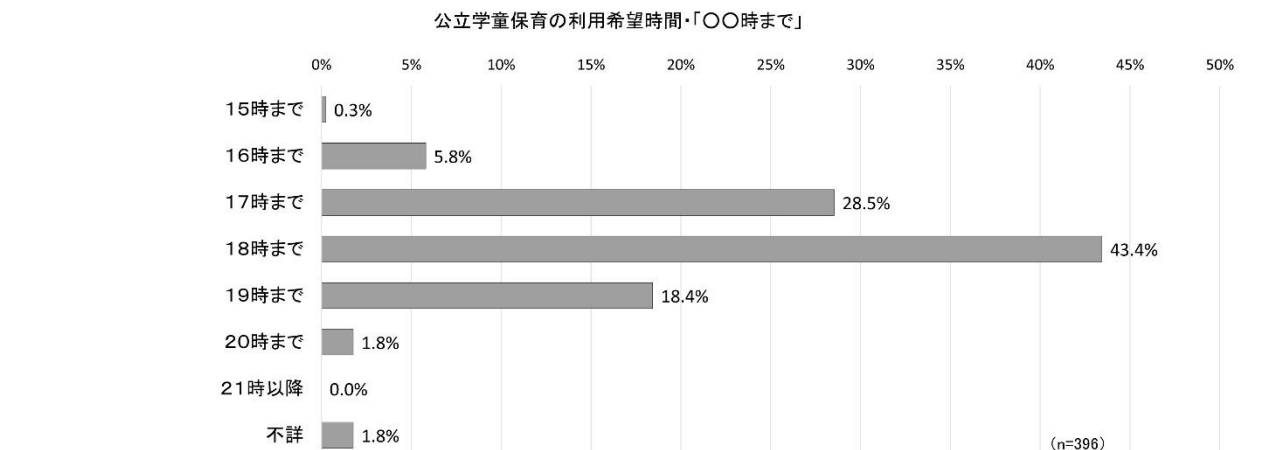
自宅や学童保育は、週に5日の利用希望が多く、それ以外は1～2日程度を希望しています。

公立学童保育（放課後児童クラブ）の希望時間は、「18時まで」（43.4%）が最も多く、次いで「17時まで」（28.5%）、「19時まで」（18.4%）となっています。



(上段: 件数 / 下段: 構成比)

	自宅 (n=423)	祖父母宅や 友人・知人宅 (n=170)	習い事(音楽、 スポーツ、学習塾 等) (n=433)	児童館 (n=89)	放課後子ども教 室 (n=54)	公立学童保育 (放 課後児童クラブ) (n=396)	民間の学童保育 (n=138)	ファミリー・サポ ート・センター (n=9)	放課後 デイサービス (n=16)	その他(公民館、 公園等) (n=117)
1日	39 9.2%	76 44.7%	154 35.6%	29 32.6%	22 40.7%	15 3.8%	8 5.8%	5 55.6%	7 43.8%	33 28.2%
2日	103 24.3%	46 27.1%	200 46.2%	25 28.1%	12 22.2%	41 10.4%	11 8.0%	3 33.3%	2 12.5%	46 39.3%
3日	92 21.7%	13 7.6%	67 15.5%	13 14.6%	7 13.0%	53 13.4%	12 8.7%	1 11.1%	5 31.3%	23 19.7%
4日	35 8.3%	0 0.0%	7 1.6%	1 1.1%	0 0.0%	30 7.6%	5 3.6%	0 0.0%	0 6.3%	3 2.6%
5日	140 33.1%	32 18.8%	5 1.2%	18 20.2%	11 20.4%	253 63.9%	97 70.3%	0 0.0%	0 0.0%	11 9.4%
6日	1 0.2%	2 1.2%	0 0.0%	3 3.4%	2 3.7%	4 1.0%	4 2.9%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%
7日	13 3.1%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%



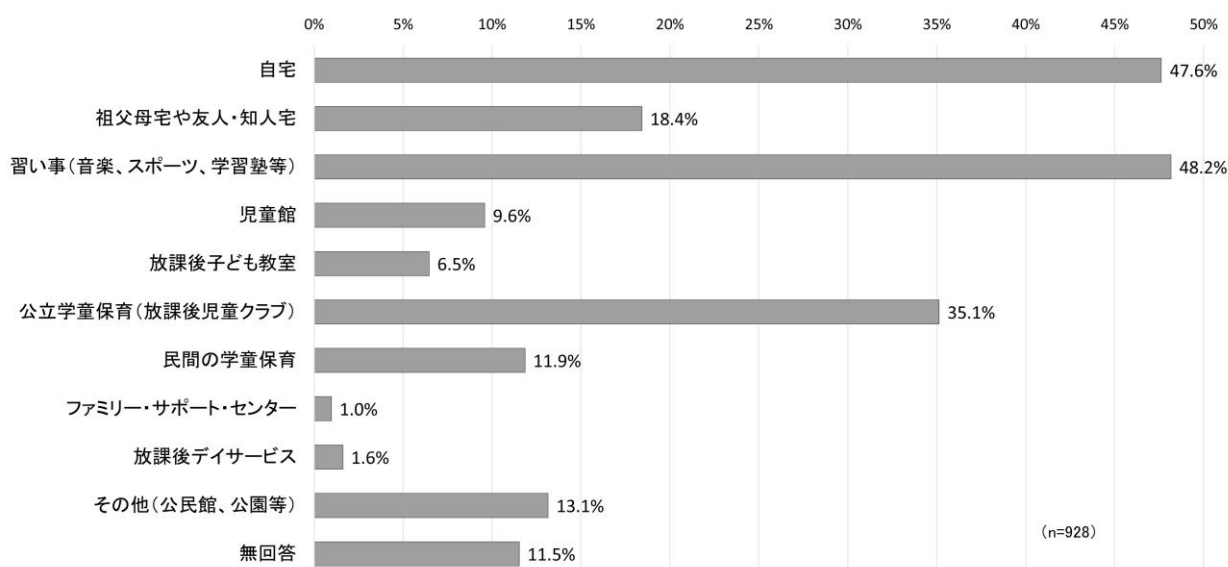
## ②小学校4～6年生

小学校4～6年生になった時の平日の放課後の過ごし方は、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（48.2%）が最も多く、次いで「自宅」（47.6%）、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」（35.1%）となっています。

自宅や学童保育は、週に5日の利用希望が多く、それ以外は1～2日程度を希望しています。

公立学童保育（放課後児童クラブ）の希望時間は、「18時まで」（44.5%）が最も多く、次いで「17時まで」（24.8%）、「19時まで」（21.5%）となっています。

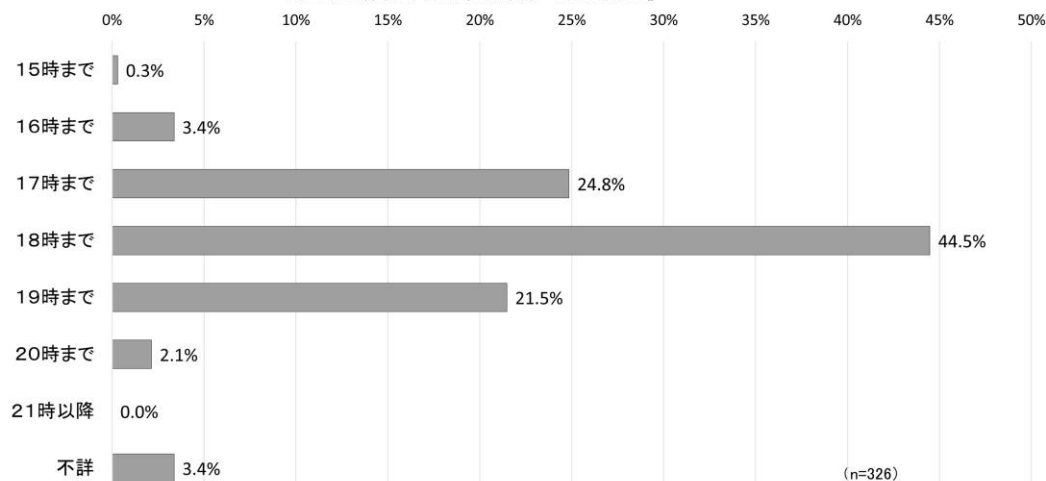
小学校4～6年生



(上段:件数/下段:構成比)

	自宅 (n=442)	祖父母宅や 友人・知人宅 (n=171)	習い事(音楽、 スポーツ、学習塾 等) (n=447)	児童館 (n=89)	放課後子ども教 室 (n=60)	公立学童保育 (放 課後児童クラブ) (n=326)	民間の学童保育 (n=110)	ファミリー・サポー ト・センター (n=9)	放課後 デイサービス (n=15)	その他(公民館、 公園等) (n=122)
1日	72 16.3%	74 43.3%	81 18.1%	35 39.3%	31 51.7%	18 5.5%	8 7.3%	5 55.6%	8 53.3%	36 29.5%
2日	108 24.4%	44 25.7%	226 50.6%	24 27.0%	15 25.0%	35 10.7%	10 9.1%	1 11.1%	1 6.7%	35 28.7%
3日	86 19.5%	19 11.1%	109 24.4%	10 11.2%	3 5.0%	52 16.0%	14 12.7%	3 33.3%	4 26.7%	33 27.0%
4日	30 6.8%	1 0.6%	23 5.1%	1 1.1%	1 1.7%	27 8.3%	5 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	9 7.4%
5日	133 30.1%	31 18.1%	8 1.8%	16 18.0%	8 13.3%	190 58.3%	70 63.6%	0 0.0%	1 6.7%	8 6.6%
6日	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	3 3.4%	2 3.3%	4 1.2%	3 2.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
7日	13 2.9%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%

公立学童保育の利用希望時間・「〇〇時まで」

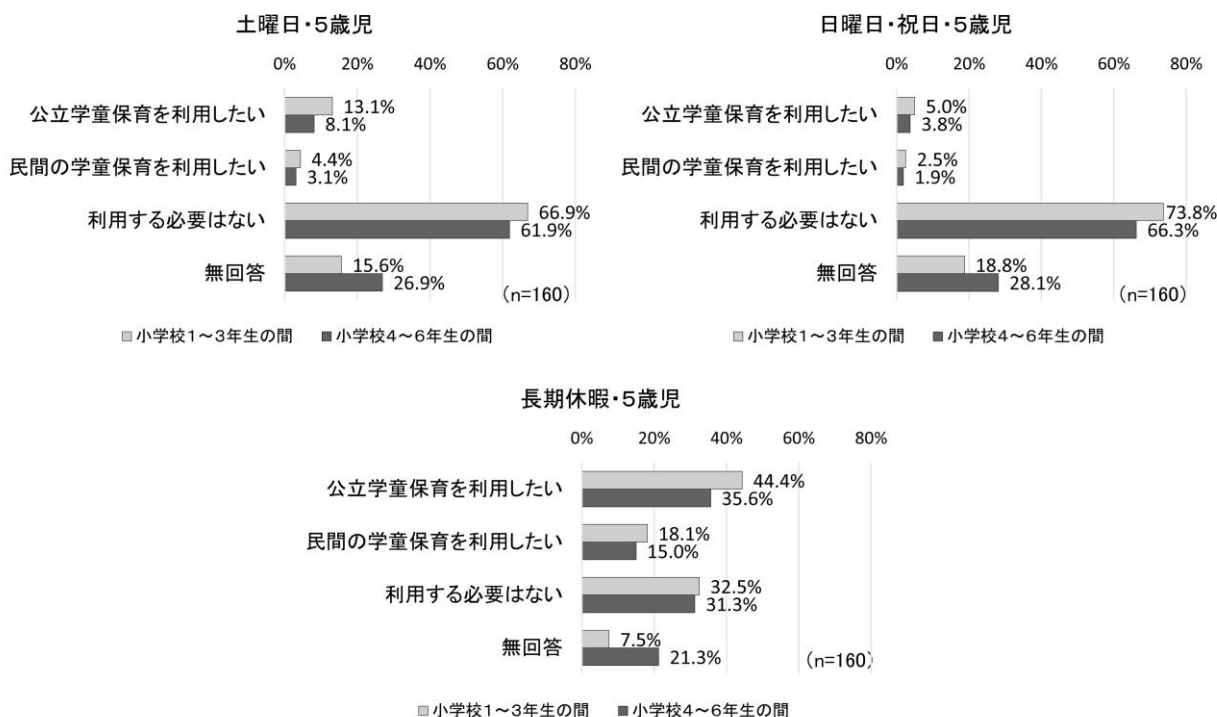




問 27 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や長期の休暇期間中（夏休み・冬休み）に公立学童保育か民間の学童保育の利用希望はありますか。（MA）

（1）平成 31 年度入学予定児（5 歳児）の土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の学童保育の利用意向

小学校 1～3 年生、4～6 年生ともに土曜日、日曜日・祝日では学童保育の「利用する必要がない」が最も多く 60%以上を占めていますが、長期休暇では「学童保育を利用したい」が小学校 1～3 年生で公立・民間あわせて 62.5%、小学校 4～6 年生で同 47.6%となっています。



問 27-1 問 27 で「公立学童保育や民間の学童保育を利用したい」と答えた方に伺います。利用したい時間帯をご記入ください。（数量回答）

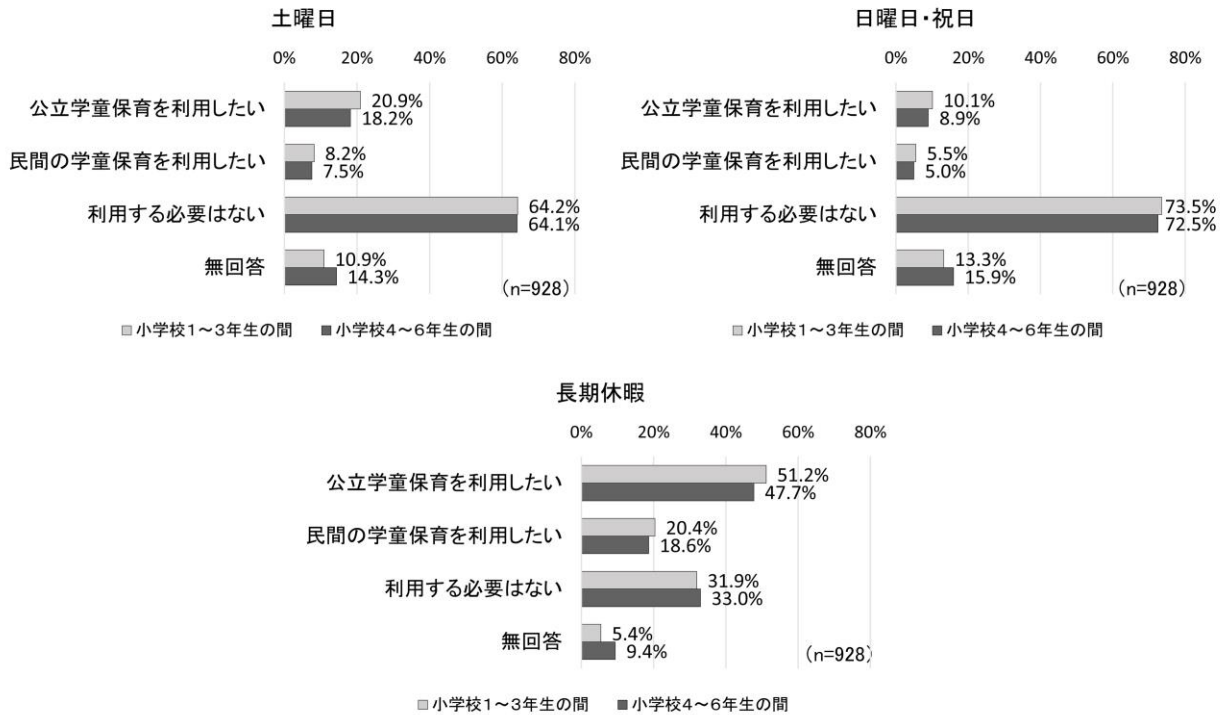
利用時間帯は、開始時間は、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇ともに「8時」から、利用終了時間は土曜日の小学校 1～3 年生は「17時」まで、土曜日の小学校 4～6 年生と長期休暇は「18時」まで、日曜日・祝日は「19時」までが最も多くなっています。

利用開始時刻	土曜日		日曜日・祝日		長期休暇	
	1～3年生 (n=28)	4～6年生 (n=18)	1～3年生 (n=12)	4～6年生 (n=9)	1～3年生 (n=97)	4～6年生 (n=77)
6時以前	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6時	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7時	6	6	4	3	20	19
	21.4%	33.3%	33.3%	33.3%	20.6%	24.7%
8時	14	10	6	6	57	43
	50.0%	55.6%	50.0%	66.7%	58.8%	55.8%
9時	7	2	2	1	13	11
	25.0%	11.1%	16.7%	11.1%	13.4%	14.3%
10時	0	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.3%
11時	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12時	0	0	1	0	0	0
	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
13時以降	0	1	0	0	0	0
	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	0	0	5	3
	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	3.9%

利用終了時刻	土曜日		日曜日・祝日		長期休暇	
	1～3年生 (n=28)	4～6年生 (n=18)	1～3年生 (n=12)	4～6年生 (n=9)	1～3年生 (n=97)	4～6年生 (n=77)
14時以前	0	0	1	1	0	0
	0.0%	0.0%	8.3%	11.1%	0.0%	0.0%
14時	1	1	0	0	5	5
	3.6%	5.6%	0.0%	0.0%	5.2%	6.5%
15時	1	0	0	0	9	5
	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	9.3%	6.5%
16時	3	2	2	1	14	12
	10.7%	11.1%	16.7%	11.1%	14.4%	15.6%
17時	10	5	3	2	24	18
	35.7%	27.8%	25.0%	22.2%	24.7%	23.4%
18時	8	7	2	2	27	25
	28.6%	38.9%	16.7%	22.2%	27.8%	32.5%
19時	4	4	4	4	11	9
	14.3%	22.2%	33.3%	44.4%	11.3%	11.7%
20時	0	0	1	0	2	1
	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	2.1%	1.3%
21時以降	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1	0	0	0	5	2
	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.2%	2.6%

(2) 0～5歳児すべての土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の学童保育の利用意向

小学校1～3年生、4～6年生ともに土曜日、日曜日・祝日では学童保育の「利用する必要がない」が最も多く60%以上を占めていますが、長期休暇では「学童保育を利用したい」が小学校1～3年生で公立・民間あわせて71.9%、小学校4～6年生で同66.3%となっています。



問27-1 問27で「公立学童保育や民間の学童保育を利用したい」と答えた方に伺います。利用したい時間帯をご記入ください。(数量回答)

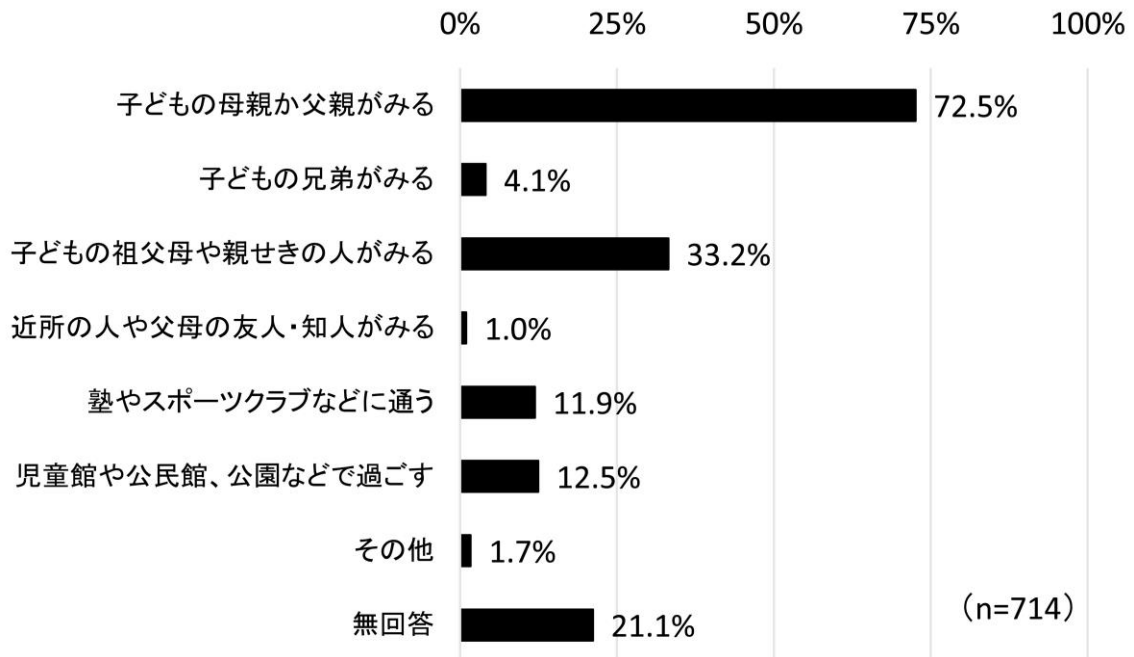
利用時間帯は、土曜日の小学校1～3年生は「8時」から「17時」までが最も多く、それ以外は、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇ともに「8時」から「18時」までが最も多くなっています。

利用開始時刻	土曜日		日曜日・祝日		長期休暇	
	1～3年生 (n=232)	4～6年生 (n=200)	1～3年生 (n=124)	4～6年生 (n=107)	1～3年生 (n=587)	4～6年生 (n=536)
6時以前	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6時	1	1	1	1	1	1
	0.4%	0.5%	0.5%	0.9%	0.2%	0.2%
7時	52	49	33	31	126	121
	22.4%	24.5%	16.5%	29.0%	21.5%	22.6%
8時	98	84	54	46	306	271
	42.2%	42.0%	27.0%	43.0%	52.1%	50.6%
9時	58	50	20	17	109	106
	25.0%	25.0%	10.0%	15.9%	18.6%	19.8%
10時	8	8	5	6	14	14
	3.4%	4.0%	2.5%	5.6%	2.4%	2.6%
11時	0	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
12時	3	2	2	2	2	2
	1.3%	1.0%	1.0%	1.9%	0.3%	0.4%
13時以降	1	1	0	0	2	2
	0.4%	0.5%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%
無回答	11	5	9	4	26	18
	4.7%	2.5%	4.5%	3.7%	4.4%	3.4%

利用終了時刻	土曜日		日曜日・祝日		長期休暇	
	1～3年生 (n=232)	4～6年生 (n=200)	1～3年生 (n=124)	4～6年生 (n=107)	1～3年生 (n=587)	4～6年生 (n=536)
14時以前	12	12	3	2	4	4
	5.2%	6.0%	2.4%	1.9%	0.7%	0.7%
14時	5	5	1	1	16	19
	2.2%	2.5%	0.8%	0.9%	2.7%	3.5%
15時	8	9	4	5	37	30
	3.4%	4.5%	3.2%	4.7%	6.3%	5.6%
16時	21	20	10	7	75	68
	9.1%	10.0%	8.1%	6.5%	12.8%	12.7%
17時	72	56	28	24	157	137
	31.0%	28.0%	22.6%	22.4%	26.7%	25.6%
18時	70	63	38	34	196	189
	30.2%	31.5%	30.6%	31.8%	33.4%	35.3%
19時	28	25	25	25	62	58
	12.1%	12.5%	20.2%	23.4%	10.6%	10.8%
20時	4	4	5	4	13	12
	1.7%	2.0%	4.0%	3.7%	2.2%	2.2%
21時以降	0	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
無回答	12	6	10	5	26	18
	5.2%	3.0%	8.1%	4.7%	4.4%	3.4%

問 27-2 問 27 で「公立学童保育や民間の学童保育を利用する必要はない」と答えた方に伺います。利用する必要はない理由は何ですか。(MA)

公立学童保育や民間の学童保育を利用する必要はないと答えた方の理由は、「子どもの母親か父親がみる」(72.5%) が最も多く、次いで「子どもの祖父母や親せきの人がみる」(33.2%)、「児童館や公民館、公園などで過ごす」(12.5%) となっています。

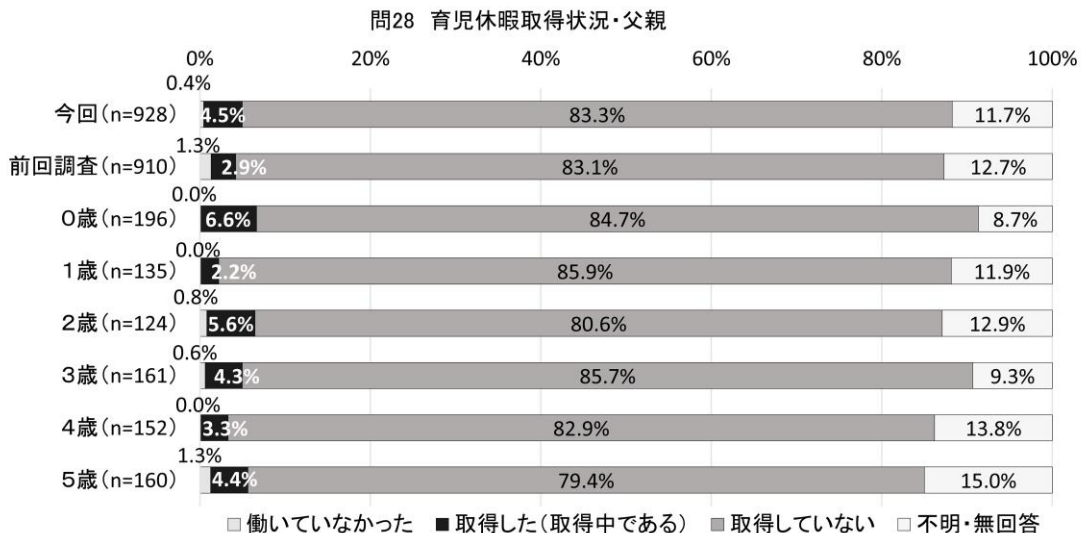
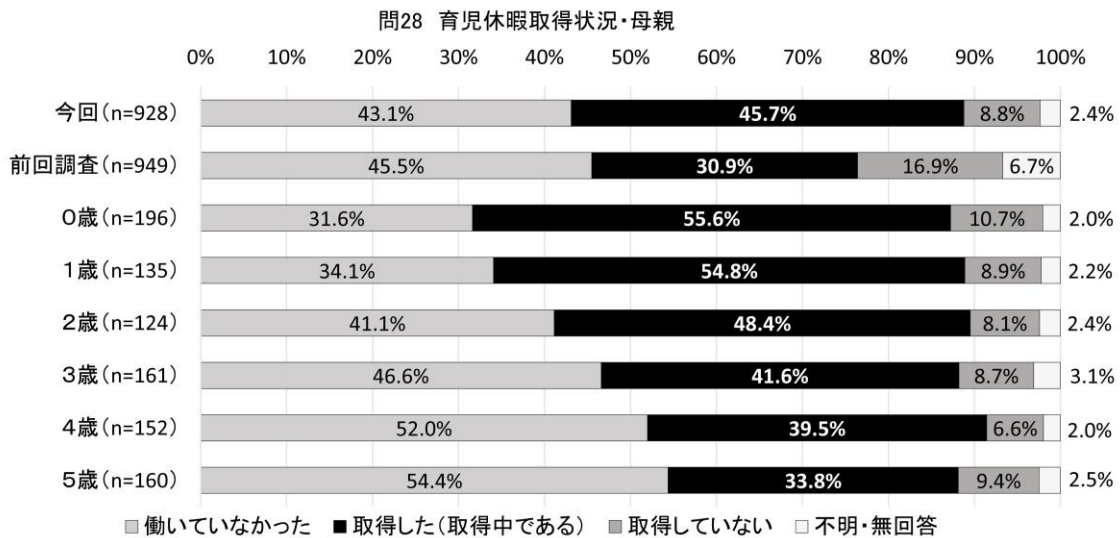
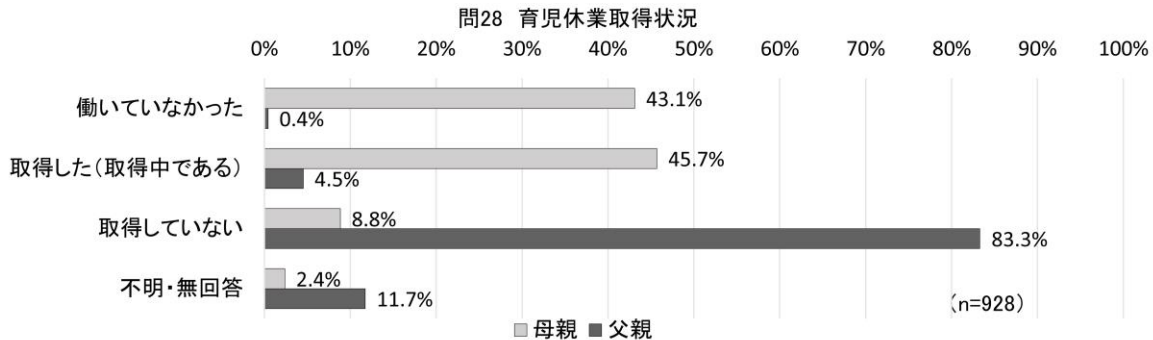


## 11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休暇を取得しましたか。  
(SA)

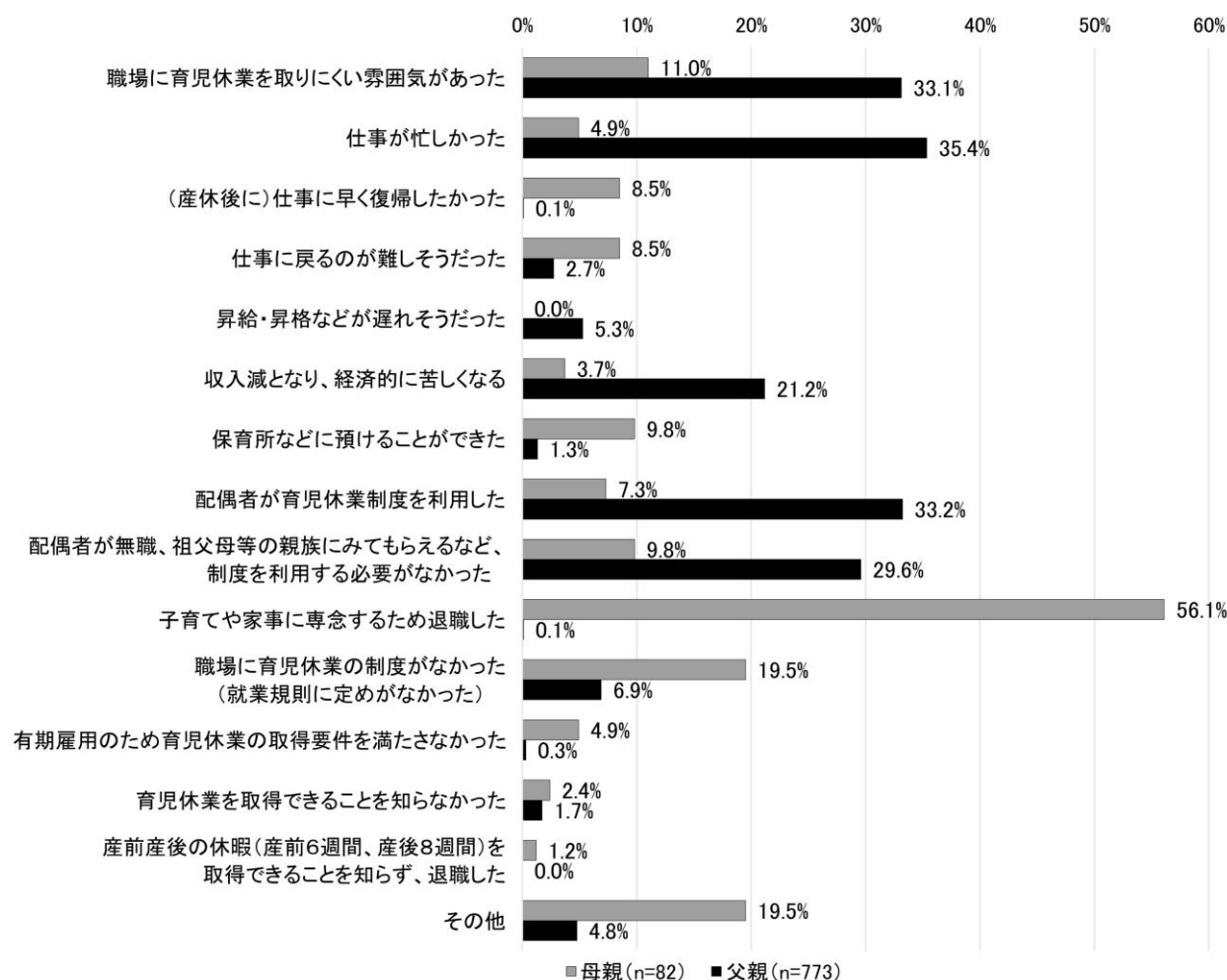
また、取得していない理由をお答えください。(MA)

育児休業制度の利用状況は、母親は「取得した(取得中である)」(45.7%)が最も多いのに対して、父親は「取得した(取得中である)」(4.5%)となっています。  
前回調査と比べ、「取得した(取得中である)」が母親は14.8ポイント増加しています。  
年齢別では、0歳児の保護者が最も多く(55.6%)となっています。



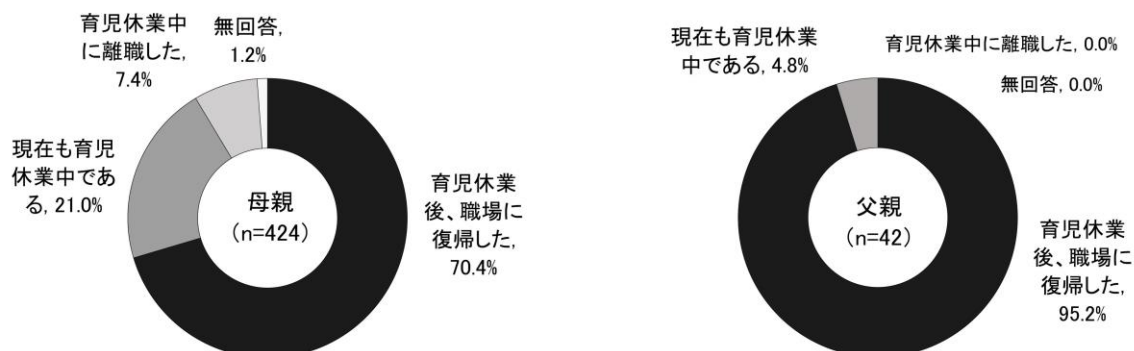
育児休業制度を取得しなかった理由は、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」(56.1%)が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」・「その他」(19.5%)、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」(11.0%)となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」(34.9%)が最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」(32.8%)、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」(32.7%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(29.2%)となっています。



問 28-1 問 28 で「取得した(取得中である)」を回答した方に伺います。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(SA)

育児休業取得後は、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」(70.4%)が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」(21.0%)、「育児休業後に離職した」(7.4%)となっています。父親は「育児休業後、職場に復帰した」(95.2%)が大きな割合を占めています。



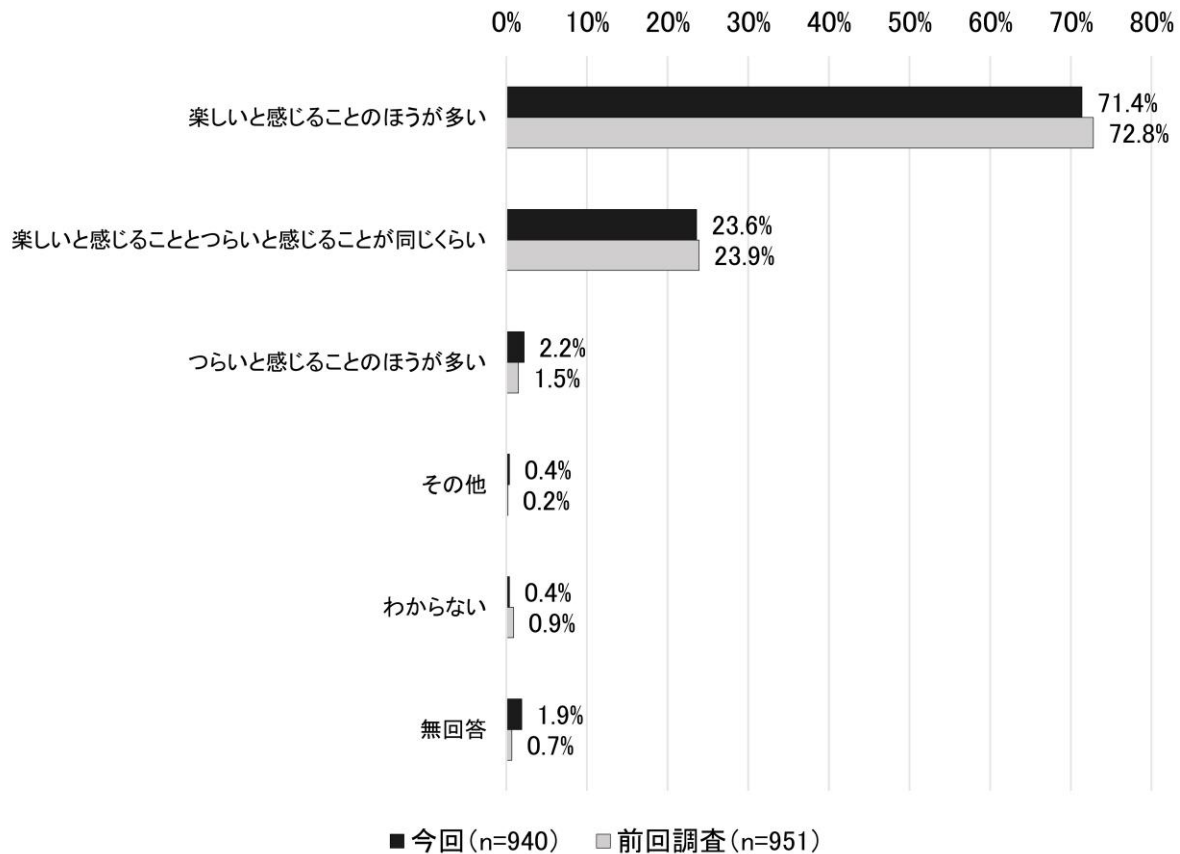
## 12 子育て全般について

問 29 あなたは、自分にとって子育ては楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じますか。(SA)

子育てに関する意識は、「楽しいと感じることが多い」(71.4%)が最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」(23.6%)、「つらいと感じることが多い」(2.2%)となっています。

全体の約7割の方が子育てを楽しんでいると感じています。

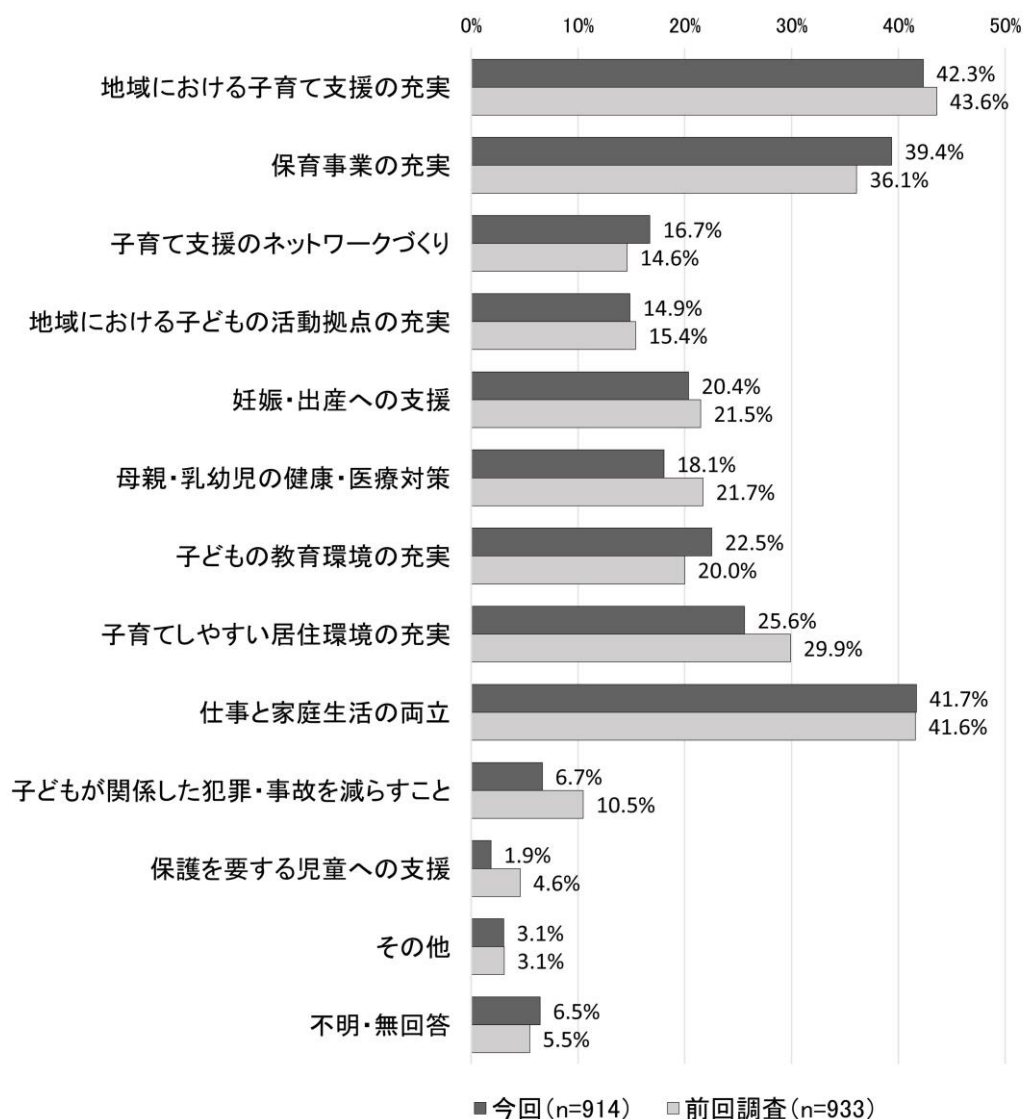
前回調査と、回答の傾向に大きな変化はありません。



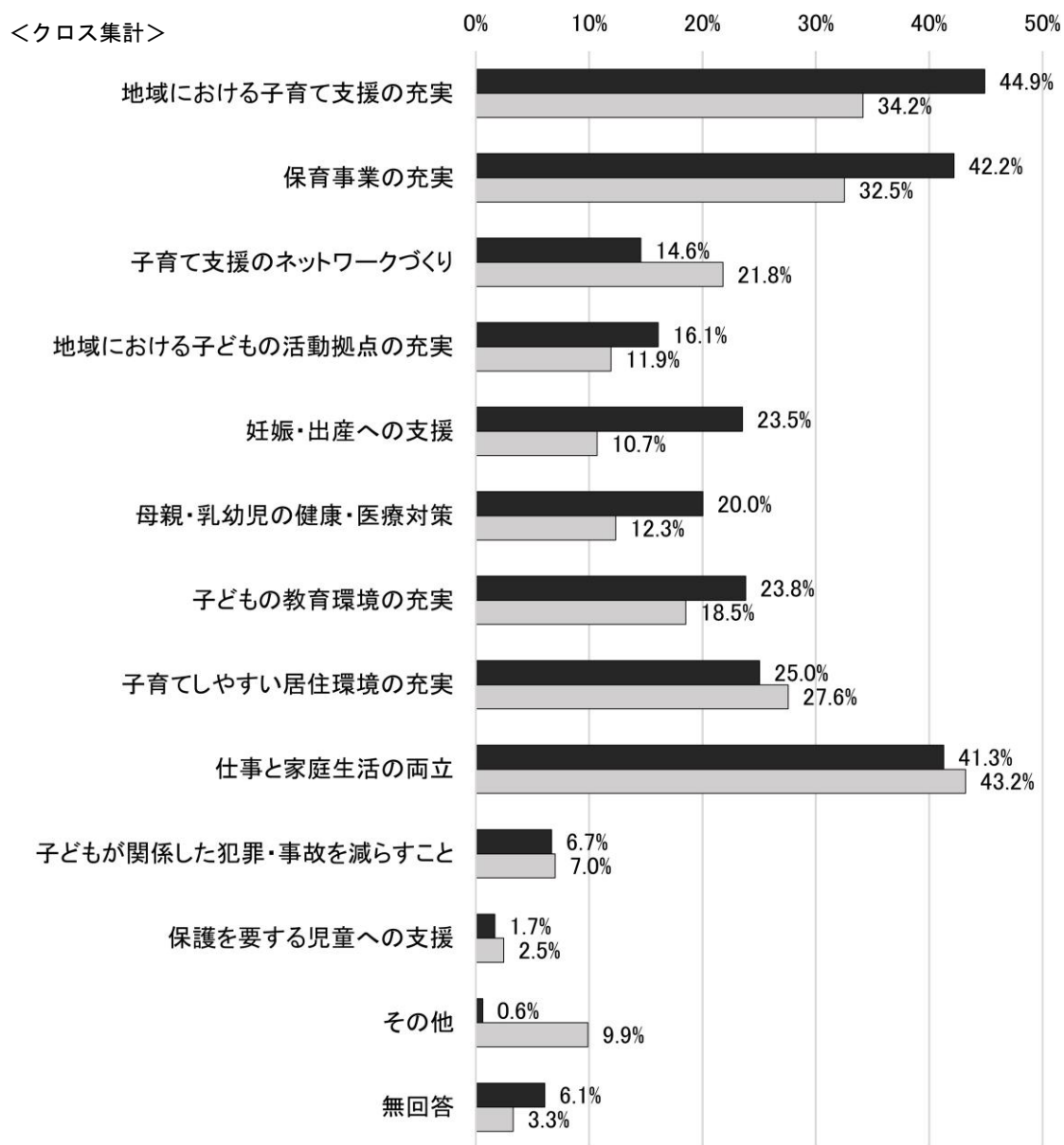
問 29-1 問 29 で「楽しいと感じることの方が多い」「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多い」を回答された方に伺います。子育てをする中でどのような支援・対策が有効だと思いますか。また、自分にとって子育てのつらさを解消するために必要なことは何ですか。(MA)

子育て環境の支援・対策で有効だと思うことは、「地域における子育て支援の充実」(42.3%)が最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立」(41.7%)、「保育事業の充実」(39.4%)となっています。

前回調査と比べ、回答の傾向に変化はありません。



有効だと思う支援・対策は、「楽しいと感じることの方が多い」と回答された方は「地域における子育て支援の充実」、「保育事業の充実」をやや高く評価し、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多い」と回答された方は、「仕事と家庭生活の両立」をやや高く評価しています。



■ 楽しいと感じることの方が多い (n=659)

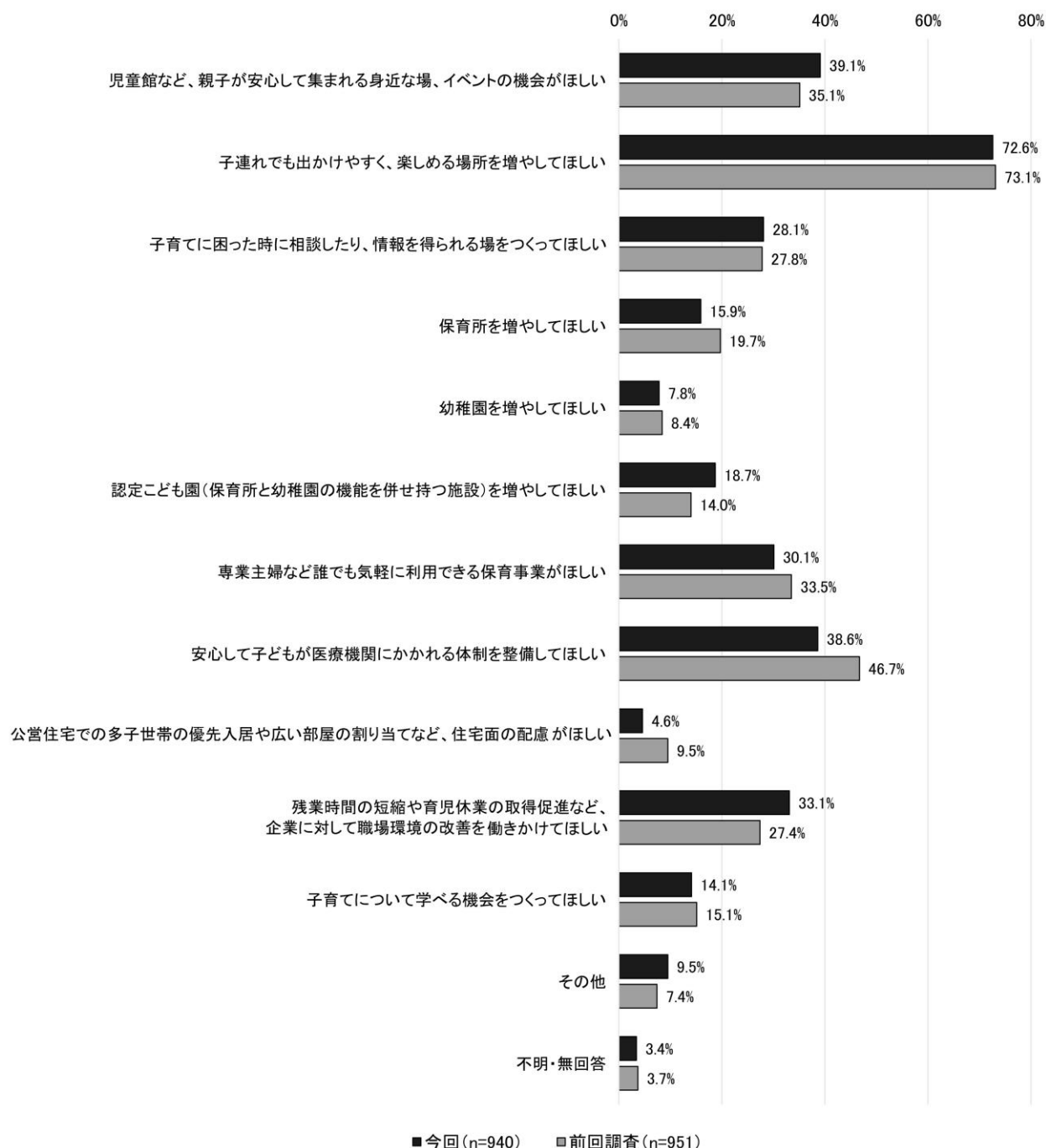
□ 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい/辛いと感じることの方が多い (n=243)



問 30 今後、子どもを安心して産み育てられる環境をつくっていくために、下野市に期待することは何ですか。(MA)

子育て環境をつくっていくために本市に期待することは、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」(72.6%)が最も多く、次いで「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい」(39.1%)、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」(38.6%)、「残業時間の短縮や育児休業の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(33.1%)となっています。

前回調査と比べ、「残業時間の短縮や育児休業の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が5.7ポイント増、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい」が4.0ポイントとわずかに増えています。





## 第2章

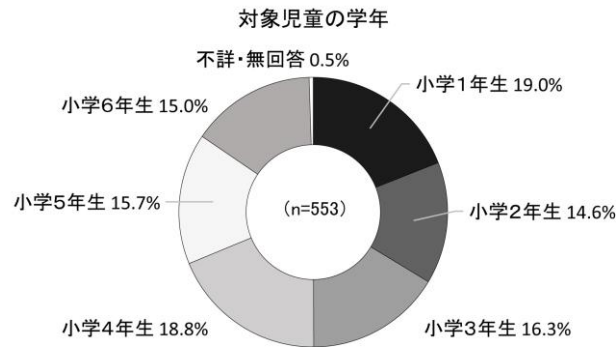
# 小学生児童調査結果



## 1 お子さんご家族の状況について

### 問1 お子さんの生年月をご記入ください。(数量回答)

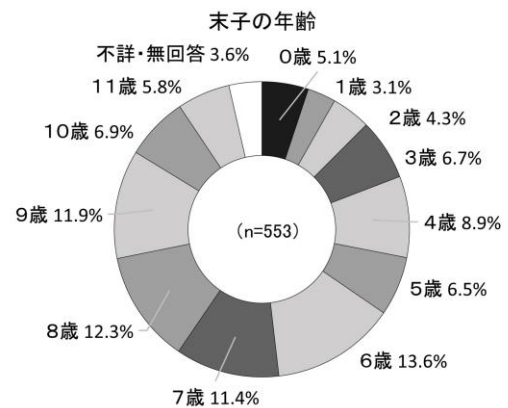
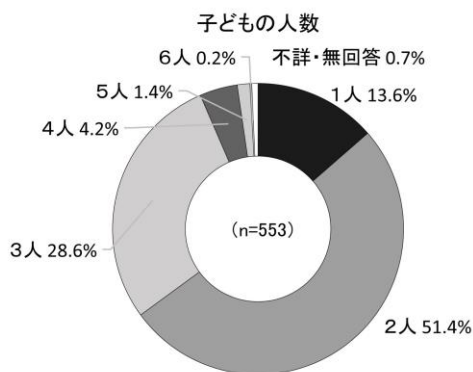
学年は「小学1年生」(19.0%)が最も多く、次いで「小学4年生」(18.8%)となっています。



### 問1-1 宛名のお子さんを含めて子どもは何人ですか。また、末子の方の生年月をご記入ください。(数量回答)

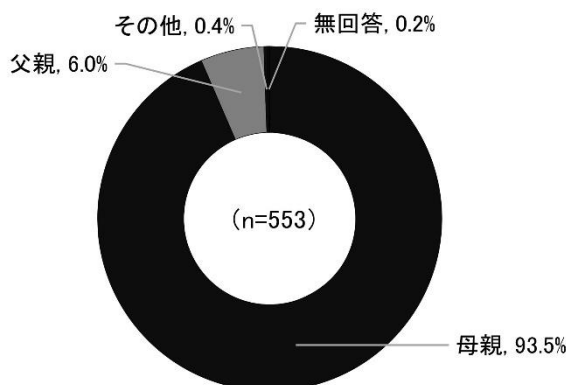
子どもの人数は「2人」(51.4%)が半数を占めており、「3人」(28.6%)、「1人」(13.6%)となっています。

末子の年齢は「6歳」(13.6%)が最も多くなっています。



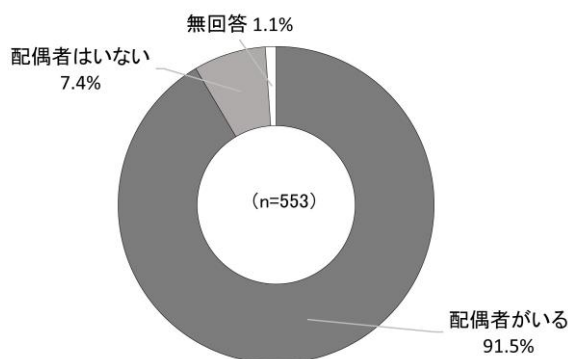
問2 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(SA)

調査回答者は、「母親」(93.5%) となっています。



問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(SA)

「配偶者がいる」(91.5%) となっています。

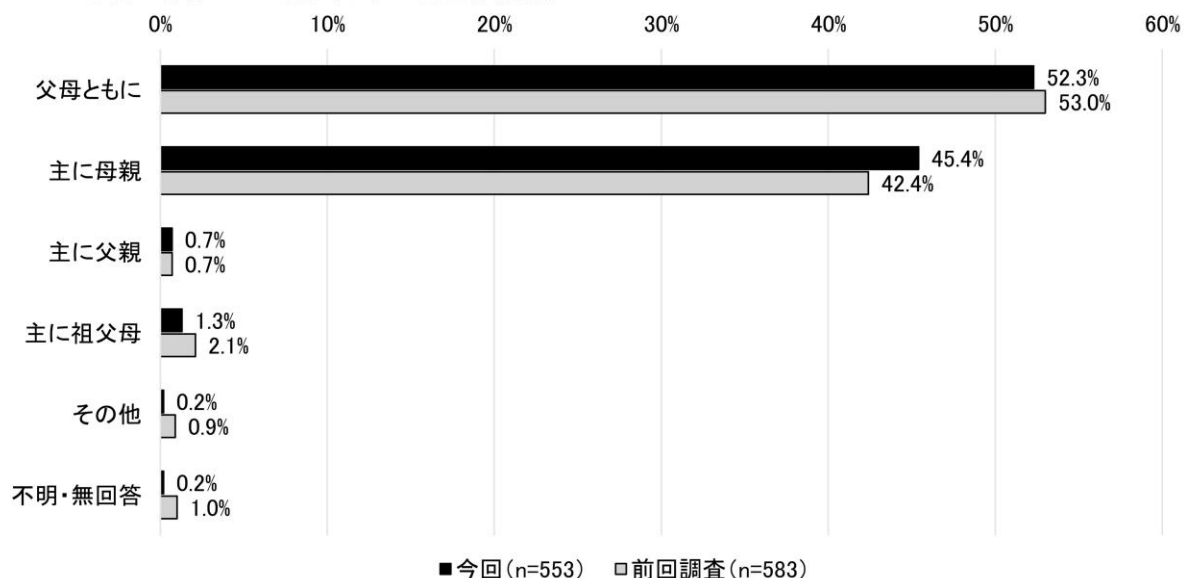


問4 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(SA)

主に子育てを行っている方は、「父母ともに」(52.3%)と「主に母親」(45.4%)で大半を占めています。

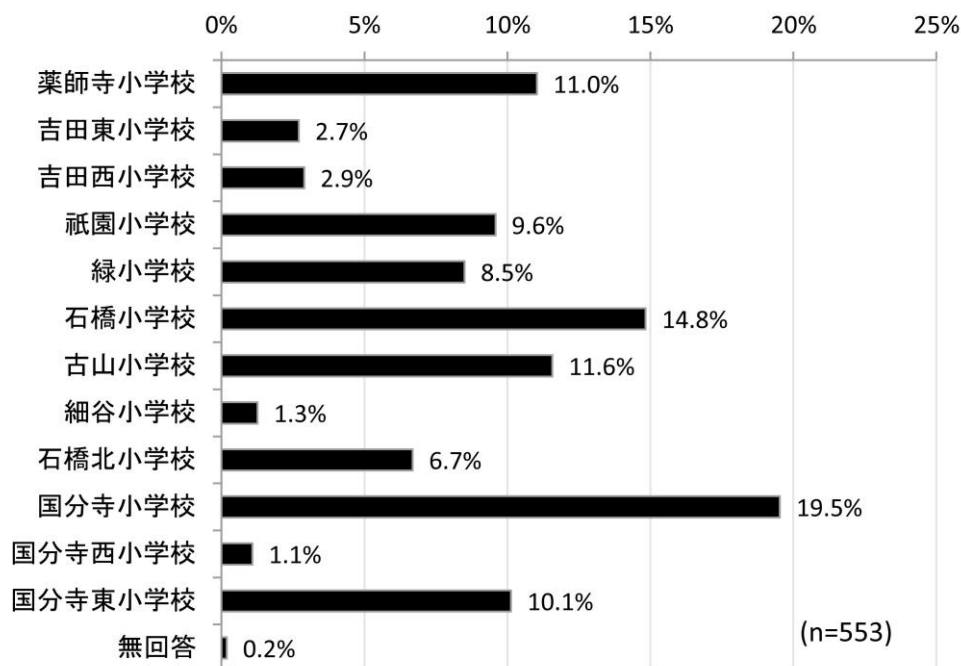
前回調査に比べ、「主に母親」が3.0ポイント増えています。

■ 主に子育てを行っている方(小学生児童保護者)



問5 お住まいの小学校区はどちらですか。(SA)

居住している小学校区は、「国分寺小学校」(19.5%)が最も多く、次いで「石橋小学校」(14.8%)、「古山小学校」(11.6%)となっています。



学校名	通学区域
薬師寺小学校	下原、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、日生団地、成田、町田上、町田下、谷地賀上、谷地賀下（箕輪地区を除く）、下文狭、東田中、西田中、地久目喜、仁良川上、仁良川下の各自治会区域
吉田東小学校	本吉田北、本吉田南、塚越、磯部、川島、上吉田、三王山、鯉沼、谷地賀下（箕輪地区に限る）の各自治会区域
吉田西小学校	絹板、絹板台、台坪山、的場、上坪山、東根、西坪山の各自治会区域
祇園小学校	祇園町、西区、自治医大職員住宅の各自治会区域、祇園一丁目から祇園五丁目までの区域、医大前一丁目から医大前四丁目までの区域
緑小学校	緑一丁目から緑六丁目、烏ヶ森一丁目、二丁目、小金井上町（JR宇都宮線東側）
石橋小学校	石橋上町、寿町、石町、旭町、本町、栄町、上大領、中大領、東前原、下大領、入の谷、下石橋、富士見町、グンゼ、ビレッジハウスの各自治会区域
古山小学校	下古山、通古山、下長田、石橋上町、第2雇用団地の各自治会区域
細谷小学校	上台、細谷、橋本の各自治会区域
石橋北小学校	上古山、上原、若林の各自治会区域
国分寺小学校	駅前、仲町、小金井上町（JR宇都宮線西側）、関根井、小金井北、笹原、箕輪、川東、泉町、鈴苅町、川北、川南、下町の各自治会区域
国分寺西小学校	川西、南国分、国分1、国分2、国分3、紫の各自治会区域
国分寺東小学校	柴南1、柴南2、柴南3、柴南4、柴南5、柴南6、あづま町、旭ヶ丘、日出町、柴北1、柴北2、柴北3、柴北4、丸野町、駅東の各自治会区域

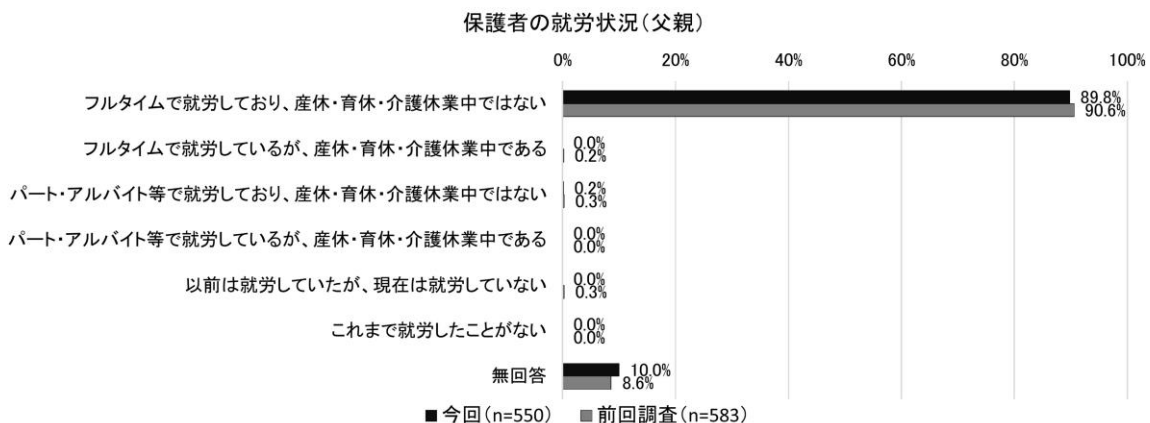
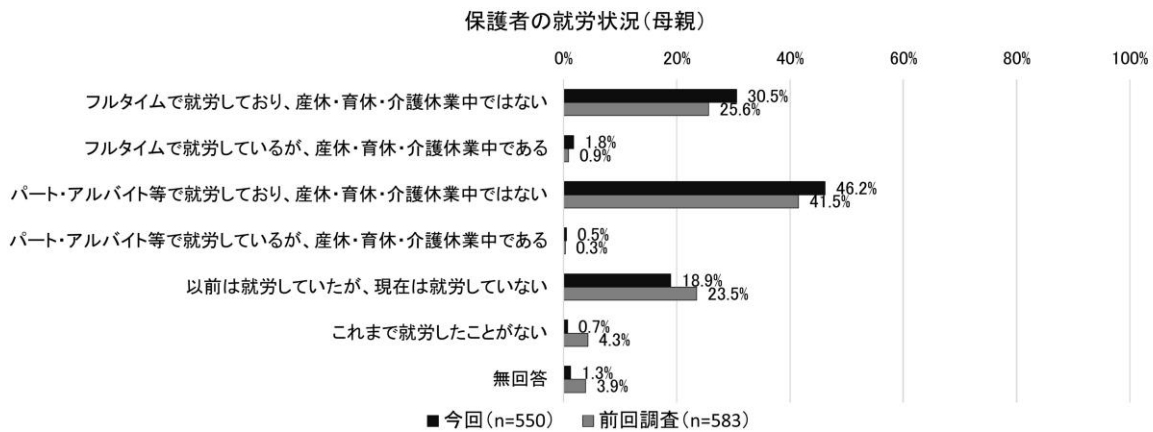
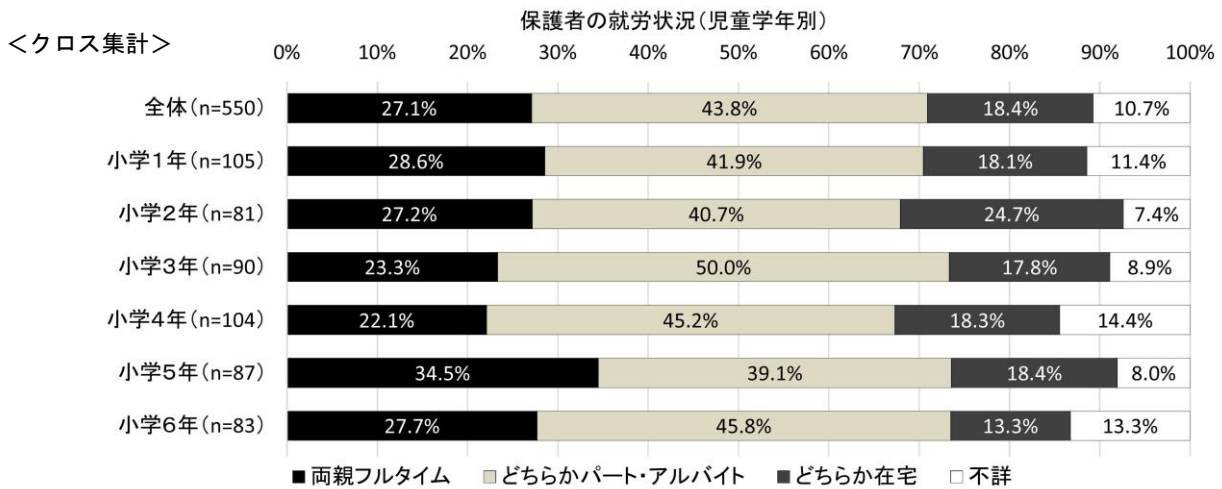
## 2 お子さんの保護者の就労状況について

### 問6 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）を伺います。（SA）

「どちらかがパート・アルバイトの共働き」（43.8%）が最も多く、次いで「両親ともにフルタイムの共働き」（27.1%）、「母親か父親のどちらかは在宅」（18.4%）となっています。

母親の就労状況は、「パート・アルバイトで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（46.2%）が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（30.5%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（18.9%）となっています。前回調査と比べ、フルタイムの就労が 5.8 ポイント、パート・アルバイトの就労が 4.9 ポイント増え、母親が就労している割合が増えています。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（89.8%）が最も多くなっています。前回調査と比べ、回答の傾向に大きな変化はありません。





【問6で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を回答した方】

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答。

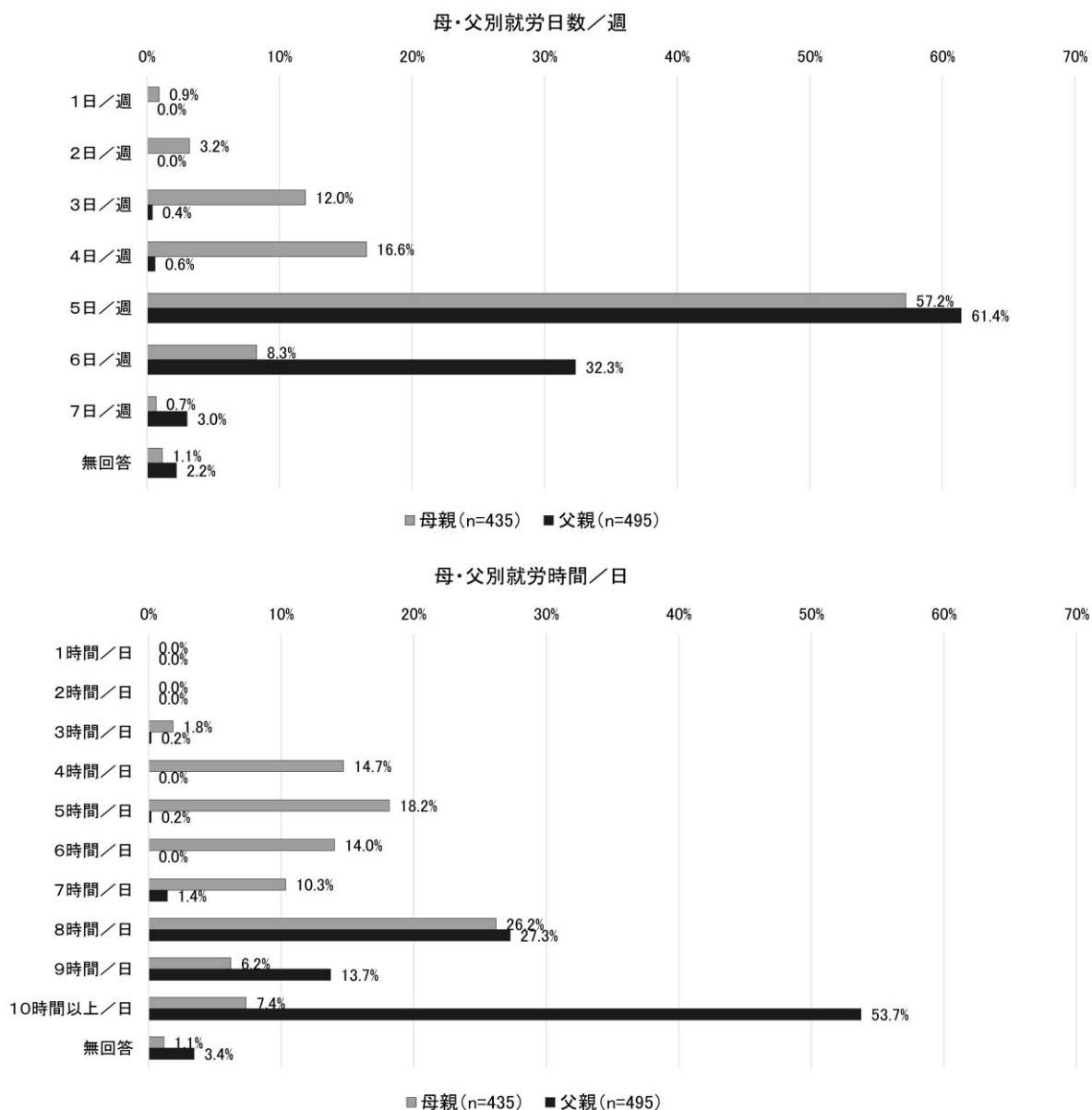
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答。

問6-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

(数量回答)

就労日数は1週当たり5日が最も多く、母親は57.2%、父親は61.4%となっています。次いで多いのは、母親は1週当たり4日が16.6%、父親は1週当たり6日が32.3%となっています。

就労時間は、母親は1日当たり「8時間」(26.2%)が最も多く、次いで「5時間」(18.2%)、「4時間」(14.7%)となっています。父親は1日当たり「10時間以上」(53.7%)が最も多く、次いで「8時間」(27.3%)、「9時間」(13.7%)となっています。



【問6で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を回答した方】

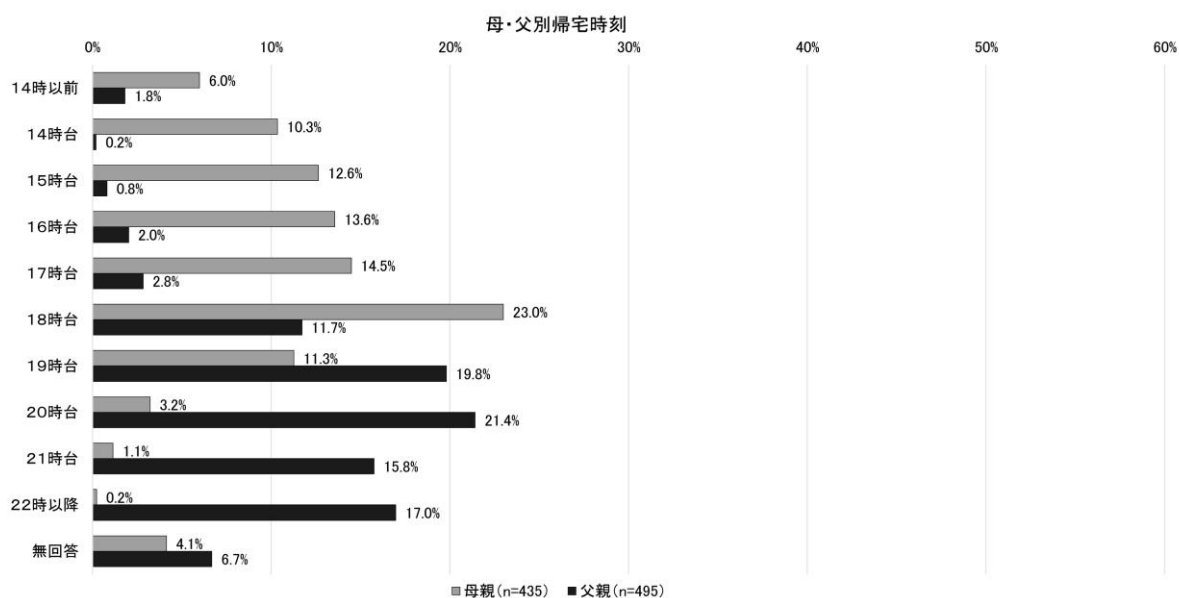
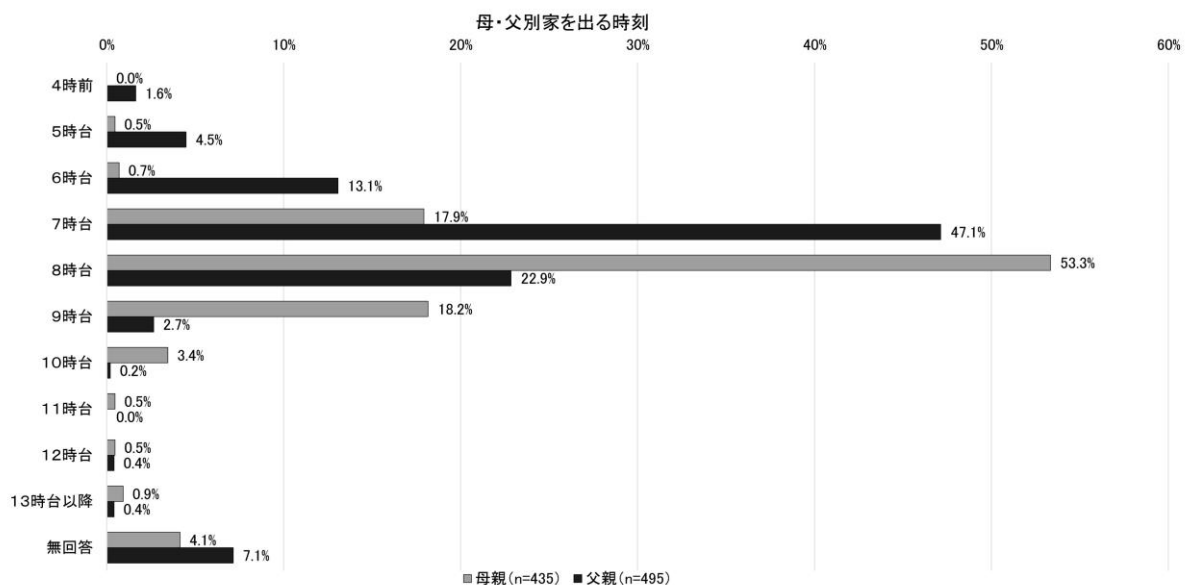
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答。

問6-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(数量回答)

家を出る時刻は、母親は「8時台」(53.3%)が最も多く、次いで「9時台」(18.2%)、「7時台」(17.9%)となっています。父親は「7時台」(47.1%)が最も多く、次いで「8時台」(22.9%)、「6時台」(13.1%)となっています。

帰宅時刻は、母親は「18時台」(23.0%)が最も多く、次いで「17時台」(14.5%)、「16時台」(13.6%)となっています。父親は「20時台」(21.4%)が最も多く、次いで「19時台」(19.8%)、「22時以降」(17.0%)となっています。



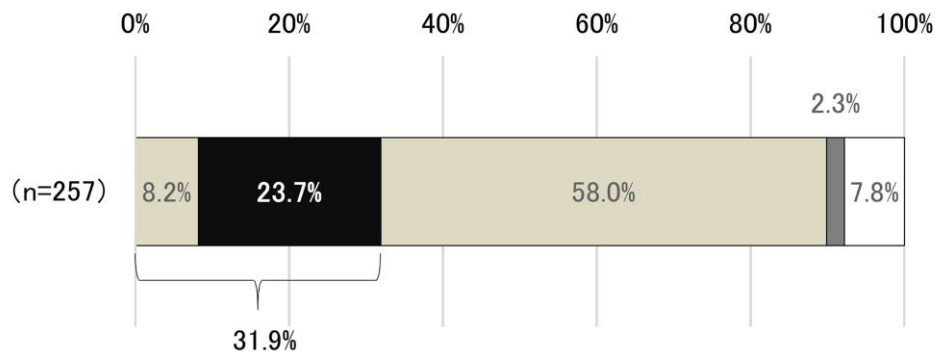
【問6で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を回答した方】

問6-3 フルタイムへの転換希望はありますか。(SA)

母親のパート・アルバイトからフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(58.0%)が最も多くなっています。

フルタイムへの転換を希望する方は31.9%いますが、実現できる見込みのある方は8.2%となっています。

① 母親のフルタイムへの転換希望



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

② 父親のフルタイムへの転換希望 (n=1)

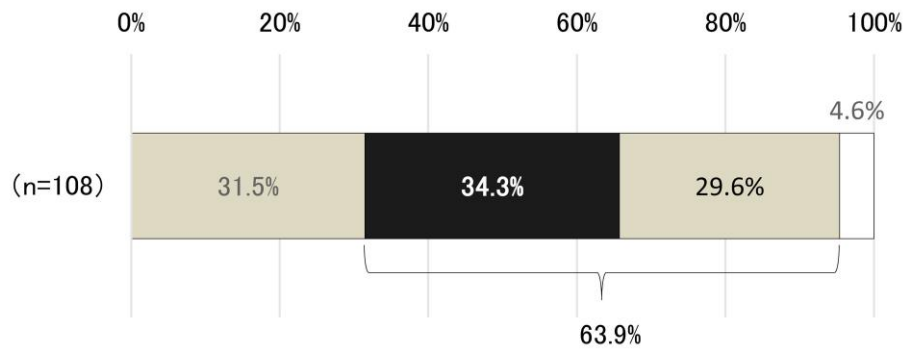
「パート・アルバイト等就労を続けることを希望」と1名の方が回答されています。

【問6で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」を回答した方】

問6-4 就労したいという希望はありますか。(SA)

就労していない母親で就労したい方は63.9%おり、その内訳は「1年より先」(34.3%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.6%)となっています。

② 母親の就労希望



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

②父親の就労希望

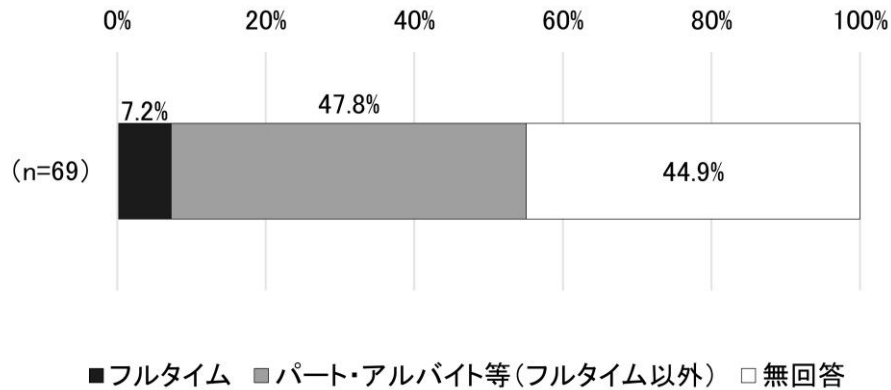
(該当者なし)

【問 6-4 で「1 年より先」「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」と答えた方】

希望する就労形態は何ですか。(SA)

母親の希望する就労形態は「パート・アルバイト」(47.8%)、「フルタイム」(7.2%) となっています。

① 母親の希望する就労形態



② 父親の希望する就労形態

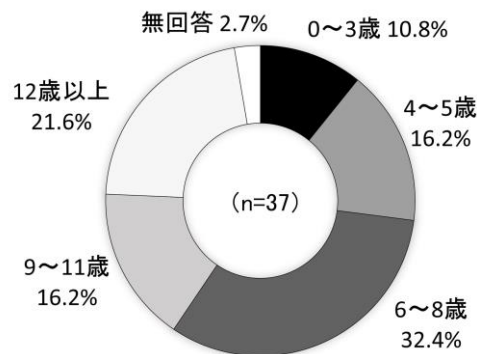
(該当者なし)

【問 6-4 で「1 年より先」と回答した方】

一番下の子が何歳になったところに就労したいですか。(数量回答)

母親の 1 年より先の就労時期となる一番下の子の年齢としては、「6～8 歳になったころ」(32.4%) が最も多く、次いで「12 歳以上になったころ」(21.6%)、「4～5 歳になったころ」(16.2%)、「9～11 歳になったころ」(16.2%) となっています。

① 母親の就労時期となる一番下の子の年齢



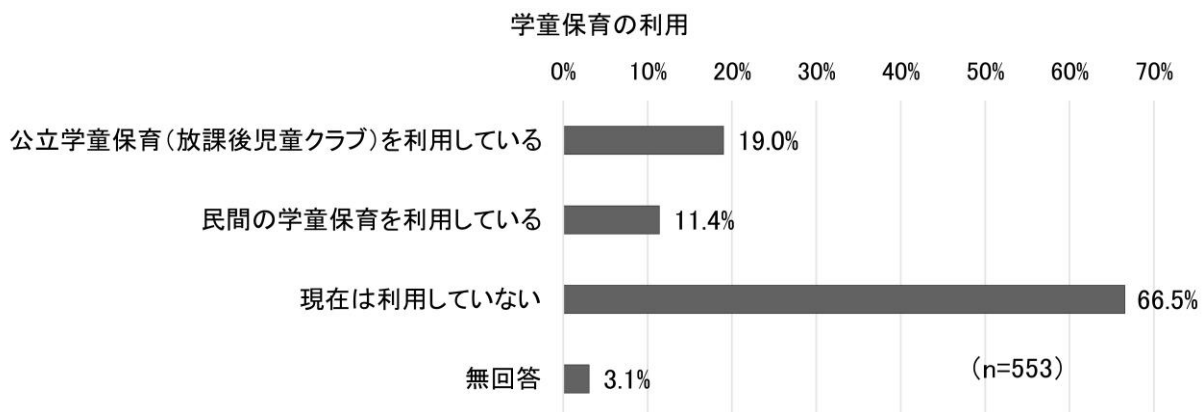
② 父親の就労時期となる一番下の子の年齢

(該当者なし)

### 3 お子さんの放課後の過ごし方について

#### 問7 現在、学童保育を利用されていますか。(SA)

平日の学童保育の利用状況は、「現在は利用していない」(66.5%)が最も多く、次いで「公立学童保育(放課後児童クラブ)を利用している」(19.0%)、「民間の学童保育を利用している」(11.4%)となっています。



問8 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

(MA)

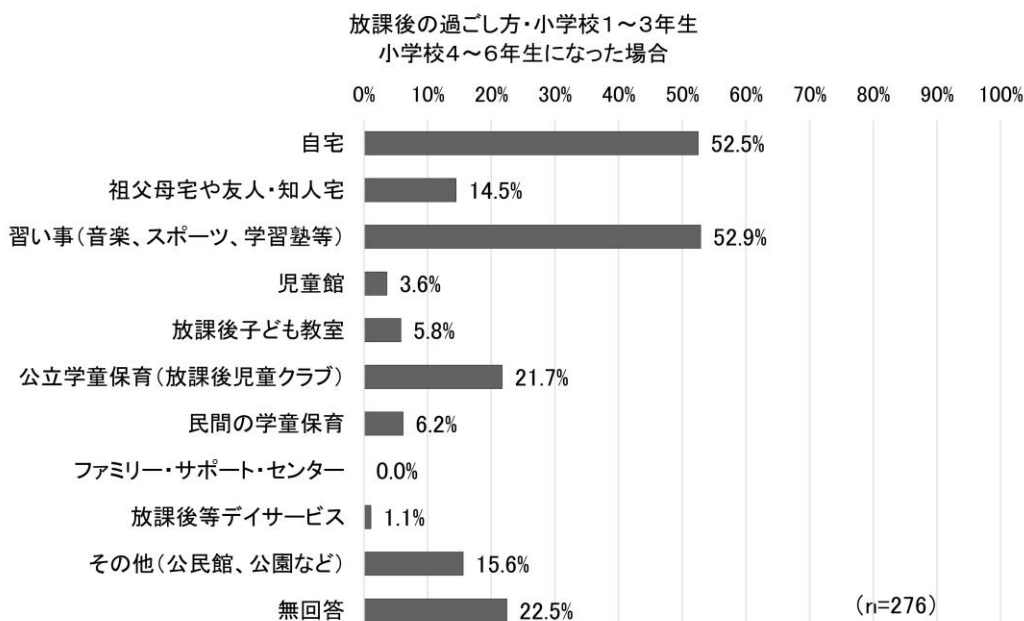
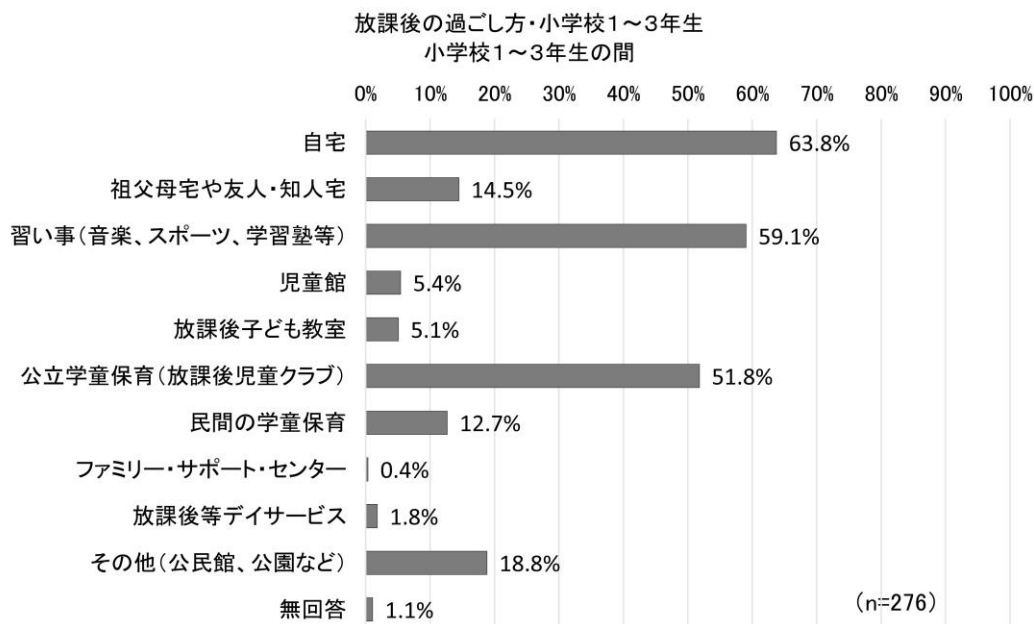
あてはまる過ごし方を選択し、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一桁に一字）

- ・お子さんが1～3年生の場合は、「①小学校1～3年生」と将来を見越して「②小学校4～6年生」の両方を記入してください。
- ・お子さんが4～6年生の場合は、「②小学校4～6年生」のみ記入してください。

① 小学校1～3年生

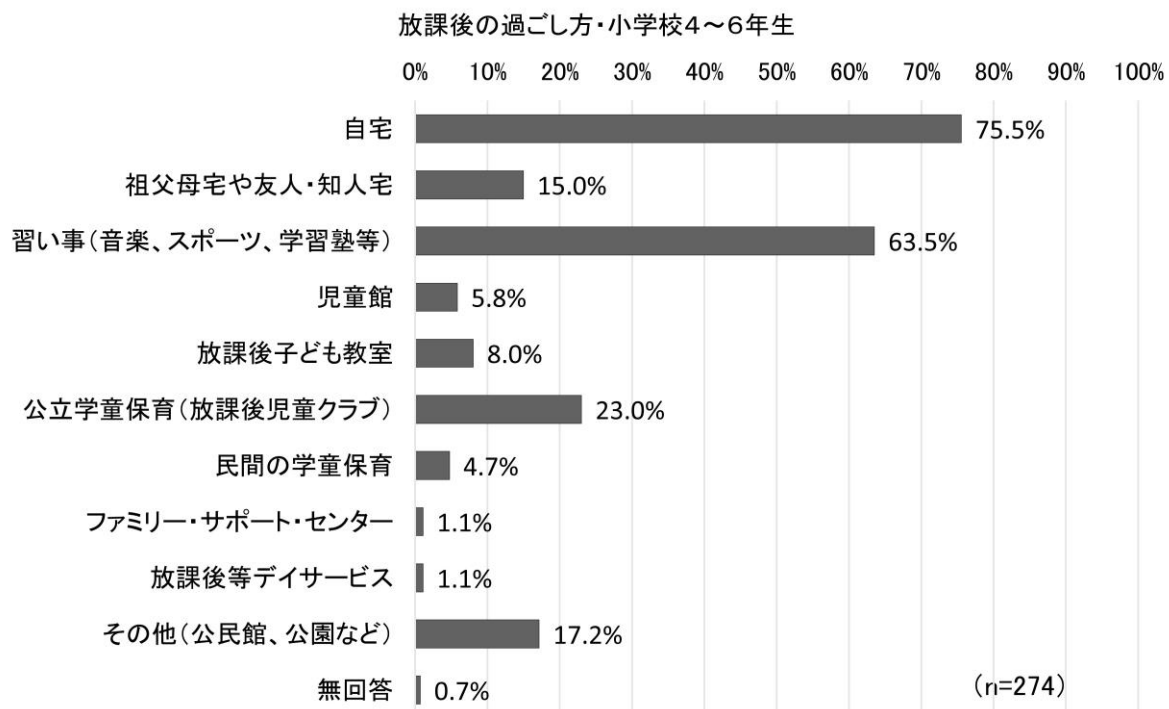
平日の放課後の過ごし方は、小学校1～3年生の間は「自宅」（63.8%）が最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（59.1%）、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」（51.8%）となっています。

小学校4～6年生になった場合は「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（52.9%）が最も多く、次いで「自宅」（52.5%）、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」（21.7%）となっています。



## ② 小学校4～6年生

平日の放課後の過ごさせ方は、「自宅」(75.5%)が最も多く、次いで「習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)」(63.5%)、「公立学童保育(放課後児童クラブ)」(23.0%)となっています。





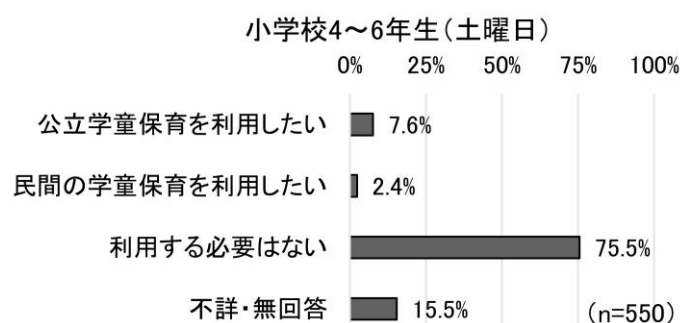
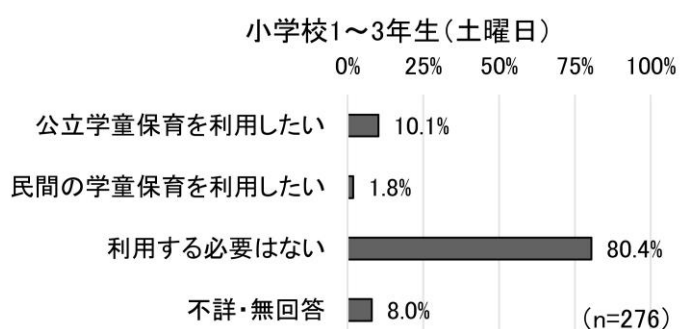
問9 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や長期の休暇期間中（夏休み・冬休み）に公立学童保育か民間の学童保育の利用希望はありますか。（（1）～（3）のあてはまるものすべてに○）

- ・お子さんが1～3年生の場合は、「①1～3年生の間」と将来を見越して「②4～6年生の間」の両方を記入してください。
- ・お子さんが4～6年生の場合は、「②4～6年生の間」のみ記入してください。

(1) 土曜日 (MA)

学童保育の土曜日の利用希望は、小学校1～3年生では「利用する必要はない」(80.4%)が最も多く、次いで「公立学童保育を利用したい」(10.1%)、「民間の学童保育を利用したい」(1.8%)となっています。

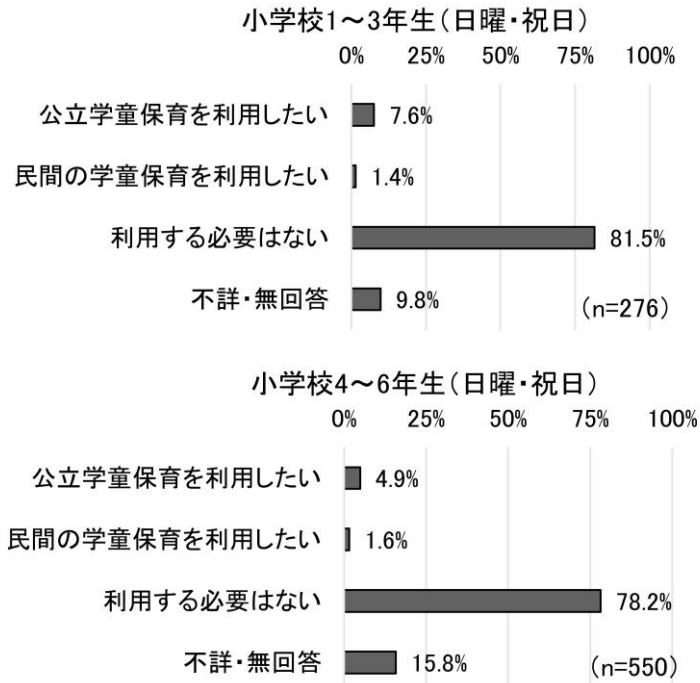
小学校4～6年生でも同様に、「利用する必要はない」(75.5%)が最も多くなっています。



## (2) 日曜日・祝日 (MA)

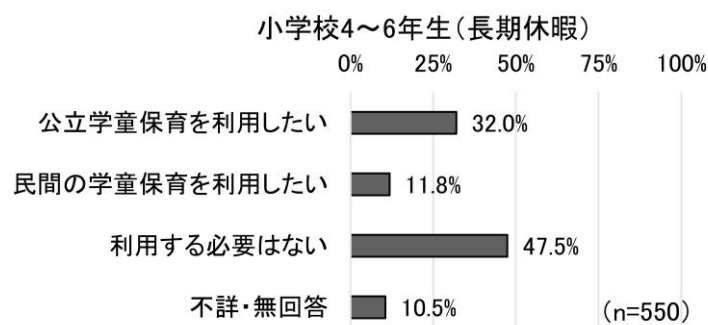
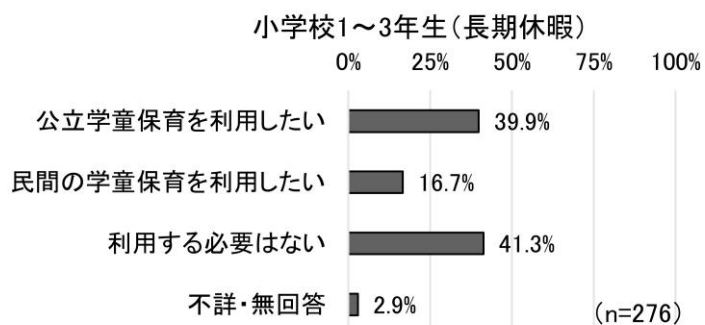
学童保育の日曜日・祝日の利用希望は、小学校1～3年生では「利用する必要はない」(81.5%)が最も多く、次いで「公立学童保育を利用したい」(7.6%)、「民間の学童保育を利用したい」(1.4%)となっています。

小学校4～6年生でも同様に、「利用する必要はない」(78.2%)が最も多くなっています。



### (3) 長期休暇 (MA)

学童保育の長期休暇の利用希望は、小学校1～3年生では「利用する必要はない」(41.3%)が最も多く、次いで「公立学童保育を利用したい」(39.9%)、「民間の学童保育を利用したい」(16.7%)となっています。小学校4～6年生でも同様に、「利用する必要はない」(47.5%)が最も多くなっています。



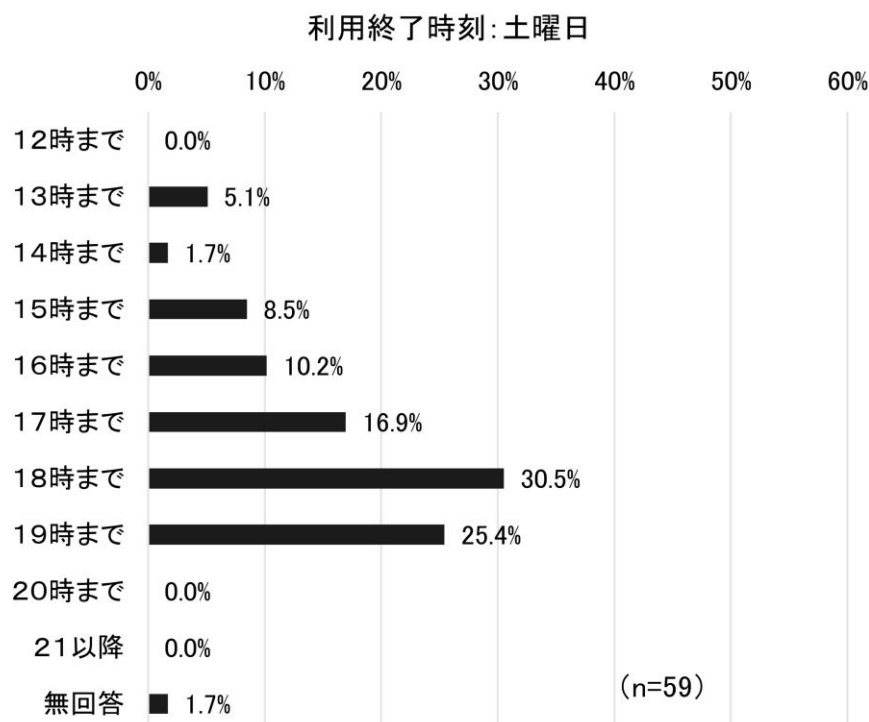
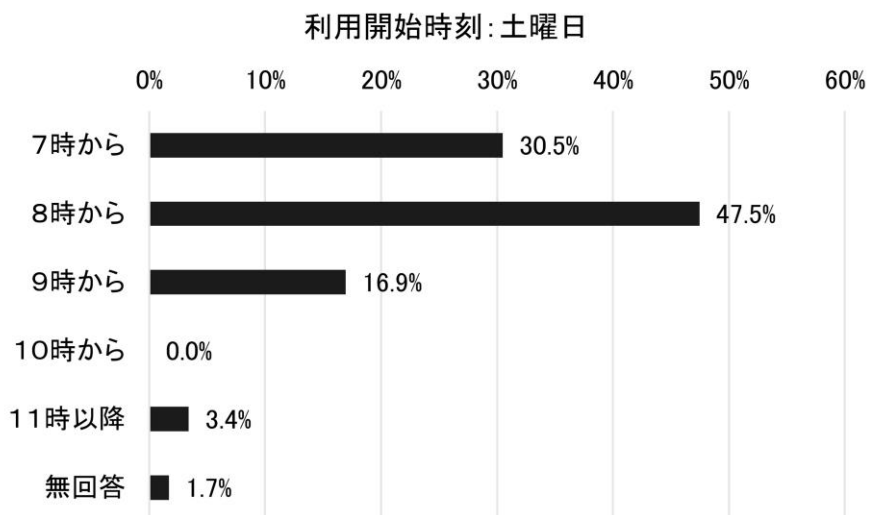
【問9で「公立学童保育や民間の学童保育を利用したい」と答えた方】

問9-1 利用したい時間帯をご記入ください。(数量回答)

① 土曜日

土曜日の公立の学童保育や民間の学童保育を利用したい時間帯は、開始時刻では「8時から」(47.5%)が最も多く、次いで「7時から」(30.5%)、「9時から」(16.9%)となっています。

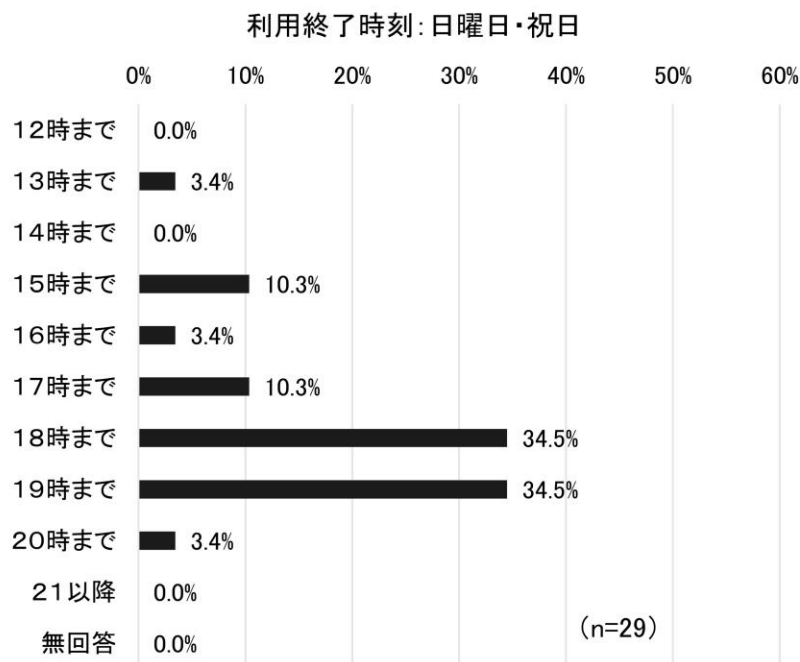
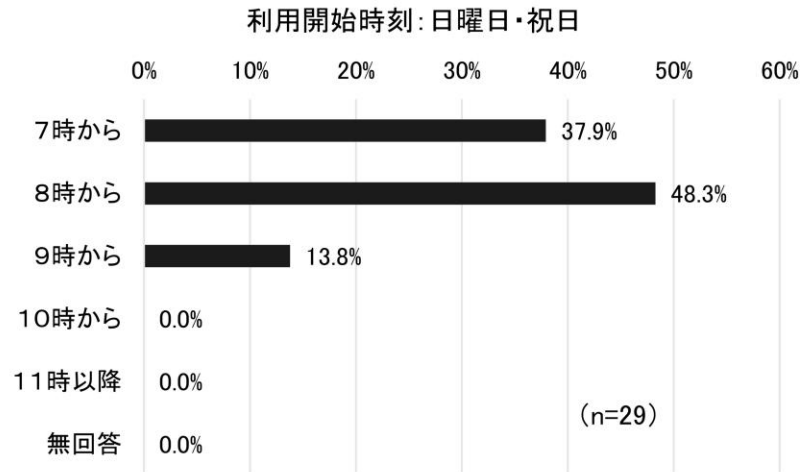
終了時刻は「18時まで」(30.5%)が最も多く、次いで「19時まで」(25.4%)、「17時まで」(16.9%)となっています。



## ② 日曜・祝日

日曜・祝日の開始時刻では「8時から」(48.3%)が最も多く、次いで「7時から」(37.9%)、「9時から」(13.8%)となっています。

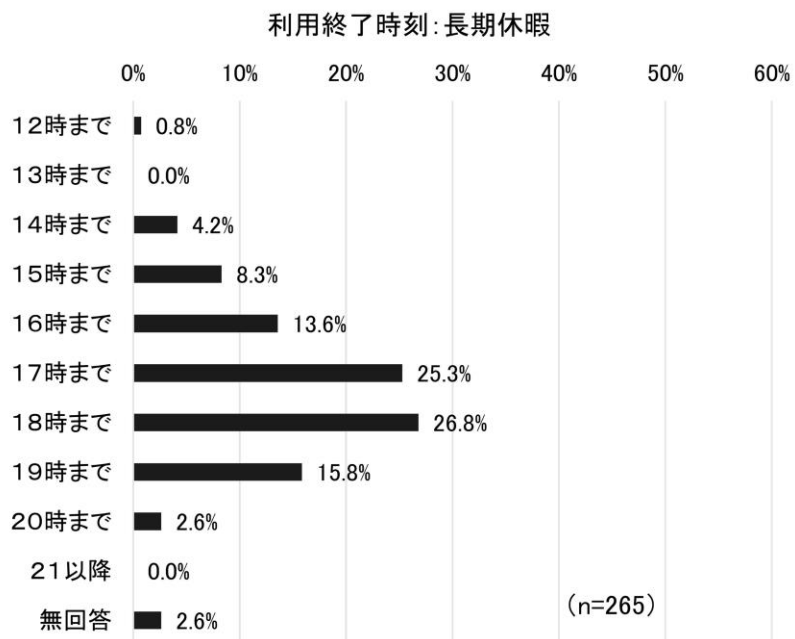
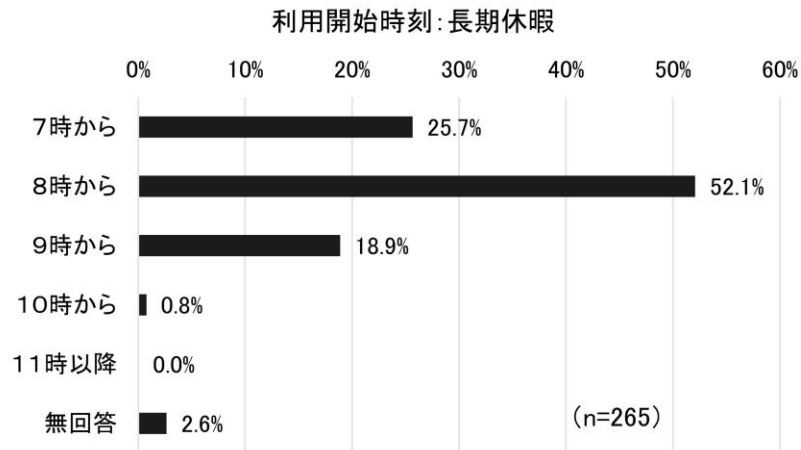
終了時刻は「18時まで」と「19時まで」(34.5%)が最も多く、次いで「15時まで」と「17時まで」(10.3%)となっています。



### ③ 長期休暇

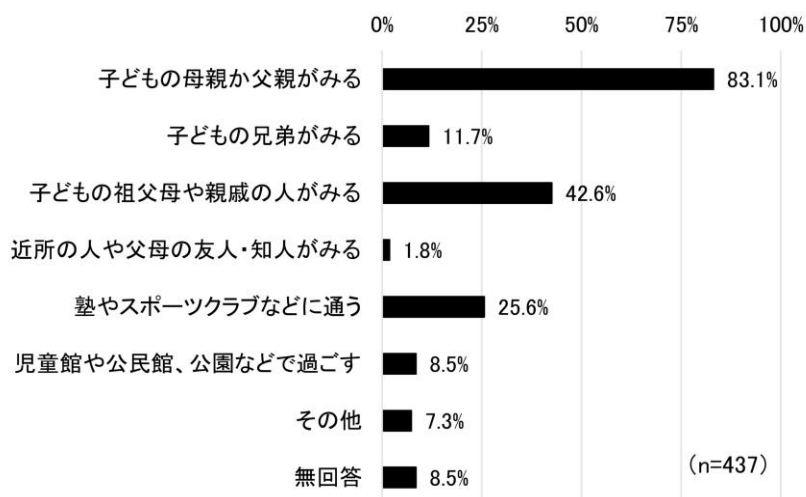
長期休暇の開始時刻では「8時から」(52.1%)が最も多く、次いで「7時から」(25.7%)、「9時から」(18.9%)となっています。

終了時刻は「18時まで」(26.8%)が最も多く、次いで「17時まで」(25.3%)、「19時まで」(15.8%)となっています。



【問 9-2】 問 9 で「公立学童保育や民間の学童保育を利用する必要はない」と答えた方に伺います。利用する必要はない理由は何ですか。(MA)

公立学童保育や民間の学童保育を利用する必要はないと答えた方の理由は、「子どもの母親か父親がみる」(83.1%) が最も多く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみる」(42.6%)、「塾やスポーツクラブなどに通う」(25.6%) となっています。



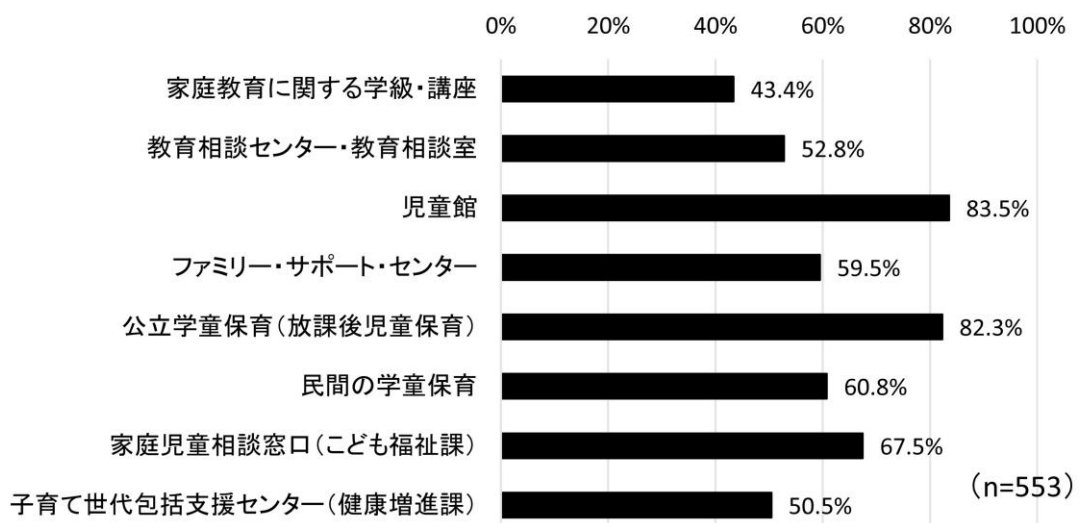
## 4 子育て全般について

【問 10】下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(SA)

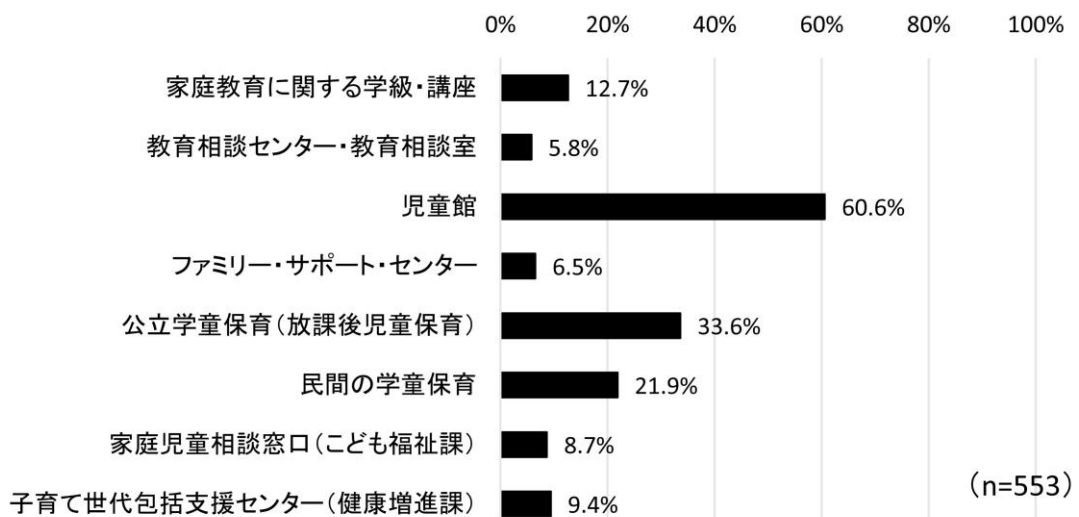
地域の子育て支援事業で「知っている」ものは「児童館」(83.5%)が最も多く、次いで「公立学童保育(放課後児童保育)」(82.3%)、「家庭児童相談窓口(こども福祉課)」(67.5%)となっています。

「利用したことがある」ものは、「児童館」(60.6%)が最も多く、次いで「公立学童保育(放課後児童保育)」(33.6%)、「民間の学童保育」(21.9%)となっています。

### ■ 認知度 (知っている「はい」に○)



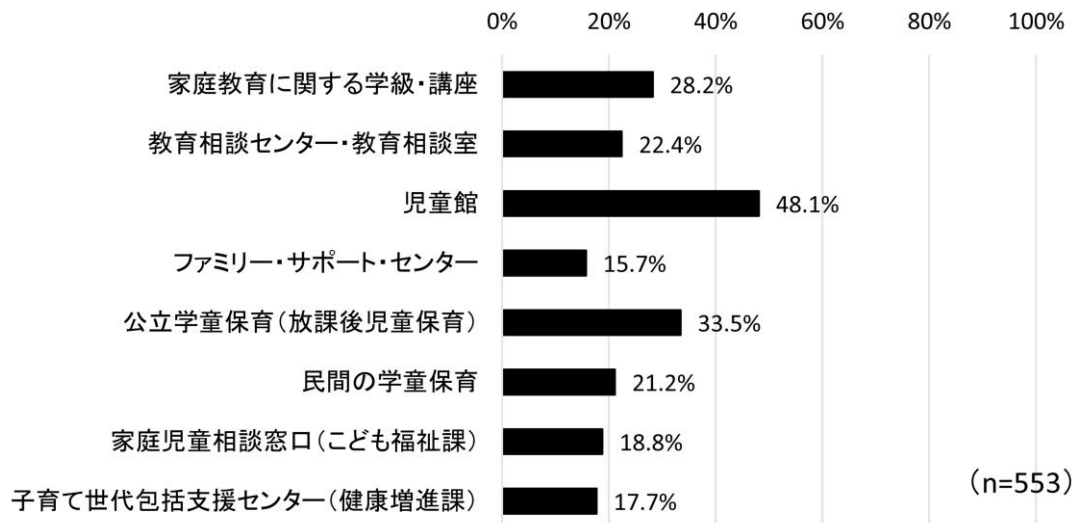
### ■ 利用経験 (利用したことがある「はい」に○)





「今後利用したい」ものは、「児童館」(48.1%)が最も多く、次いで「公立学童保育(放課後児童保育)」(33.5%)、「家庭教育に関する学級・講座」(28.2%)となっています。

■ 今後の利用希望(今後利用したい「はい」に○)

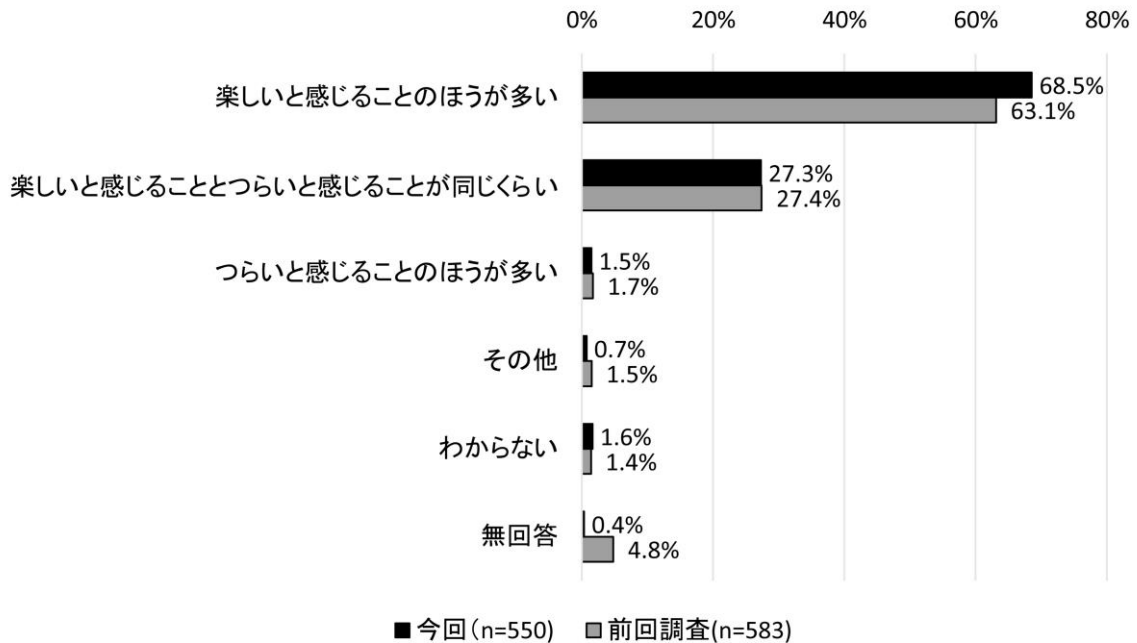


【問 11】あなたは、自分にとって子育ては楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いですか。(SA)

子育てに関する意識は、「楽しいと感じることが多い」(68.5%)が最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」(27.3%)、「つらいと感じることが多い」(1.5%)となっています。

全体の約7割の方が子育てを楽しいと感じています。

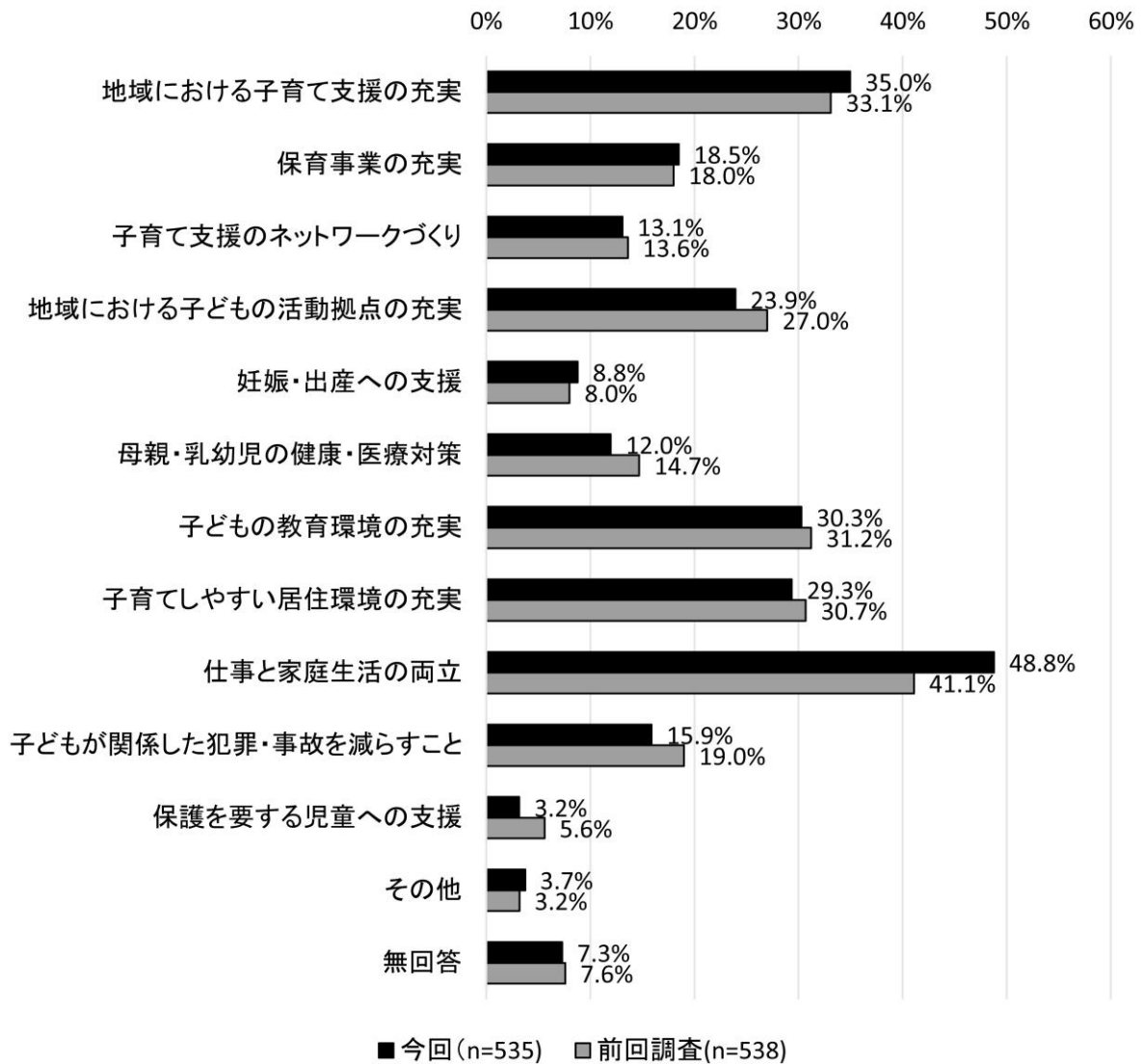
前回調査と比べ、回答の傾向は変わりませんが、「楽しいと感じることが多い」が5.4ポイント増えています。



【問 11-1】問 11 で「楽しいと感じることの方が多い」「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「つらいと感じることの方が多い」を回答された方に伺います。子育てをする中でどのような支援・対策が有効だと思いますか。また、自分にとって子育てのつらさを解消するために必要なことは何ですか。(MA (〇は3つまで))

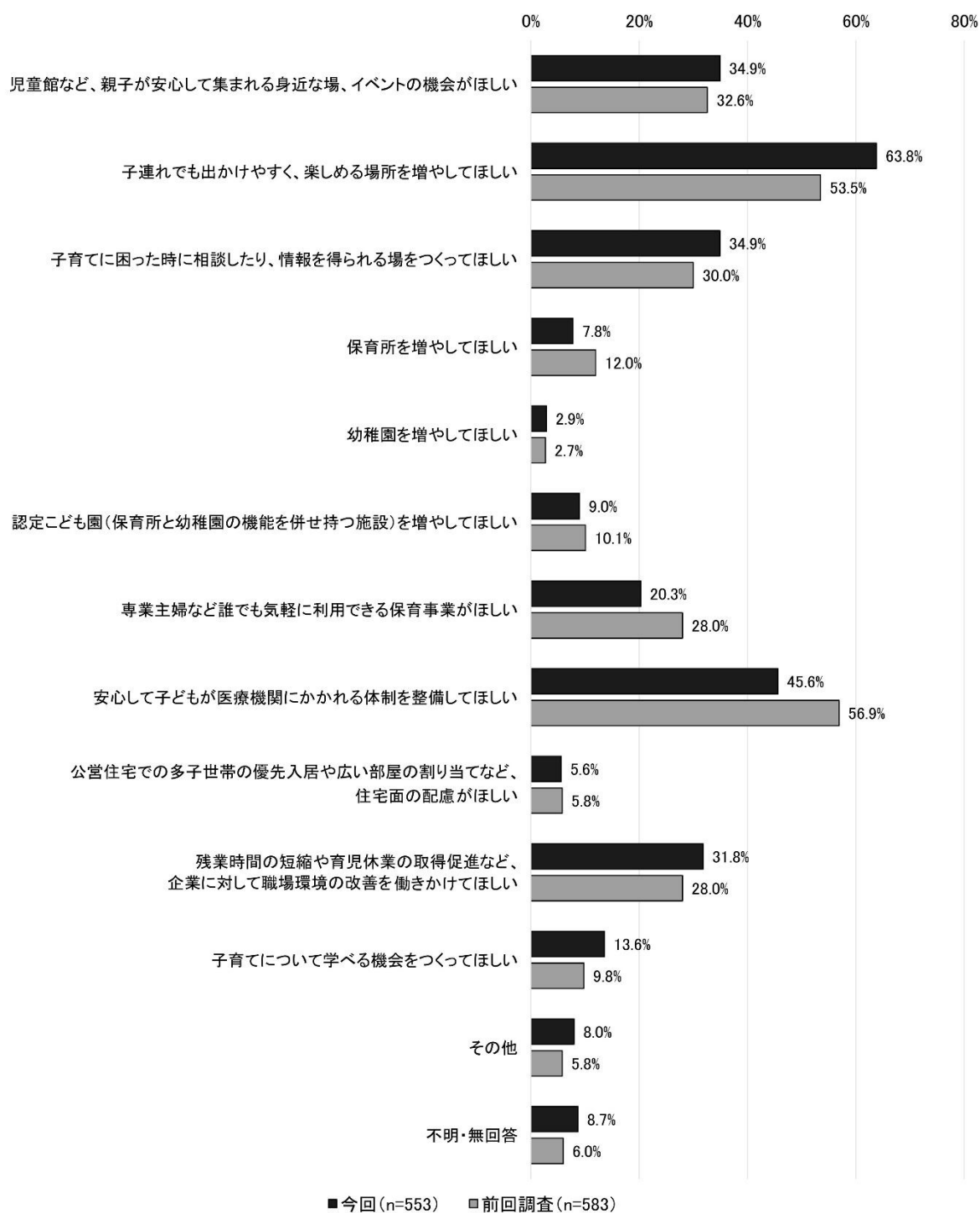
子育て環境の支援・対策で有効だと思うことは、「仕事と家庭生活の両立」(48.8%) が最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」(35.0%)、「子どもの教育環境の充実」(30.3%) となっています。

前回調査に比べ、「仕事と家庭生活の両立」が 7.7 ポイント増えています。



【問 12】 今後、子どもを安心して産み育てられる環境をつくっていくために、下野市に期待することは何ですか。(MA)

子育て環境をつくっていくために本市に期待することは、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」(63.8%)が最も多く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(45.6%)、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい」「子育てに困ったときに相談したり、情報を得られる場を作してほしい」(34.9%)の順に多くなっています。



## 第 3 章

### 自由回答



## 【就学前児童保護者・自由記入欄意見】

回答者数	自由記入欄への記載件数（割合）	記載内容件数
940	254件（27.0%）	424件

その他を除き、「公園などの遊び場について」の意見数が最も多く41件、次いで「生活環境について」30件、「情報提供について」23件・「保育園について」23件・「小中学校について」23件となっています。

「公園などの遊び場について」では、遊べる場所が多くてありがたいという意見と、公園の数が少ないという両方の意見があり、老朽遊具の改善やトイレの設置・おむつ替えスペースの設置など、利便性の向上を求める意見が多くなっています。

分類項目	該当意見件数
1 経済的支援について	20
2 情報提供について	23
3 悩み・相談について	18
4 就労について	7
5 保育園について	23
6 幼稚園について	10
7 認定こども園について	6
8 延長保育、休日預かり、一時預かりについて	16
9 病児・病後児について	6
10 障害児への支援について	7
11 学童保育について	18
12 ファミリー・サポート・センターについて	2
13 小中学校について	23
14 子育て支援センターや児童館などの施設について	21
15 公園などの遊び場について	41
16 生活環境について	30
17 医療機関について	17
18 健診・予防接種等について	21
19 医療費助成について	16
20 地域のイベント等について	13
21 リフレッシュ利用券の利用について	16
22 子育て全般について	12
23 子育て支援施策について	9
24 その他	49
合計	424件

### 【小学生児童保護者・自由記入欄意見】

回答者数	自由記入欄への記載件数（割合）	記載内容件数
553	198件（35.8%）	317件

「生活環境について」の意見数が最も多く45件、次いで「小中学校について」39件、「学童保育について」32件・「公園や児童館等の遊び場について」32件となっています。

「生活環境について」では、通学路への歩道や街灯の整備、通過車両や速度の抑制など交通安全の向上に関する意見があり、バスなど公共交通の充実に関する意見がありました。

分類項目	該当意見件数
1 経済的支援について	15
2 情報提供について	7
3 悩み・相談について	15
4 仕事と家庭の両立について	9
5 保育園について	3
6 幼稚園について	3
7 一時預かりについて	2
8 病児・病後児について	2
9 障害児への支援について	4
10 学童保育について	32
11 ファミリー・サポート・センターについて	5
12 放課後の過ごし方について	5
13 小中学校について	39
14 公園や児童館等の遊び場について	32
15 生活環境について	45
16 医療機関について	16
17 健診・予防接種等について	13
18 医療費助成について	12
19 地域のイベントについて	10
20 子育て全般について	20
21 子育て支援施策について	4
22 その他	24
合計	317件



## 第4章

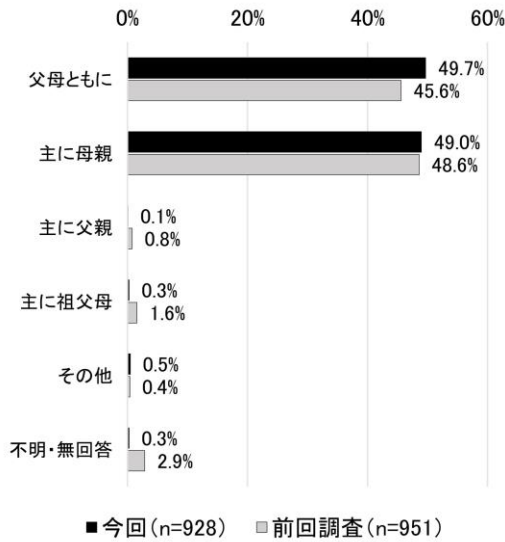
# 調査結果のとりまとめ



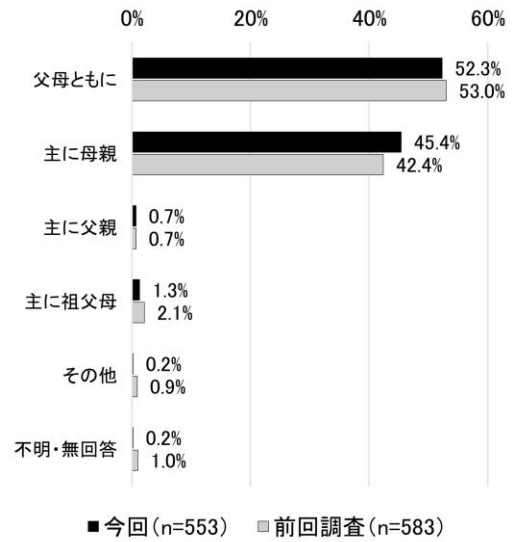
1 子育ての状況（就学前児童保護者：問4・6／小学生児童保護者：問4）

主に子育てを行っている方は、「父母ともに」が就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに約5割と最も多く、次いで「主に母親」が5割弱を占めています。就学前児童保護者の家庭類型別では、両親ともにフルタイムでの共働きでは「父母ともに」が59.8%と回答の半数以上となっていますが、38.8%は「主に母親」と回答しています。（9頁参照）

■ 主に子育てを行っている方(就学前児童保護者)



■ 主に子育てを行っている方(小学生児童保護者)

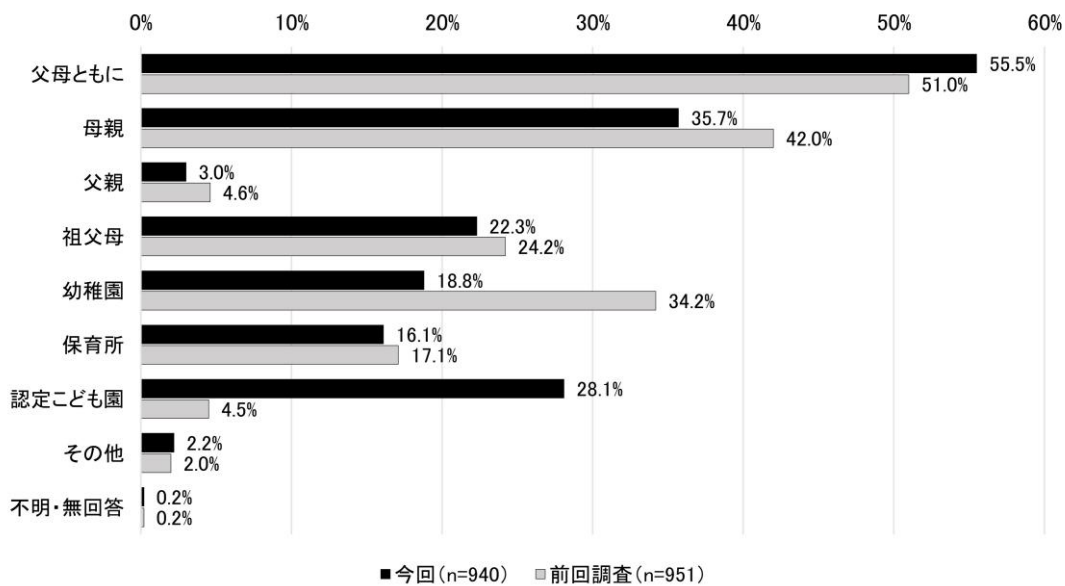


子育てに日常的に関わっている方（施設含む）は、「父母ともに」が55.5%、「母親」が35.7%を占め、「父親」は3.0%となっています。

前回調査に比べ、「幼稚園」が15.4ポイント減り、「認定こども園」が23.6ポイント増えています。

■ 日常的に子育てに関わっている方(施設含む・就学前児童保護者)

複数選択可



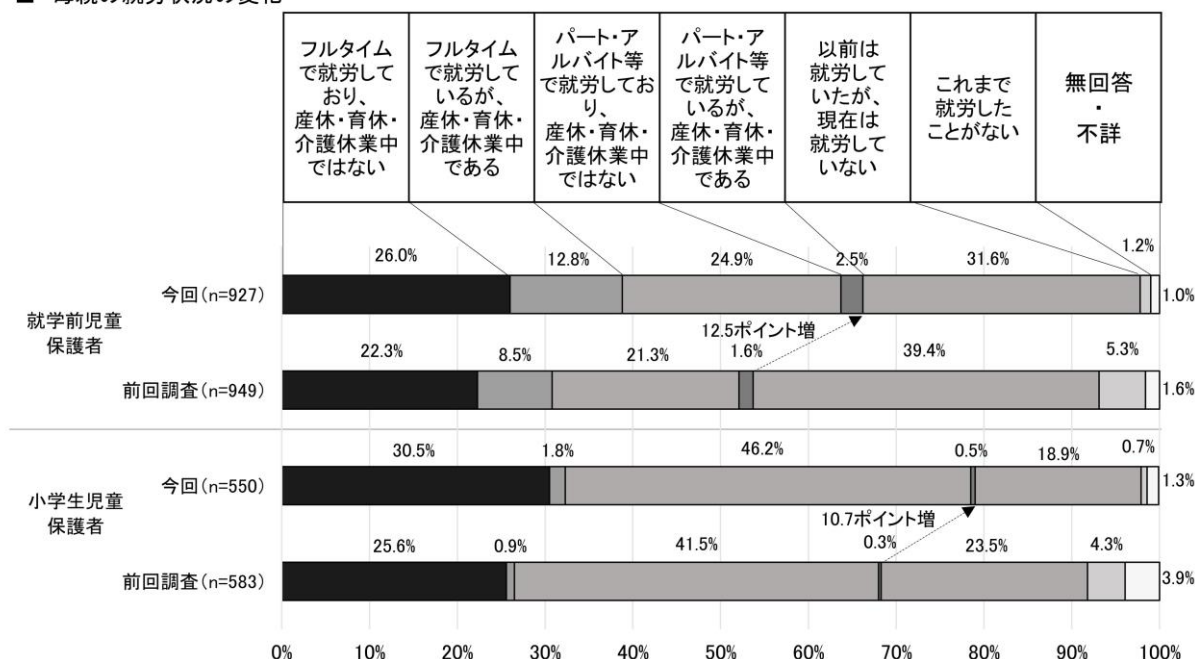
## 2 保護者の就労状況について（就学前児童保護者：問 10／小学生児童保護者：問 6）

母親の就労状況は、就学前児童保護者は「以前は就労していたが、現在は就労していない」（31.6%）、小学生児童保護者は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（46.2%）が最も多くなっています。

前回調査と比べて就労割合は、就学前児童保護者で 12.5 ポイント、小学生児童保護者で 10.7 ポイント増加しています。

1 日当たりの就労時間は、父親は就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに「10 時間以上」、母親は就学前児童保護者が「8～9 時間」、小学生児童保護者が「4～5 時間」が最も多い割合です。

### ■ 母親の就労状況の変化



### ■ 保護者の1日あたりの就労時間

単位%	就学前児童保護者				小学生児童保護者			
	父親		母親		父親		母親	
	前回調査 (n=863)	今回 (n=871)	前回調査 (n=510)	今回 (n=614)	前回調査 (n=531)	今回 (n=495)	前回調査 (n=398)	今回 (n=435)
4時間未満	0.2	0.0	4.3	2.8	0.8	0.2	3.9	1.8
4～5時間	0.3	0.3	17.6	17.4	0.4	0.2	31.6	<b>32.9</b>
6～7時間	1.4	1.4	23.9	29.5	1.4	1.4	23.9	24.3
8～9時間	34.5	41.1	<b>40.6</b>	<b>41.4</b>	36.9	41.0	<b>32.7</b>	32.4
10時間以上	<b>58.6</b>	<b>52.0</b>	12.0	7.8	<b>52.9</b>	<b>53.7</b>	6.5	7.4
無回答・不詳	4.9	5.1	1.6	1.1	7.7	3.4	1.5	1.1

割合: % [ ] : 最大値

就労していない母親の今後の就労希望は、就学前児童保護者で 54.0%、小学生児童保護者で 63.9%あり、希望する就労形態は、就学前児童保護者でパート・アルバイト等 48.2%、小学生児童保護者でパート・アルバイト等 47.8%となっています。（19 頁、80・81 頁参照）

就学前児童保護者で、両親ともにフルタイムの共働きでは 38.8%、どちらかパート・アルバイトの共働きでは 47.0%が、子育てを主に行っている人は母親と回答しており、父母ともに子育てに参加している割合が高い一方で、依然として母親が中心的な役割を担っていることがう

かがえます。(9頁参照)

前回調査時よりも、就労している母親が増えており、また、就労を希望する母親も多いことから、母親の子育ての負担が父親よりも大きいことが考えられます。そのため、母親だけではなく、父親の仕事と子育てが両立できる環境づくりを進める必要があります。

### 3 教育・保育事業の利用状況について (就学前児童保護者：問13・14)

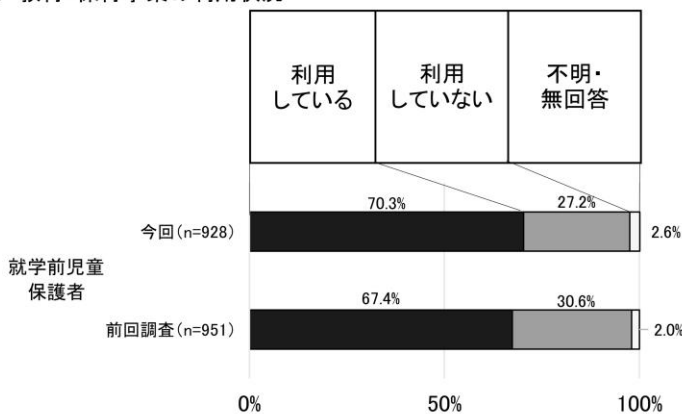
教育・保育事業の利用状況は、「利用している」(70.3%)が最も多く、「利用していない」(27.2%)を上回っています。前回調査と比べ「利用している」が2.9ポイント増加しています。

利用している教育・保育事業は、「認定こども園(1・2・3号認定)」(50.9%)、「1号認定」(26.1%)・「2・3号認定」(24.8%)が最も多く、次いで「幼稚園」(22.7%)、「保育園」(22.7%)となっています。(22頁参照) 前回調査に比べ、「認定こども園(1・2・3号認定)」(「1号認定」(42.2%)・「2・3号認定」(38.7%))が42.6ポイント増加しています。

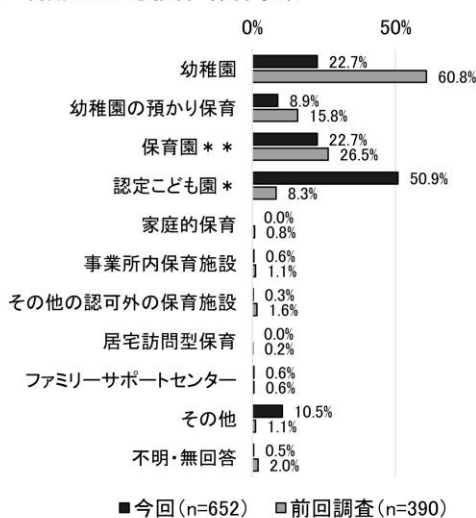
また、今後利用したい事業では「認定こども園(1・2・3号認定)」が80.9%と多い割合になっており、認定こども園の需要が高まっています。(30頁参照)

なお、前回調査後の平成27年4月から子ども子育て支援新制度が始まり、3つの認定区分(1号～3号)に応じて、申し込み及び施設の利用が決まるようになりました。

■ 教育・保育事業の利用状況

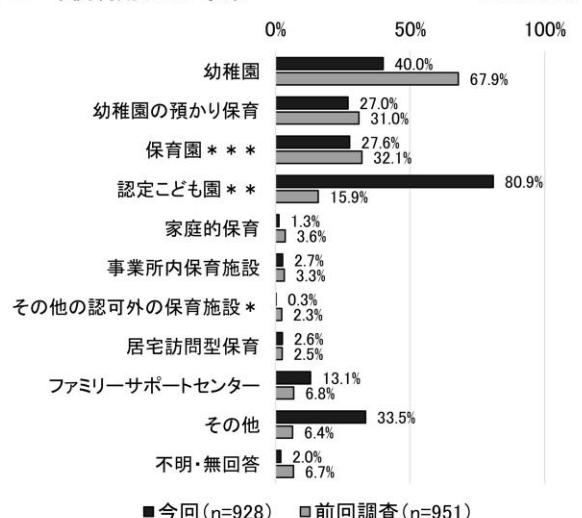


■ 利用している教育・保育事業



\* 今回は、1号認定と2・3号認定の合計  
\*\* 今回は、認可保育所

■ 今後利用したい事業



\* 前回は、自治体の認証・認定保育施設を含む  
\*\* 今回は、1号認定と2・3号認定の合計  
\*\*\* 今回は、認可保育所

#### 4 保育園探しについて（就学前児童保護者：問 16）

1年間での保育施設探しの状況は、「探した・探している」は19.2%となっており、その割合は0歳が最も多く、子どもの年齢が高くなると割合が減少する傾向にあります。（33頁参照）

保育施設を探していないと回答した方の探さなかった理由は、「教育施設に入園するつもりだから」（35.0%）が多くなっています。（34頁参照）

就労している母親の増加とともに、保育施設を探している割合も前回調査と比較して増加傾向にある一方で、探していない方の35.0%は、「教育施設に入園する予定だから」と回答していることから「認定こども園」へのニーズの高まりが想定されます。

#### 5 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童保護者：問 17・19）

地域子育て支援センターの利用状況は、利用していない方が75.0%で最も高くなっているものの、年齢によって利用に差があり、0歳では利用しているとの回答は42.0%あり、年齢が高くなると利用が減少していく傾向にあります。（35頁参照）

就学前児童で利用経験のある事業は、「地域子育て支援センター」、「児童館」、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」、「育児ママ・パパリフレッシュ利用券」が4割以上となっています。（38頁参照）

地域子育て支援センターや市が実施する事業やサービス等については、子どもの年齢や、必要性の有無などの理由によって利用状況が大きく異なっている状況がうかがえます。そのため、地域子育て支援センター等、現在市で実施している各種事業やサービス、設置している施設が十分に利用されるよう、市民のニーズを的確に把握していくとともに、対象を絞った周知啓発が必要です。

#### 6 土曜日、日曜日・祝日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用

（就学前児童保護者：問 20・21）

定期的な教育・保育事業の利用は、土曜日や日曜日・祝日は希望が少ない（「利用する必要がない」が65%以上）です。（40・42頁参照）

教育施設を利用している保護者は長期休暇では希望が多く（「利用する必要がない」が30.2%）、父母ともに共働きをしている家族で長期休暇中の利用意向が高くなっています。（44頁参照）

このような市民ニーズを的確に把握し、適切な事業を進める必要があります。

#### 7 子どもが病気の際の対応について（就学前児童保護者：問 22）

子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育施設が「利用できなかったことがあった」保護者の方は45.0%いました。対処方法は「母親が休んだ」（73.4%）が最も多く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（37.3%）、「父親が休んだ」（27.3%）となっています。母親が休んだ日数は「6～10日」が22.5%と最も多く、母親の負担が大きい状況です。（47頁参照）

このような市民ニーズを的確に把握し、事業の提供方法や実施について検討する必要があります。

## 8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について（就学前児童保護者：問 23・25）

### <不定期の教育・保育事業等の利用>

不定期の教育・保育事業等の利用状況は、「利用していない」（71.2%）が最も多く、次いで「一時預かり」（13.8%）、「幼稚園の預かり保育」（13.5%）となっています。（49 頁参照）年齢別では、0～2 歳では「一時預かり」の利用割合が多く、3～5 歳では「幼稚園の預かり保育」が多くなっています。家族類型別では、「両親ともにフルタイムの共働き」の家族と「母親か父親のどちらかは在宅」の家族で、「一時預かり」の利用割合が多くなっています。（50 頁参照）

不定期に事業を利用している人は少ない状況ですが、利用している事業では、子どもが大きくなると「幼稚園の預かり保育」の利用が多くなっています。このような状況に柔軟に対応できる仕組みづくりが求められます。

### <宿泊を伴う一時預かり>

保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならないことが「あった」は 15.3%、「なかった」は 83.8%となっています。

「あった」は、年齢別では 2 歳児の保護者がやや多く（24.2%）、家庭類型別ではひとり親家庭がやや多く（20.7%）なっています。（54 頁参照）

対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」（84.5%）が最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」（14.1%）、「認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した」（2.8%）となっています。（55 頁参照）

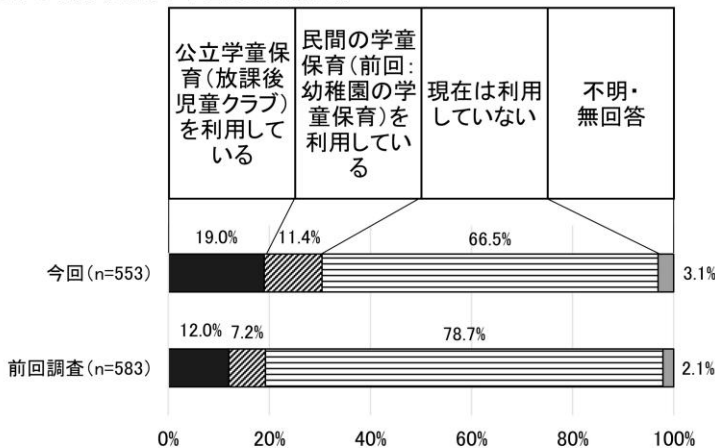
「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が主な対応方法となっていますが、「仕方なく子どもを同行させた」が次いでおり、柔軟に対応できる仕組みづくりが求められます。

9 放課後の過ごし方について（就学前児童保護者：問26／小学生児童保護者：問7・8・9）

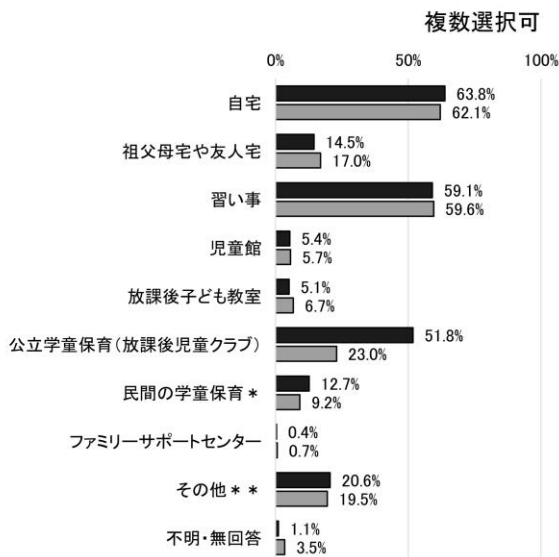
学童保育の利用状況は、「現在は利用していない」（66.5%）が最も高い割合です。前回調査と比べ「現在は利用していない」が12.2ポイント減少しています。

希望する放課後の過ごし方は、小学校1～3年生では「自宅」（63.8%）、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（59.1%）、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」（51.8%）の順で高く、小学校4～6年生でも「自宅」（75.5%）、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）」（63.5%）、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」（23.0%）の順で高くなっています。「自宅」、「習い事」の割合は、小学校1～3年生に比べ小学校4～6年生の方が多くなっています。

■ 学童保育の利用状況(小学生児童保護者)

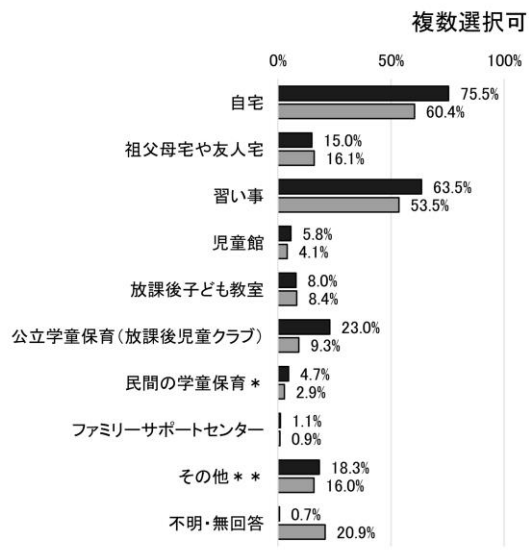


■ 希望する放課後の過ごし方(小学校1～3年生)



■ 今回(n=276) □ 前回調査(n=282)  
 \* 前回調査では、幼稚園の学童保育  
 \*\* 今回は、放課後デイサービスとその他の合計

■ 希望する放課後の過ごし方(小学校4～6年生)



■ 今回(n=274) □ 前回調査(n=583)  
 \* 前回調査では、幼稚園の学童保育  
 \*\* 今回は、放課後デイサービスとその他の合計



平成31年度入学予定児（5歳児）の、小学校1～3年生までの希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が42.5%で最も多く、次いで「公立学童保育（放課後児童クラブ）」が38.8%となっています。（57頁参照）また、4～6年生になった時の希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が40.6%で最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」が34.4%となっています。（58頁参照）

小学生児童の、小学校1～3年生までの希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が63.8%で最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」が59.1%で、小学校4～6年生になった場合の希望する放課後の過ごし方は、「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」が52.9%で最も多く、次いで「自宅」が52.5%となっています。（83頁参照）

小学校4～6年生の希望する放課後の過ごし方は、「自宅」が75.5%と最も多く、次いで「習い事（音楽、スポーツ、学習塾など）」が63.5%となっています。（84頁参照）

小学生児童の放課後の過ごし方として、学童保育の利用は小学校1～3年生までは利用が多く、ニーズも高いことがうかがえますが、学年が上がると利用は減っています。

希望する過ごし方では、自宅や習い事の意向が高く、学童保育の利用意向は学年が上がると減っていく傾向にあり、現状の利用状況とも一致しています。

平成31年度就学予定児（5歳児）の希望する放課後の過ごし方も、おおむね小学生児童と同様の傾向となっていますが、1～3年生の公立学童保育への利用意向は38.8%あり、就労を希望する母親も多いことから、一定のニーズはあると考えられます。（57頁参照）

また、土曜日、日曜日・祝日は利用意向が少なくなっていますが、長期休暇での利用意向が多く、ニーズの高さがうかがえます。（61・62頁参照）

今後も、利用者のニーズに対応しながら事業の提供と拡充に努める必要があります。

## 10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童保護者：問 28）

育児休業制度の利用状況は、母親は「取得した（取得中である）」（45.7%）が最も多いのに対して、父親は「取得した（取得中である）」（4.5%）となっています。

前回調査と比べ、「取得した（取得中である）」が母親は14.8ポイント増加しています。

年齢別では、0歳児の保護者が最も多く（55.6%）なっています。（64頁参照）

育児休業制度を取得しなかった理由は、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」（56.1%）が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」・「その他」（19.5%）、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」（11.0%）となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」（35.4%）が最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」（33.2%）、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」（33.1%）、「配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（29.6%）となっています。

（65頁参照）

女性の育児休業を取得しない割合（働いていなかった割合を含む）が5割を超え、その理由として「子育てで家事に専念するために退職した」が最も多くなっていることから、仕事と子育てや家事の両立に難しさを感じる女性が多くいることがうかがえます。また、男性の育児休業取得状況が低く、取得しなかった理由として仕事の忙しさや、職場の雰囲気が上げられており、男性も育児休業を取得しやすい職場づくりや、周知啓発を進めていく必要があります。

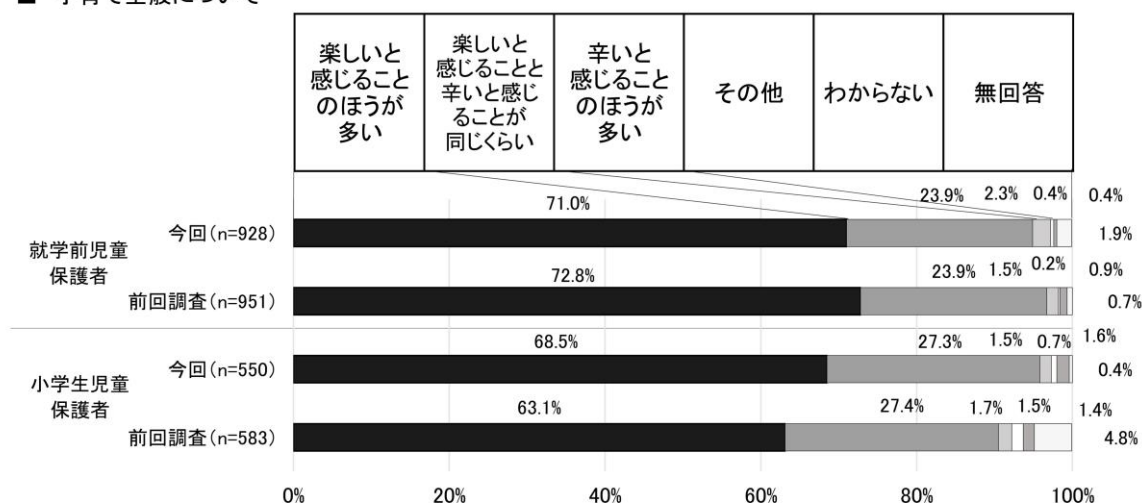
## 11 子育て全般について（就学前児童保護者：問 29／小学生児童保護者：問 11）

子育てについて、就学前児童保護者及び小学生児童保護者ともに「楽しいと感じることのほうが多い」が最も多く、就学前児童保護者 71.0%、小学生児童保護者 68.5%となっています。前回調査と比べて、就学前児童保護者で 1.8 ポイント減少、小学生児童保護者で 5.4 ポイント増加しています。

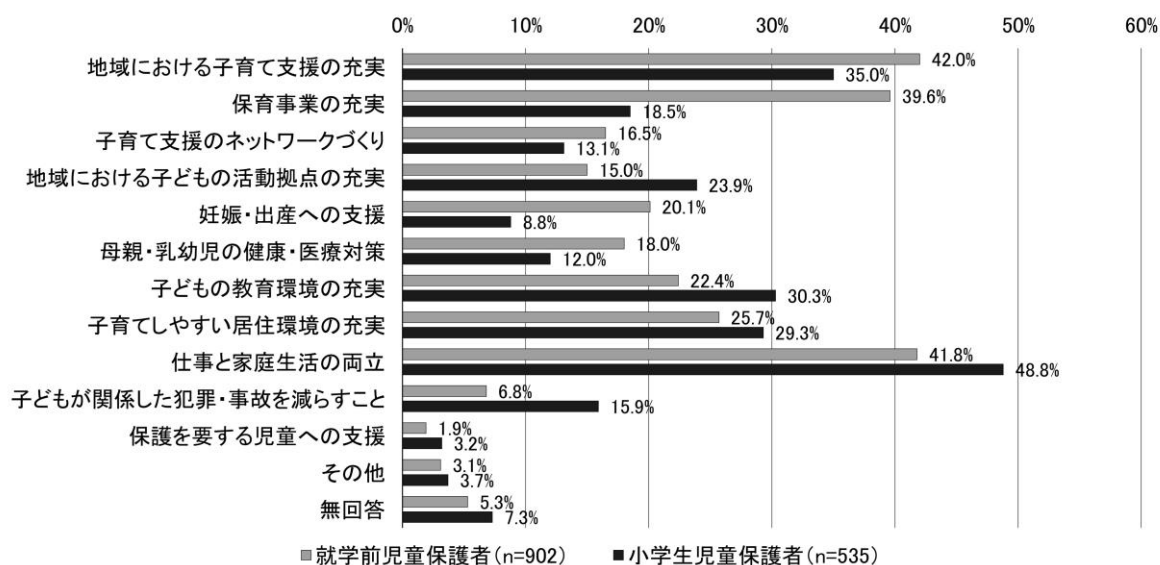
また、必要な子育て支援・対策については、就学前児童保護者では「地域における子育て支援の充実」が 42.0%・小学生児童保護者では「仕事と家庭生活の両立」が 48.8%と最も多く、次いで就学前児童保護者では「仕事と家庭生活の両立」が 41.8%・小学生児童保護者では「地域における子育て支援の充実」が 35.0%となっており、三番目は、就学前児童保護者は「保育事業の充実」(39.6%)・小学生児童保護者は「子どもの教育環境の充実」(30.3%)となっています。

家庭・地域・職場全体で子育てしやすい環境づくりを進める必要があります。

### ■ 子育て全般について



### ■ 必要な子育て支援・対策



## 12 子育て環境をつくっていくために下野市に期待すること

(就学前児童保護者：問 30／小学生児童保護者：問 12)

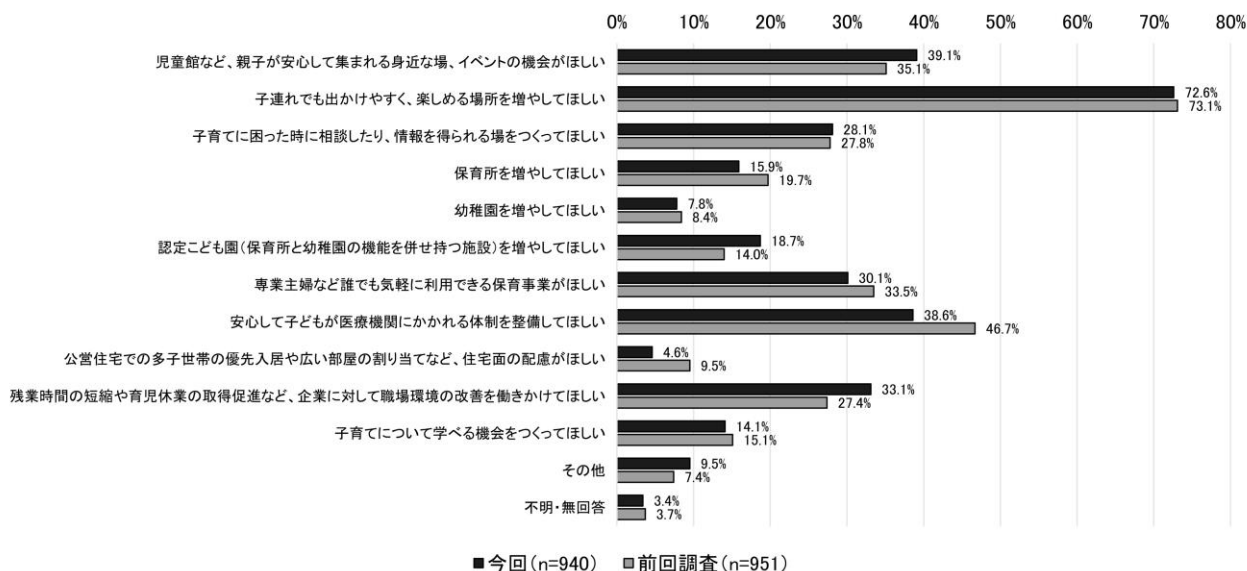
子育てについて、就学前児童保護者・小学生児童保護者ともに「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」が最も高く、就学前児童保護者 72.6%・小学生児童保護者 63.8% となっています。

次いで、就学前児童保護者は「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい」(39.1%/前回三番目・4.0ポイント増加)・小学生児童保護者は「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(45.6%/前回一番目・11.3ポイント減) となっています。

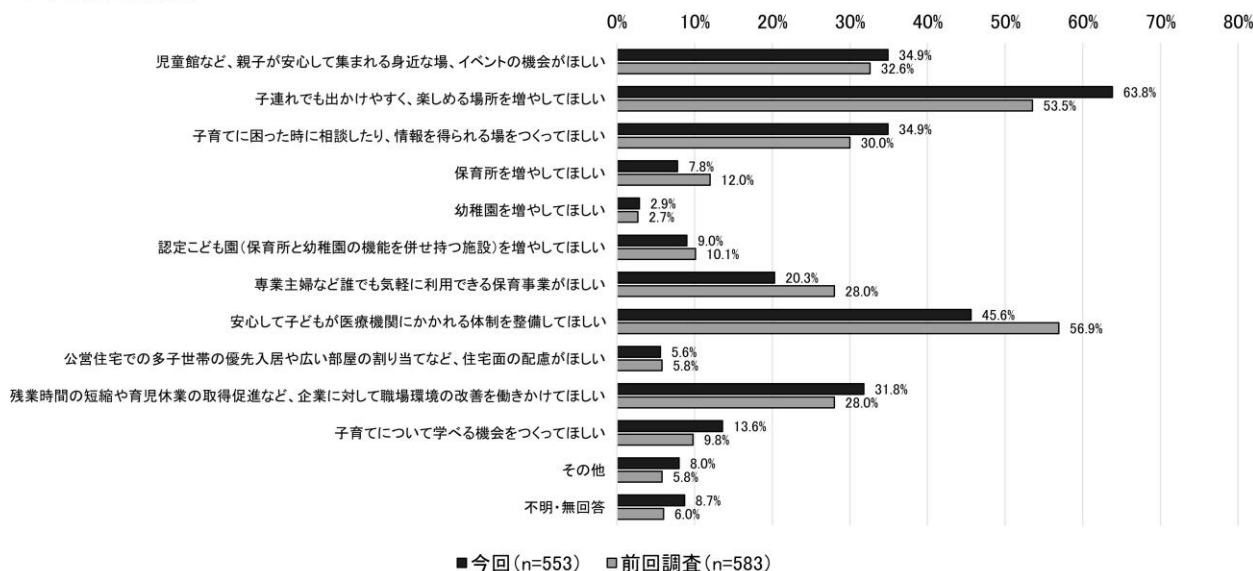
前回調査と比べて、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」は、就学前児童保護者で0.5ポイント減少していますが、小学生児童保護者で10.3ポイント増加しています。また、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」は、就学前児童保護者で8.1ポイント減少、小学生児童保護者で11.3ポイント減少しています。

### ■ 子育て環境をつくっていくために下野市に期待すること

#### 就学前児童保護者



#### 小学生児童保護者



## 第5章 使用した調査票



就学前児童保護者調査

下野市  
子育て支援ニーズ調査ご協力のお願い

市民のみなさまには、日ごろから市政発展へのご理解とご協力をいたただき誠にありがとうございます。

さて、下野市では、平成27年度から実施している「下野市子ども・子育て支援事業計画（子育て応援しもつけ子プラン）」の第2期計画を策定することとなり、市民のみなさまの子ども・子育てに関する生活実態やご意見・ご要望などを把握するため、ニーズ調査を実施することといたしました。

この調査は、住民基本台帳の中から小学校就学前のお子さん1,400名を無作為に選び、その保護者の方にお願います。

ご回答いただいた内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただきますので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容がほかにもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のことは存じますが、よりよい計画とするための重要な調査ですので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいませよう、お願い申し上げます。

平成30年12月

下野市長 広瀬寿雄

あなたの声が、  
下野市の  
子育て環境をつくります！

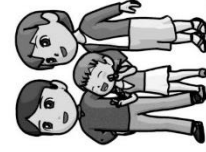


子ども・子育て支援事業計画とは？

「下野市子ども・子育て支援事業計画（子育て応援しもつけ子プラン）」は、①幼児期の質の高い教育・保育の総合的な提供、②保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善、③地域の子ども・子育て支援の充実を目指す計画で、近年の子ども・子育てを取り巻く環境の変化等を踏まえ、子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援する環境を整備するための指針として、平成27年に策定しました。平成31年度に計画期間が満了することから、本意向調査結果を踏まえ、平成32年度からの第2期計画として策定します。



子ども・子育て支援の意義＝子どもが健やかに成長することができる社会の実現



教育・保育・就労・生活環境  
を社会全体で整備

この子ども・子育て支援の意義に基づき、子育ての第一義的責任は親であり、家庭が教育の原点であるという前提のもと、保護者が、子育てについての責任を果たせるよう、課題解決に向けた取り組みを進めます。

- 幼児期の質の高い教育・保育の総合的な提供
- 待機児童解消に向けた保育の量的拡大・確保及び子どもが減少傾向にある地域の保育支援
- 地域の子育て環境の一層の充実

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

幼稚園	学校教育法に定める、満3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）※下野市内では「保育園」の名称を使用しています
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われること
教育	問12までは家庭での教育を含めた広い意味、問13以降は幼児期（3歳から5歳）の学校における教育の意味で用いている

平成31（2019）年10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化について報道がなされています。

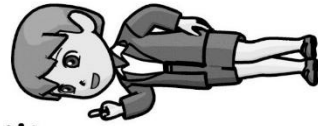
それによりますと、3～5歳児の幼稚園・保育所・認定こども園の保育料は原則無償（幼稚園は月25,700円を上限）、その他幼稚園における預かり保育や認可外保育施設の保育料（利用料）についても、保育の必要性の認定事由に該当するお子さんに限り月37,000円まで（預かり保育は幼稚園保育料の上限25,700円を含む）無償化の対象となることが示されました。また、0～2歳児につきましても、住民税非課税世帯に限り無償化の対象（月42,000円を上限）となることが示されました。（平成30年5月 内閣官房「幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会報告書」より）



※今後さらに詳細な内容が示されることと思われますが、現時点の内容から変更になる場合も想定されます。



今回の調査につきましては、より実態に即したニーズを把握するため、上記の無償化が実施されたことを想定したうえで、利用の希望等をご回答いただければ、よろしくお願いたします。



## 下野市 子育て支援ニーズ調査・調査票

### ご記入にあたってのお願い

1. 封筒の宛名のお子さんについて、お答えください。
2. 無作為抽出のため、お子さんが2人以上の場合、2通以上届く可能性があります。お忙しいところ大変恐縮ですが、それぞれのお子さんについてご回答いただけますようお願いいたします。
3. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。
4. 回答は、当てはまる回答の数字に○印をつけていただく場合と、数字を記入する場合があります。また、設問によって○印をつける数異なります。必ず、注意書きに沿ってご記入ください。
5. ご記入いただいたアンケートは、**平成30年12月25日（火）**までに、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。



調査に関するご質問は…  
下野市健康福祉部 とも福祉課 電話0285-32-8903  
までお問い合わせください。





### 1 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問1 お子さんの生年月をご記入ください。(数字は一枚に一字)  
平成  年  月  日 生まれ

問1-1 お子さんも含めて子どもは何人ですか。また末子の方の生年月をご記入ください。  
(数字は一枚に一字)  
子どもの数  人 末子の生年月 平成  年  月  日 生まれ

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみただけでお答えください。  
(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ( )

問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問4 お子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。お子さんからみただけでお答えください。(○は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親  
4. 主に祖父母 5. その他 ( )

問5 お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つ)

1. 薬師寺小学校 2. 吉田東小学校 3. 吉田西小学校 4. 祇園小学校  
5. 緑小学校 6. 石橋小学校 7. 古山小学校 8. 細谷小学校  
9. 石橋北小学校 10. 国分寺小学校 11. 国分寺西小学校 12. 国分寺東小学校

学校名	通学区域
薬師寺小学校	下原、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、日生団地、成田、町田上、町田下、谷地賀上、谷地賀下(箕輪地区を除く)、下文狭、東田中、西田中、地久目臺、仁良川上、仁良川下の各自治会区域
吉田東小学校	本吉田北、本吉田南、塚越、磯部、川島、上吉田、三玉山、鯉沼、谷地賀下(箕輪地区に限る)の各自治会区域
吉田西小学校	細板、細板台、台坪山、的場、上坪山、東根、西坪山の各自治会区域
祇園小学校	祇園町、西区、自治医大職員住宅の各自治会区域、祇園一丁目から祇園五丁目までの区域、医大前一丁目から医大前四丁目までの区域
緑小学校	緑一丁目から緑六丁目、烏ヶ森一丁目、二丁目、小金井上町(JR宇都宮線西側)
石橋小学校	石橋上町、寿町、石町、旭町、本町、栄町、上大領、中大領、東前原、下大領、入の谷、下石橋、富士見町、グンゼ、ピレッジハウスの各自治会区域
古山小学校	下古山、通古山、下長田、石橋上町、第二雇用団地の各自治会区域
細谷小学校	上台、細谷、橋本の各自治会区域
石橋北小学校	上古山、上原、若林の各自治会区域
国分寺小学校	駅前、仲町、小金井上町(JR宇都宮線西側)、関根井、小金井北、佐原、箕輪、川東、桑町、鏡町、川北、川南、下町の各自治会区域
国分寺西小学校	川西、南国分、国分1、国分2、国分3、紫の各自治会区域
国分寺東小学校	紫南1、紫南2、紫南3、紫南4、紫南5、紫南6、あづま町、旭ヶ丘、日出町、紫北1、紫北2、紫北3、紫北4、丸野町、駅東の各自治会区域



### 2 宛名のお子さんの環境についてうかがいます

問6 お子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母  
5. 幼稚園 6. 保育所 7. 認定こども園 8. その他 ( )

問7 お子さんの子育て(教育を含む)にもっとも影響すると思われる環境は何だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所 5. 認定こども園 6. その他 ( )  
問8 日ごろ、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる  
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる  
5. いずれもない ⇒問9へ

### 【問8で「1」～「4」(祖父母等の親族や友人・知人にみてもらえる)を選択した方】

問8-1 お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	①祖父母等の親族	②友人・知人
身体的負担が大きく心配である	1	1
時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	2	2
自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	3	3
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	4	4
その他 ( )	5	5
	6	6

問9 お子さんの子育て(教育を含む)をすす上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所はありますか。(○は1つ)

1. いる/ある ⇒問9-1へ 2. いない/ない ⇒問10へ

### 【問9で「1」(いる/ある)を選択した方】

問9-1 気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人  
3. 近所の人 4. 子育て支援施設(子育て支援センター・児童館等)・NPO  
5. 保健福祉センター(保健師等) 6. 幼稚園・保育所・認定こども園等  
7. 民生委員・児童委員 8. かかりつけの医師  
9. 自治体の子育て関連担当窓口 10. その他 ( )



**3 宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます**

この項目に出てくる「フルタイム」「パート・アルバイト等」とは…

- フルタイム 1週5日程度・1日8時間程度の就業
- パート・アルバイト等 フルタイム以外の就業



問 10 お子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（それぞれ○は1つ）	①母親	②父親
フルタイムで就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイムで就業しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
パート・アルバイト等で就業しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
パート・アルバイト等で就業しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
以前は就業していたが、現在は就業していない	5	5
これまで就業したことがない	6	6

⇒問 10-1 10-1 週間あたり 1日当たり ○ 時間

**【問 10の①母親と②父親でそれぞれ「1」～「4」（就業していない）を選択した方】**

※就業回数や就業時間が一定ではない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

問 10-1 週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間（就業時間を含む）」をお答えください。（数字は1枠に1文字）

①母親	1 週間あたり	日	1 日当たり	時間
②父親	1 週間あたり	日	1 日当たり	時間
問 10-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（24時間制で記入。数字は1枠に1文字）				
①母親	家を出る時刻	時	帰宅時刻	時
②父親	家を出る時刻	時	帰宅時刻	時

**【問 10の①母親と②父親でそれぞれ「3」または「4」（パート・アルバイト等）を選択した方】**

問 11 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）	フルタイムへの転換希望がある見込みがある	1	①母親	②父親
	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	1	1
	パート・アルバイト等就業を続けることを希望	3	2	2
	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	3	3
		4	4	4

⇒問 13 13-1 週間あたり 1日当たり ○ 時間

**【問 10の①母親と②父親で「5」または「6」（就業していない）を選択した方】**

問 12 就業したいという希望はありますか。

①母親（番号と記号それぞれ○は1つ。数字は1枠に1文字）

1. 子育てや家事などに専念したい（就業の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就業したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい

（希望する就業形態）

フルタイム  
 イ・パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）  
 ⇒ 1 週間あたり ○ 日 1 日当たり ○ 時間

②父親（番号と記号それぞれ○は1つ。数字は1枠に1文字）

1. 子育てや家事などに専念したい（就業の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就業したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい

（希望する就業形態）

フルタイム  
 イ・パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）  
 ⇒ 1 週間あたり ○ 日 1 日当たり ○ 時間

**4 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況についてうかがいます**

問 13 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（○は1つ）

1. 利用している ⇒問 13-1～4 へ
2. 利用していない ⇒問 13-5 へ

**【問 13で「1」（利用している）を選択した方】**

問 13-1 お子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通して「定期的」に利用している事業の番号をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）	1. 幼稚園の預かり保育（1.の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業【定期的な利用の場合】）
3. 認定こども園（教育（1号）認定による通常の教育時間の利用）	4. 認定こども園の一時預かり保育（3.の通常の教育時間に加え、延長して預かる事業）
5. 認可保育所（市等の認可を受けた施設）	6. 認定こども園（保育（2号・3号）認定による利用）
7. 小規模保育施設（市等の認可を受け、低年齢児を対象に少人数の子どもを保育する施設）	8. 家庭的保育（市等の認可を受け、保護者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
9. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）	10. 家庭保育室（市等の指定を受けた認可外保育施設）
11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのように、保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業）	12. その他の認可外保育施設
13. ファミリー・サポート・センター（地域における子育ての援助活動、保育所等への送迎や学童保育終了後の預かりを行う事業）	14. 児童発達支援センター・児童発達支援事業所（心身に障害または発達遅れのある就学前児童に、集団生活への適応訓練などを行う施設）
15. その他（ ）	

【問 13で「1」(利用している)を選択した方】

問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たりの利用日数、1日当たりの利用時間と時間帯(同時から同時まで)をお答えください。  
(24時間制で記入。数字は一位に一字)

(1) 現在	1週当たり	日	1日当たり	時間	時	時	時
(2) 希望	1週当たり	日	1日当たり	時間	時	時	時

【問 13で「1」(利用している)を選択した方】

問 13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。下野市内を選ばれた方は施設名を、市外を選ばれた方は自治体名をお書きください。(〇は1つ)

1. 下野市内(施設名: ) 2. 市外(自治体名: )

問 13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。

(あてはまるものすべてに〇)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定である/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方に病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他( )

⇒問 14ハ

【問 13で「2」(定期的な教育・保育事業を利用していない)を選択した方】

問 13-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇、数字は一位に一字)

1. 利用する必要がある(子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空がない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(  歳くらいになったら利用しようと考えている )
9. その他( )



問 14 すべての方にかかっています。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育制度として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(あてはまるものすべてに〇)

※これらの事業の利用には、一定の利用負担が発生する場合があります。

- |   |  |
|---|--|
| 1. 幼稚園<br>(通常の就園時間の利用)  | 2. 幼稚園の預かり保育<br>(1.の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業【定期的な利用の場合】)                |
| 3. 認定こども園<br>(教育(1号)認定による通常の教育時間の利用)                              | 4. 認定こども園の一時預かり保育<br>(3.の通常の教育時間に加え、延長して預かる事業)                         |
| 5. 認可保育所<br>(市等の認可を受けた施設)   | 6. 認定こども園<br>(保育(2号・3号)認定による利用)  |
| 7. 小規模保育施設<br>(市等の認可を受け、低年齢児を対象に少人数の子どもを保育する施設)                   | 8. 家庭的保育<br>(市等の認可を受け、保護者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)                         |
| 9. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する施設)                                 | 10. 家庭保育室<br>(市等の指定を受けた認可外保育施設)  |
| 11. 居宅訪問型保育<br>(ベビーシッターのように、保育者が子どもを家庭を訪問し保育する事業)                 | 12. その他の認可外の保育施設   |
| 13. ファミリー・サポート・センター<br>(地域における子育ての援助活動、保育所等への送迎や学童保育終了後の預かりを行う事業) | 14. 児童発達支援センター・児童発達支援事業所<br>(心身に障害または発達の遅れがある就学前児童に、集団生活への適応訓練などを行う施設) |
| 15. その他( )  |  |

問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(〇は1つ)

1. 下野市内 ) 2. 市外(自治体名: )

問 14-2 問 14で「1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に〇をつけ、かつ3～15にも〇をつけた方にかかっています。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育)をあげて利用する場合は(含む)の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に〇をつけてください。

1. はい ) 2. いいえ )



問 15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業を  
選んだ際に、重視する点はどのようなことですか。(○は5つまで)

1. 自宅の近く  
 3. 職場の近く  
 4. 駅の近く  
 5. 兄弟姉妹が通っている  
 7. 乳児保育を実施している  
 9. 施設・設備が清潔で整っている  
 11. 給食を提供している  
 13. 地域の評判がよい  
 15. 園長・職員スタッフ等の対応や園の印象がよい  
 17. 行事が充実している

2. 子どもが通来通う小学校のある居住地区内にあること  
 6. 夜間や休日、延長保育に対応している  
 8. 病児や病後児の対応を行っている  
 10. 送迎サービスを行っている  
 12. 駐車場がある  
 14. 利用料が安い  
 16. 保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを提供している  
 18. その他( )

職場の場所 (○は1つ)  
 ア 職場が市内 イ 職場が市外  
 駅の種類 (○は1つ)  
 ア 小金井駅 イ 自治医大駅  
 ウ 石橋駅 エ その他( )

**5 宛名のお子さんの保育施設探しについてうかがいます**

問 16 あなたは、お子さんを預けるため、この1年間で保育施設探しを行いましたか。(○は1つ)  
 保育施設…保育所・認定こども園 (保育 (2号・3号) 認定) 等  
 1. 保育施設を探した・探している ⇒問 16-1^ 2. 保育施設探しはしていない ⇒問 16-3^  
 3. すでに入所している ⇒問 17^

**【問 16 で「1」(保育施設を探した・探している) を選択した方】**

問 16-1 保育施設探しの結果に満足されていますか。(○は1つ)  
 1. 満足 (希望通り)  
 3. やや不満 (希望から速い)  
 2. まあまあ満足 (希望に近い)  
 4. 不満 (入所できなかった)  
 「1」、「2」を選択した方⇒問 17^  
 「3」、「4」を選択した方⇒問 16-2^

**【問 16-1 で「3」または「4」(保育施設探しの結果に不満) を選択した方】**  
 問 16-2 保育施設探しの結果に、不満を抱かれている・希望通りにならなかったと感じている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅から速い  
 3. 職場から速い  
 5. 利用料が高い  
 7. 保育士の質に不満  
 9. 保育事業に不満 (送迎、給食がないなど)  
 11. 預けられる時間が短い  
 13. 年齢制限があり、今後転園に不安

2. 駅から速い  
 4. 選考基準に疑問がある  
 6. 兄弟姉妹で別の施設  
 8. 園の施設・設備に不満 (園庭が狭いなど)  
 10. 希望した時期に入園できない  
 12. 希望した施設に入れなかった  
 14. その他( )

⇒問 17^

**【問 16 で「2」(保育施設探しはしていない) を選択した方】**

問 16-3 保育施設探しをしていない・探さなかった理由は何ですか。(○は1つ)  
 保育施設…幼稚園・認定こども園 (教育 (1号) 認定)

1. 教育施設に入園するつもりだから  
 2. 教育施設に入園し、教育施設の預かり保育も利用するつもりだから  
 3. 自宅で保育するつもりだから  
 4. これから探そうと思っている  
 5. その他( )

**6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます**

問 17 お子さんは、現在、地域子育て支援センターを利用していますか。おおよその利用回数(頻度)もご記入ください。(あてはまるものすべてに○。数字は一律に一字)  
 地域子育て支援センター…親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場です。下野市には「つくし」「ゆりかご」「みるく」があります。

1. 地域子育て支援センター  
 ⇒1週当たり  回 もしくは 1か月当たり  回程度  
 2. その他下野市で実施している同様のサービス (具体名:.....)  
 ⇒1週当たり  回 もしくは 1か月当たり  回程度  
 3. 利用していない

問 18 地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。おおよその利用回数(頻度)もご記入ください。(○は1つ。数字は一律に一字)

1. 利用していないが、今後利用したい  
 ⇒1週当たり  回 もしくは 1か月当たり  回程度  
 2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい  
 ⇒1週当たり  回 もしくは 1か月当たり  回程度  
 3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない



問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと希望するものをお答えください。(①～⑫それぞれ、A～Cの項目ごとに○は1つ)

	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
①母親・父親・学級・両親学級・育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②子育て世代包括支援センターの相談・相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所・幼稚園・認定こども園等の園遊等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥地球子育て支援センター(つくし・のりこ・みるく)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨家庭児童相談窓口(こども福祉課)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩利用者支援相談員	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪育児ママ/パパ/リアルizzo利用券	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫子育て世帯外出支援(ファミババ利用券)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

**7 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育施設の利用希望についてうかがいます**

問 20 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、それぞれで定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※教育・保育施設とは、幼稚園、保育所、認定こども園などの預かりを指します。親族・知人による預かりは含みません。  
※これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

①土曜日(○は1つ。時間は24時間制で一律に一字)

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯  
□□時から□□時まで

1. 月に数回仕事が入るため  
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手伝いが必要なため  
4. 息抜きのため  
5. その他( )

②日曜日・祝日(○は1つ。時間は24時間制で一律に一字)

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯  
□□時から□□時まで

1. 月に数回仕事が入るため  
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手伝いが必要なため  
4. 息抜きのため  
5. その他( )

教育施設を利用されている方⇒問 21へ  
保育施設を利用されている方⇒問 22へ  
現在定期的な教育・保育施設を利用されていない方⇒問 23へ

**【教育施設を利用されている方】**

問 21 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育施設の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。(○は1つ。時間は24時間制で一律に一字)

1. 利用する必要はない  
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい  
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯  
□□時から□□時まで

【問 21で「3」(休みの期間中、週に数日利用したい)を選択した方】

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 週に数回仕事が入るため
- 2. 買い物などの用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他( )

**8 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます**

問 22 この1年間に、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育施設が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

- 1. あった ⇒問 22-1へ
- 2. なかった ⇒問 23へ

【問 22で「1」(病気やケガで通常の預かりが利用できなくなったことがあった)を選択した方】

問 22-1 この1年間で、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育施設が利用できなかったとき、どのように対応しましたか。それぞれの日数もご記入ください。(あてはまるものすべてに○。数字は一律に一字)

ア. 父親が休んだ	□	□	日
イ. 母親が休んだ	□	□	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□	□	日
エ. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	□	□	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□	□	日
カ. ベビーシッターを利用した	□	□	日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□	□	日
ク. 仕がなく子どもだけで留守番をさせた	□	□	日
ケ. その他( )	□	□	日

【問 22-1で「ア」「イ」(父親が母親が休んだ)を選択した方】

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数もご記入ください。(○は1つ。数字は一律に一字)

※病児・病後児のための施設等の利用には一定の利用者負担が発生する場合があります。かかりつけの医師の受診が必要となります。

- 1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい = □□日
- 2. 利用したいとは思わない

**9 宛名のお子さんの不定期の教育・保育施設や宿舎を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます**

問 23 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用回数（おおよそ）もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一枚に一字）

1.一時預かり				
2.幼稚園の預かり保育				
3.ファミリー・サポート・センター				
4.トワイライトステイ <sup>※1</sup>				
5.ショートステイ				
6.ベビーシッター				
7.その他（ ）				
8.利用していない				

※1：下野市では実施していません。

問 24 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数を記入ください。（番号と記号あてはまるものすべてに○。数字は一枚に一字）

※施設の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1.利用したい				計					
ア.私用（買物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事）、リフレッシュ									
イ.冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院 等									
ウ.不定期の就労									
エ.その他（ ）									
2.利用する必要はない									

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけて家族以外にみてもらわなければならぬことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの回数もご記入ください。（あてはまるものすべてに○。数字は一枚に一字）

1.あった					計				
ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった									
イ.短期入所生活支援事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）									
ウ.イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した									
エ.仕方なく子どもを同行させた									
オ.仕方なく子どもだけで留守番させた									
カ.その他（ ）									
2.なかった									

**10 宛名のお子さんの小学校入学後の過ごし方についてうかがいます**

問 26 お子さんについて、小学校入学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような過ごし方で過ごさせたいと思いますか。

①小学校1～3年生、②小学校4～6年生の両方についてあてはまる過ごし方を選択し、それぞれ希望する適当日数を数字でご記入ください。また、「公立学童保育（放課後児童クラブ）」の場合は、利用を希望する時間もご記入ください。

（あてはまるものすべてに○。数字は一枚に一字）

学童保育（放課後児童クラブ）…保護者が就労等により居間家庭にいない小学生全学年を対象として保護者に代わって預かって預かり、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。一定の利用者負担が発生します。

過ごし方	①小学校1～3年生	②小学校4～6年生
1.自宅	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
2.祖父母や友人・知人宅	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
3.習い事（音楽、スポーツ、学習塾等）	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
4.児童館 <sup>※1</sup>	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
5.放課後子ども教室 <sup>※2</sup>	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
6.公立学童保育（放課後児童クラブ）	週に <input type="text"/> 日くらい =下校時から <input type="text"/> 時まで	週に <input type="text"/> 日くらい =下校時から <input type="text"/> 時まで
7.民間の学童保育	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
8.ファミリー・サポート・センター <sup>※3</sup>	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
9.放課後等デイサービス <sup>※4</sup>	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
10.その他（公民館、公園など）	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい

※1：児童館で行う公立学童保育（放課後児童クラブ）を利用している場合は「6」を選択。個別のファミリーの参加を経て、子どもたちと勉強やスポーツ・文化活動等を行うことで、子どもたちの安心・安全を確保する教育です。

※2：「子育ての手助けをしてほしい方（依頼会員）」と「子育ての応援をしたい方（提供会員）」が会員になり、月に1回、児童館のある居間生活センターで放課後や週末に子どもを預かるもので、一人ひとりの発達段階に合わせ、運動、言語、生活習慣など、遊びや学びを通じた成長が促される支援を行っています。

※3：「子育ての手助けをしてほしい方（依頼会員）」と「子育ての応援をしたい方（提供会員）」が会員になり、月に1回、児童館のある居間生活センターで放課後や週末に子どもを預かるもので、一人ひとりの発達段階に合わせ、運動、言語、生活習慣など、遊びや学びを通じた成長が促される支援を行っています。

問 27 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や長期の休暇期間中（夏休み・冬休み）に、公立学童保育が民間の学童保育の利用希望はありますか。  
（（1）～（3）のあてはまるものすべてに○）

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

	利用したい学年	公立学童保育を利用したい	民間の学童保育を利用したい	利用する必要はない
(1)	①1～3年生の間	1	2	3
土曜日	②4～6年生の間	1	2	3
(2)	①1～3年生の間	1	2	3
日曜・祝日	②4～6年生の間	1	2	3
(3)	①1～3年生の間	1	2	3
長期休暇	②4～6年生の間	1	2	3

問 27-1 ハ  
問 27-2 ハ  
【問 27 の (1)、(2)、(3) で「1」、「2」(公立学童保育や民間の学童保育を利用したい) を選択した方】

問 27-1 利用したい時間帯をご記入ください。(時間は 24 時間制で一字に一字)

①土曜日の利用希望時間	利用したい時間帯					時まで
②日曜・祝日の利用希望時間	利用したい時間帯					時まで
③長期休暇の利用希望時間	利用したい時間帯					時まで

【問 27 の (1)、(2)、(3) で「3」(利用する必要はない) を選択した方】

問 27-2 利用する必要はない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの母親が父親がみる	2. 子どもの兄弟がみる
3. 子どもの祖父母や親せきの人がみる	4. 近所の人や父母の友人・知人がみる
5. 塾やスポーツクラブなどに通う	6. 児童館や公民館、公園などで過ごす
7. その他 ( )	

### 11 育児休業や短時間勤務制度など職場の同立支援制度についてうかがいます

問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
(それぞれ○1つ)

また、取得していない方はその理由をお答えください。

①母親 ②父親	
1	働いていなかった =問 29へ
2	取得した(取得中である) =問 28-1へ
3	取得していない
↓	取得していない理由 (あてはまるものすべてに○)
①母親 ②父親	
1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	仕事が忙しかった
3	(産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4	仕事に戻るのが難しかった
5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	保育所などに預けることができた
8	配偶者が無職、祖父母等の観察に利用した
9	配偶者が無職、祖父母等の観察にみてもえらるなど、制度を利用する必要がなかった
10	子育てや家事に専念するため退職した
11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	育児休業を取得できなかったことを知らなかった
14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかったことを知らず、退職した
15	その他 ( )

=問 29へ

【問 28 の①もしくは②で「2」(育児休業を取得した) を選択した方】

問 28-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ○は1つ)	
①母親 ②父親	
1	育児休業後、職場に復帰した
2	現在も育児休業中である
3	育児休業中に離職した

### 12 子育て全般についてうかがいます

問 29 あなたは、自分にとって子育てでは楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いですか。(○は1つ)

1. 楽しいと感じることが多い	2. 楽しいと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることが多い	4. その他 ( )
5. わからない	

「4」、「5」を選んだ方=問 30へ

【問 29 で「1」～「3」(子育てが楽しいあるいは辛いと感じる)を選んだ方】

問 29-1 問 29 で「1」を選んだ方は、子育てをすすめる中でどのような支援・対策が有効かと思えますか。また、「2」・「3」を選んだ方は、自分にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 地域における子育て支援の充実	2. 保育事業の充実
3. 子育て支援のネットワークづくり	4. 地域における子どもの活動拠点の充実
5. 妊娠・出産への支援	6. 母親・乳幼児の健康・医療対策
7. 子どもの教育環境の充実	8. 子育てしやすい居住環境の充実
9. 仕事と家庭生活の両立	10. 子どもが関係した犯罪・事故を減らすこと
11. 保護を要する児童への支援	12. その他 ( )

問 30 今後、子どもを安心して産み育てられる環境をつくっていただくために、下野市に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい
2. 子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい
3. 子育てに困った時に相談したり、情報を得られる場をつくってほしい
4. 保育所を増やしてほしい
5. 幼稚園を増やしてほしい
6. 認定こども園(保育所と幼稚園の機能を併せ持った施設)を増やしてほしい
7. 専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育事業がほしい
8. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
9. 公営住宅での多世代の優先入居や広い部屋割り当てなど、住生活の配慮がほしい
10. 就業時間の短縮や育児休業の取得促進など、企業に対して働き環境の改善を働きかけてほしい
11. 子育てについて学ぶ機会をつくってほしい
12. その他 ( )





小学生児童保護者調査

## 下野市 子育て支援ニーズ調査ご協力のお願い

市民のみなさまには、日ごろから市政発展へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、下野市では、平成27年度から実施している「下野市子ども・子育て支援事業計画（子育て応援しもつっけ子プラン）」の第2期計画を策定することとなり、市民のみなさまの子ども・子育てに関する生活実態やご意見・ご要望などを把握するため、ニーズ調査を実施することいたしました。

この調査は、市内各小学校の児童数に応じてお子さん600名を無作為に選び、その保護者の方にお願ひするものです。

ご回答いただいた内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容がほかにもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、よりよい計画とするための重要な調査ですので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成30年12月

下野市長 広瀬寿雄



あなたの声が、  
下野市の  
子育て環境をつくります！

### ご記入にあたってのお願い

1. この調査票を持ち帰ったお子さんについて、お答えください。
2. 無作為抽出のため、お子さんが2人以上の場合、2通以上届く可能性があります。お忙しいところ大変恐縮ですが、それぞれのお子さんについてご回答いただけますようお願いいたします。
3. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。
4. 回答は、当てはまる回答の数字に○印をつけていただく場合と、数字を記入する場合があります。また、設問によって○印をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
5. ご記入いただいたアンケートは、平成30年12月25日（火）までに、同封の返信用封筒に入れ、お子さんに持たせてください。小学校の担任の先生が回収します。

調査に関するご質問は…

下野市健康福祉部子ども福祉課 電話0285-32-8903（学校ではありません）  
までお問い合わせください。

### 子ども・子育て支援事業計画とは？

「下野市子ども・子育て支援事業計画（子育て応援しもつっけ子プラン）」は、①幼児期の質の高い教育・保育の総合的な提供、②保育の量の拡大・確保、教育・保育の質的改善、③地域の子ども・子育て支援の充実を目指す計画で、近年の子ども・子育てを取り巻く環境の変化等を踏まえ、子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援する環境を整備するための指針として、平成27年に策定しました。

平成31年度に計画期間が満了することから、本意向調査結果を踏まえ、平成32年度からの第2期計画として策定します。

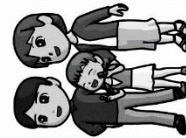
質の高い教育・保育を  
受けさせたいなあ

一人で子育てをしていて、地域  
で相談できる人はいないかな…

保育園に預けられなく  
て、困ったわ…



子ども・子育て支援の意義は子どもが健やかに成長することができる社会の実現



教育・保育・就労・生活環境  
を社会全体で整備

この子ども・子育て支援の意義に基づき、子育ての第一義的責任は親であり、家庭が教育の原点であるという前提のもと、保護者が、子育てについての責任を果たせるよう、課題解決に向けた取り組みを進めます。

- 幼児期の質の高い教育・保育の総合的な提供
- 待機児童解消に向けた保育の量的拡大・確保及び子どもが減少傾向にある地域の保育支援
- 地域の子育て環境の一層の充実

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われること
-----	-------------------------------

**1 この調査票を持ち帰ったお子さんご家族の状況についてうかがいます**

問1 お子さんの生年月月をご記入ください。(数字は一律に一字)  
平成  年  月  日生まれ

問1-1 調査票を持ち帰ったお子さんも含めて子どもは何人ですか。また来月の方の生年月月をご記入ください。(数字は一律に一字)  
平成  年  月  日生まれ

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみられた関係でお答えください。(〇は1つ)  
1. 母親 2. 父親 3. その他 ( )

問3 この調査票にご回答いただいた方の方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)  
1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問4 お子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。お子さんからみられた関係でお答えください。(〇は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親  
4. 主に祖父 5. その他 ( )

- 問5 お住まいの小学校校区はどこですか。(〇は1つ)  
1. 養師寺小学校 2. 吉田東小学校 3. 吉田西小学校 4. 祖國小学校  
5. 緑小学校 6. 石橋小学校 7. 古山小学校 8. 細谷小学校  
9. 石橋北小学校 10. 国分寺小学校 11. 国分寺西小学校 12. 国分寺東小学校

**2 お子さんの保護者の就業状況についてうかがいます**

この項目に出てくる「フルタイム」「パート・アルバイト等」とは…  
 フルタイム  
 ■パート・アルバイト等  
 フルタイム以外の就業

問6 お子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事含む)をつかいます。(それぞれ〇は1つ)

フルタイムで就業しており、産休・育児・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就業しており、産休・育児・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就業しているが、産休・育児・介護休業中である	以前は就業していたが、現在は就業していない	これまで就業したことがない
①母親	②父親	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6

【問6で①母親と②父親でそれぞれ「1」～「4」(就業している)を選択した方】  
 ※就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
 ※産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

問6-1 週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間(残業時間を含む)」をお答えください。(数字は一律に一字)

①母親	1 週当たり <input type="text"/> 日	1 日当たり <input type="text"/> 時間
②父親	1 週当たり <input type="text"/> 日	1 日当たり <input type="text"/> 時間
問6-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(24時間制で記入。数字は一律に一字)	家を出る時刻 <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> 時
①母親	家を出る時刻 <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> 時
②父親	家を出る時刻 <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> 時

【問6の①母親と②父親でそれぞれ「3」または「4」(パート・アルバイト等で就業)を選択した方】

問6-3 フルタイムで就業している方は「3」または「4」(パート・アルバイト等で就業)を選択した方】  
 フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ) ①母親 ②父親  
 1 1  
 2 2  
 3 3  
 4 4  
 パート・アルバイト等就業を続けることを希望  
 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい  
 =問7ハ

【問6の①母親と②父親で「5」または「6」(就業していない)を選択した方】

問6-4 就業したいという希望はありますか。  
 ①母親 (番号と記号それぞれ〇は1つ。数字は一律に一字)

1. 子育てや家事などに専念したい(就業の予定はない)  
 2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったところに就業したい  
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい

ア.フルタイム  
 イ.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)  
 ⇒1週当たり  日 1日当たり  時間  
 (希望する就業形態)

②父親 (番号と記号それぞれ〇は1つ。数字は一律に一字)

1. 子育てや家事などに専念したい(就業の予定はない)  
 2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったところに就業したい  
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就業したい

ア.フルタイム  
 イ.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)  
 ⇒1週当たり  日 1日当たり  時間  
 (希望する就業形態)

**3 お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます**

問7 現在、学童保育を利用されていますか。(○は1つ)  
 学童保育(放課後児童クラブ) …保護者が就労等により居間家庭にいない小学生全学年を対象として保護者に代わって預かり、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。一定の利用者負担が発生します。  
 2.民間の学童保育を利用している  
 3.現在は利用していない

問8 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。  
 あてはまる過ごし方を選択し、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「公立学童保育(放課後児童クラブ)」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。  
 (あてはまるものすべてに○、数字は一枚に一字)  
 ・お子さんが1～3年生の場合は、「①小学校1～3年生」と将来を見越して「②小学校4～6年生」の両方を記入してください。  
 ・お子さんが4～6年生の場合は、「②小学校4～6年生」のみ記入してください。

過ごし方	①小学校1～3年生	②小学校4～6年生
1.自宅	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
2.祖父母宅や友人・知人宅	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
3.習い事(音楽、スポーツ、学習塾等)	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
4.児童館*	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
5.放課後子ども教室**	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
6.公立学童保育(放課後児童クラブ)	週に <input type="text"/> 日くらい =下校時から <input type="text"/> 時まで	週に <input type="text"/> 日くらい
7.民間の学童保育	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
8.ファミリー・サポート・センター**3	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
9.放課後等デイサービス**4	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
10.その他(公民館、公園など)	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい

\*1:児童館で行う公立学童保育(放課後児童クラブ)を利用している場合は、「6」を選択。  
 \*2:地域の方々の参加を等で、子どもたちと勉強やスポーツ・文化活動等を行うことで、子どもたちの安心・安全を保障する取組をする教育です。  
 \*3:「子育ての手助けをしてほしい方(保護会員)」と「子育ての応援をしたい方(支援会員)」が会員になり、奇月に開催する相互援助を行うシステム。  
 \*4:障害のある児童生徒が放課後や夏休みなどに通えるもので、一人ひとりの発達段階に合わせ、運動、言語、生活習慣など、遊びや学びを通して豊かな成長が促される支援を行っています。

問9 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や長期の休暇期間中(夏休み・冬休み)に、公立学童保育か民間の学童保育の利用希望はありますか。  
 (1)～(3)のあてはまるものすべてに○)  
 ・お子さんが1～3年生の場合は、「①1～3年生の間」と将来を見越して「②4～6年生の間」の両方を記入してください。  
 ・お子さんが4～6年生の場合は、「②4～6年生の間」のみ記入してください。  
 ※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

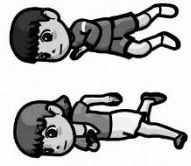
	利用したい学年	公立学童保育を利用したい	民間の学童保育を利用したい	利用する必要はない
(1)	①1～3年生の間	1	2	3
	土曜日	1	2	3
(2)	①1～3年生の間	1	2	3
	日曜・祝日	1	2	3
(3)	①1～3年生の間	1	2	3
	長期休暇	1	2	3

【問9の(1)、(2)、(3)で「1」、「2」(公立学童保育や民間の学童保育を利用したい)を選択した方]  
 問9-1 利用したい時間帯をご記入ください。(時間は24時間制で一枚に一字)

①土曜日の利用希望時間	利用したい時間帯	利用したい時間帯	利用したい時間帯
<input type="text"/>	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時から <input type="text"/> 時まで
<input type="text"/>	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時から <input type="text"/> 時まで
<input type="text"/>	利用したい時間帯	<input type="text"/>	時から <input type="text"/> 時まで

【問9の(1)、(2)、(3)で「3」(利用する必要はない)を選択した方]  
 問9-2 利用する必要はない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1.子どもの母親か父親がみえる
- 2.子どもの兄弟がみえる
- 3.子どもの祖父母や親せきの人がみえる
- 4.近所の人や父母の友人・知人がみえる
- 5.塾やスポーツクラブなどに通う
- 6.児童館や公民館、公園などで過ごす
- 7.その他( )



**4 子育て全般についてうかがいます**

問10 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑥それぞれ、A～Cの項目ごとに○は1つ)

※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A知っている	B利用したことがある	C今後利用したい
①家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②教育相談センター・教育相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤公立学童保育(放課後児童クラブ)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥民間の学童保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦家庭児童相談窓口(こども福祉課)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧子育て世代包括支援センター(健康増進課)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問11 あなたは、自分にとって子育ては楽しいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じる人が多いですか。(○は1つ)

1. 楽しいと感じることの方が多い    2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい  
 3. 辛いと感じることの方が多い    4. その他 ( )  
 5. わからない

【問11で「1」～「3」(子育てが楽しいあるいは辛いと感じる)を選んだ方=問12へ  
 問11-1 問11で「1」を選んだ方は、子育てをすす中でどのような支援・対策が有効と思いま

すか。また、「2」・「3」を選んだ方は、自分にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 地域における子育て支援の充実    2. 保育事業の充実  
 3. 子育て支援のネットワークづくり    4. 地域における子どもの活動拠点の充実  
 5. 妊娠・出産への支援    6. 母乳・乳幼児の健康・医療対策  
 7. 子どもの教育環境の充実    8. 子育てしやすい居住環境の充実  
 9. 仕事と家庭生活の両立    10. 子どもが関係した犯罪・事故を減らすこと  
 11. 保護を要する児童への支援    12. その他 ( )

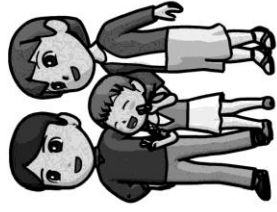
問12 今後、子どもを安心して産み育てられる環境をつくっていくために、下野市に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい  
 2. 子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい  
 3. 子育てに困った時に相談したり、情報を得られる場をつくってほしい  
 4. 保育所を増やしてほしい  
 5. 幼稚園を増やしてほしい  
 6. 認定こども園(保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設)を増やしてほしい  
 7. 専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育事業がほしい  
 8. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい  
 9. 公営住宅での多世代の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい  
 10. 残業時間の短縮や育児休業の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい  
 11. 子育てについて学ぶ機会をつくってほしい  
 12. その他 ( )

その他、子育てに関して日ごろ感じていることや悩みごと、あるいはお子さんを育てている上で気づけていること、下野市への要望事項等がありましたら、ご自由にお書きください。

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
 同封の返信用封筒に入れて、お子さんに持たせてください。  
 担任の先生が回収します。



下野市子育て支援ニーズ調査 結果報告書

---

発行：平成31年3月

編集：栃木県下野市健康福祉部こども福祉課  
〒329-0492

栃木県下野市笹原26（庁舎1階）

電話：0285-32-8903 FAX：0285-32-8603